

第十三條 役員ハ總會ニ於テ議員中コリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第十四條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ズ

第十五條 本會ハ正當ノ事由アルトキハ役員ヲ解任スルコトヲ得

役員ヲ解任シタルトキハ同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十六條 役員ニ闕員ヲ生ジタルトキハ次ノ總會ヲ待ツコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十七條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四箇年トス但シ補闕ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス

役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第十八條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

會長ハ副會長ヲシテ左ノ事項ヲ分掌セシムルコトヲ得

一 庶務ニ關スル事項

二 參百圓未満ノ金錢ノ收支ニ關スル事項

參事補 若干人

技手 若干人

主事ハ會長ノ命ヲ受ケ事務ヲ管掌ス

參事ハ會長ノ命ヲ受ケ事務ヲ處理ス

技師及技手ハ會長ノ命ヲ受ケ技術ニ從事ス

參事補ハ會長ノ命ヲ受ケ事務ニ從事ス

第二十二條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給及旅費ヲ支給ス

第二十三條 本會ノ事業ニ關シ特別審議ヲ要スル場合ハ委員ヲ設ルコトヲ得

委員ノ選任解任及委員會ニ關スル細則ハ會長之ヲ定ム

第二十三條ノ二 本會ニ顧問ヲ置クコトヲ得

顧問ハ評議員會ニ諮問シ會長之ヲ囑託ス

顧問ハ會長ノ諮問ニ應ジ且總會又ハ評議員會ニ出席シ意見ヲ開陳スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

第三章 會 議

第二十四條 本會ニ總會及評議員會ヲ置ク

總會ハ會長 副會長及議員ヲ以テ、評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十五條 議員及議員事故アル場合之ニ代ハルベキ豫備議員ハ會員ニ於テ之ヲ選任ス

議員ノ定數ハ六十人トシ本會成立ノ日ノ屬スル事業年度ヨリ起算シ毎四事業年度ヲ一期トシ各期ニ付左ノ各號ニ

全國蠶絲業組合聯合會會則

評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ並ニ會務ノ執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

會長ハ左ニ掲グル事項ニ付テハ評議員ニ諮問スルコトヲ要ス

一 總會ニ提出スベキ議案ニ關スル事項

二 臨時總會ノ招集ニ關スル事項

三 寄附ノ受諾及拒否ニ關スル事項

四 前各號ニ掲グルモノノ外會長ニ於テ必要ト認メタル事項

第十九條 會長ハ總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二十條 役員ハ名譽職トス

役員ニハ總會ノ議決ヲ經テ報酬、手當又ハ賞與ヲ給スルコトヲ得

第二十一條 本會ニ左ノ職員ヲ置キ會長之ヲ任免ス

主事 一人

參事 若干人

技師 若干人

依リ各會員ニ配當ス

一 各會員ニ一人ヲ配當ス

二 殘餘ノ議員ハ賦課金合計額ヲ會員數ヲ以テ除シテ得タル平均賦課金額ヲ超ユル賦課金額ヲ有スル會員ニ對シ其ノ會員ノ平均賦課金額ヲ超ユル部分ノ金額ニ付平均賦課金額ヲ超ユル部分ノ金額ノ合計ヲ殘餘ノ議員數ヲ以テ除シテ得タル金額ヲ増ス毎ニ一人ヲ配當ス

三 前各號ニ依リ配當シ尙定數ニ充タザルトキハ第二號ノ規定ニ依リ生ジタル端數ニ付其ノ多キモノヨリ順次一人ヲ配當ス

前項第二號及第三號ノ規定ニ依リ賦課金ハ前期ノ賦課金額ニ依ルモノトス但シ第三期ノ議員ノ配當ニ限リ昭和十四年度賦課金額ニ依ルモノトス

第二項ノ規定ニ依リ議員ノ選任ハ會員ニ於テ任期滿了シタルトキノ翌年度ノ本會通常總會迄ニ之ヲ爲スベシ

議員ノ改選期ニ於テ定員ノ減少シタル會員ハ次ノ議員就任スル迄其ノ職務ヲ行フベキ者ヲ定ムベシ

前四項ノ規定ハ豫備議員ニ付之ヲ準用ス

豫備議員二人以上アル場合ニ於テ議員事故アルトキ之ニ代ハルベキモノノ順位ハ會員ニ於テ之ヲ定ムベシ

第二十六條 會員ハ議員又ハ豫備議員ヲ選任シ又ハ解任シタルトキハ遲滞ナク之ヲ本會ニ届出ヅベシ

第二十七條 第十七條及第二十條ノ規定ハ議員及豫備議員

ニ之ヲ準用ス

第二十八條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルモノトス
但シ第三號ニ掲グル事項ニシテ日本中央蠶絲會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限リニ在ラズ

- 一 收支豫算
 - 二 經費ノ分賦收入方法
 - 三 繭ノ生産調節ニ關スル施設並ニ繭ノ販賣數量及販賣價格、取引又ハ處理方法ノ統制ニ關スル施設
 - 四 事業報告及收支決算
 - 五 借入金
 - 六 基本財産ノ造成管理及處分
 - 七 會則ノ變更
 - 八 役員ノ選任及解任
 - 九 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ノ選任及解任
 - 十 事業施行ニ關スル規程
- 第二十九條 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ハ總會ニ於テ本會ノ役員又ハ議員中ヨリ之ヲ選任ス
本會ハ正當ノ事由アルトキハ前項ノ議員及豫備議員ヲ解任スルコトヲ得

第三十條 總會ハ會長之ヲ招集ス
第三十一條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

業組合法第六十八條ノ規定ニ依リ準用スル同法第三十四條第三項若ハ第四項ノ場合又ハ本會則第三十一條第二項第三號ノ請求ニ依リ總會ヲ招集シタル場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

第三十五條 總會ノ議事ハ法令及本會則ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
第三十六條 第二十八條第三號、第七號及第八號ニ掲グル事項ハ總會ニ於テ總會ヲ組織スル者ノ半数以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス
第三十七條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ會長ハ書面ヲ以テ總會ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ會長ハ二週間ヲ下ラザル回答期限ヲ定ムベシ期限内ニ到達セザル意見ハ採決ノ數ニ加ヘザルモノトス
第三十八條 總會ノ議事ニ關スル規程ハ本會則ニ規定アルモノヲ除クノ外總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム
第三十九條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名又ハ記名捺印スルモノトス

通常總會ハ毎年度十一月又ハ十二月若ハ一月之ヲ開キ臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

- 一 會長必要ト認ムルトキ
 - 二 總會ヲ組織スル者其ノ總數ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ
 - 三 評議員ガ會務執行及財産ノ狀況ヲ監査シ之ヲ總會ニ報告スル爲總會ノ招集ヲ請求シタルトキ
- 前項第二號ノ場合ニ於テ會長正當ノ事由ナクシテ二週間以内ニ總會ヲ招集セザルトキハ請求者ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得
- 第三十二條 總會ヲ招集セントスルトキハ少クモ三週間前ニ會議ノ目的タル事項日時及場所ヲ總會ヲ組織スル者ニ通知スベシ
- 第三十三條 總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ緊急且輕微ノモノニ付テハ此ノ限迄ニ在ラズ
- 第三十四條 總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲ以テ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ、蠶絲

- 一 開會ノ日時及場所
 - 二 總會ヲ組織スル者ノ數
 - 三 出席者數
 - 四 議事ノ要領
 - 五 議決シタル事項及賛否ノ數
- 第四十條 左ニ掲グル事項ハ評議員會ノ議決ヲ經ルモノトス
- 一 第十八條第五項各號ニ掲グル事項
 - 二 會長ニ於テ必要ト認メタル事項
 - 三 第四十一條 評議員會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク
 - 一 會長必要ト認メタルトキ
 - 二 評議員三人以上ヨリ會議ノ目的タル事項及其ノ招集ノ事由ヲ示シ評議員會ノ招集ヲ請求シタルトキ
 - 四 會長必要ト認ムルトキハ書面ヲ以テ評議員ノ意見ヲ徵シ評議員會ノ議決ニ代フルコトヲ得
 - 五 第四十二條 評議員會ノ議長ハ會長之ニ當ル但シ會務執行及財産ノ狀況ノ監査ニ關スル事項ヲ議スル場合ニ在リテハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム
 - 六 第四十三條 評議員會ハ評議員過半数出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得ズ
 - 七 第四十四條 第三十條、第三十五條及第三十九條ノ規定ハ

評議員會ニ之ヲ準用ス

第四章 會計

第四十五條 本會ノ經費ハ會員ノ負擔トシ左ノ種別ニ依リ賦課スルモノトス

- 一 平等割 百分ノ三十三
- 二 養蠶戶數割 百分ノ三十四
- 三 產繭額割 百分ノ三十三

前項ノ養蠶戶數割及產繭額割ノ基準ハ農林省統計ニ依ルモノトス

第四十六條 本會ハ左ニ掲グル事項ニ付手数料又ハ使用料ヲ徵收スルコトヲ得

- 一 養蠶生産物ノ販賣斡旋又ハ養蠶用品ノ購買斡旋
- 二 器具機械又ハ設備ノ使用

前項ノ手数料又ハ使用料ニ關スル規程ハ總會ノ議決ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第四十七條 經費又ハ手数料若ハ使用料ヲ滯納スル者アルトキハ會長ハ期限ヲ指定シ之ヲ督促スベシ

第四十八條 本會ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受ケルコトヲ得

第四十九條 本會ハ基本財産ヲ設ケ支途ヲ特定セザル寄附ヲ受ケタルトキハ之ヲ基本財産ニ

- 一 第十條ノ規定ニ依ル調査又ハ報告ヲ爲サザルトキ
- 二 第四十七條ノ督促ヲ受ケ指定ノ期日迄ニ之ヲ完納セザルトキ

條五十四條 過怠金徵收ノ通知書ニハ其ノ事由ヲ記載スルコトヲ要ス

條六章 解散

第五十五條 本會ノ解散ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第五十六條 本會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ清算人トス

第五十七條 清算人ハ就任後遲滞ナク財産目錄ヲ作成シ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第五十八條 清算終了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ總會ニ提出シ其ノ旨報告スベシ

全國蠶種業組合聯合會會則

第一章 總則

第一條 本會ハ蠶種業組合ノ聯絡ヲ圖リ其ノ共同ノ目的ヲ達成スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ其ノ目的ヲ達成スル爲左ノ事業ヲ行フ
一 蠶品種ノ統一ニ關スル施設

全國養蠶業組合聯合會會則—全國蠶種業組合聯合會會則

編入ス

基本財産ノ造成、管理及處分ニ關スル規程ハ總會ノ議決ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第五十條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 財産臺帳
- 二 經費徵收原簿
- 三 出納簿
- 四 歳入歳出整理簿
- 五 借入金臺帳
- 六 備品臺帳

第五十一條 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス但シ總會ノ決議ニ依リ其ノ一部ヲ基本財産ニ繰入ルコトヲ得

第五十二條 本會ノ出納閉鎖期ハ五月三十一日トス

第五章 過怠金

第五十三條 會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五百圓以下ノ過怠金ヲ課ス

- 一 本會ノ行フ統制施設ニ違背シタルトキ
- 二 本會ノ事業ノ執行ヲ妨ゲタルトキ
- 三 會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ百圓以下ノ過怠金ヲ課ス

二 蠶種製造ノ指導獎勵ニ關スル施設

三 蠶種ニ關スル研究及調査

四 蠶種製造業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁

五 前各號ニ掲グルモノノ外蠶種業組合ノ聯絡ヲ圖リ其ノ共同ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル施設

第三條 本會ハ全國蠶種業組合聯合會ト稱ス

第四條 本會ノ地區ハ全國ノ區域ニ依ル

第五條 本會ノ事務所ハ東京市ニ置ク

第六條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第七條 本會ハ事務所ニ會員名簿ヲ備ヘ置クモノトス

會員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス

- 一 會員ノ名稱及事務所
- 二 經費賦課ノ基準ト爲ルベキ事項
- 三 議員及豫備議員ノ配當數

會員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ會長ハ遲滞ナク之ヲ訂正スベシ

第八條 日本中央蠶絲會ニ於テ蠶種製造業ニ關スル統制施設ヲ議決シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ本會ハ其ノ統制施設ヲ行フモノトス

第九條 本會ノ行フ調停又ハ仲裁ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ

定ム
 第十條 本會ハ會員ニ對シ蠶種製造業ニ關スル事項ノ調査又ハ基告ヲ爲サシムルコトヲ得
 第十一條 會員タル資格ヲ取得シ又ハ喪失シタルトキハ遲滞ナク本會ニ其ノ旨届出ツベシ第七條第二項第一號又ハ第二號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ
 第二章 役員及職員

第十二條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 會長 一人
 副會長 二人
 評議員 十二人
 第十三條 役員ハ總會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得
 第十四條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ズ
 第十五條 本會ハ正當ノ事由アルトキハ役員ヲ解任スルコトヲ得役員ヲ解任シタルトキハ同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス
 第十六條 役員ニ缺員ヲ生ジタルトキハ次ノ總會ヲ待ツコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ヲ召集シ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス
 第十七條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四箇年トス但シ補

缺ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス
 役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス
 第十八條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス
 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス
 會長ハ副會長ヲシテ左ノ事項ヲ分掌セシムルコトヲ得
 一 庶務ニ關スル事項
 二 參百圓未滿ノ金錢ノ收支ニ關スル事項
 評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ竝ニ會務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス
 會長ハ左ニ掲グル事項ニ付テハ評議員ニ諮問スルコトヲ要ス
 一 總會ニ提出スベキ議案ニ關スル事項
 二 臨時總會ノ召集ニ關スル事項
 三 寄附ノ受諾及拒否ニ關スル事項
 四 顧問ノ囑託ニ關スル事項
 五 前各號ニ掲グルモノノ外會長ニ於テ必要ト認メタル事項
 第十九條 會長ハ總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施

ヲ要シ總會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分スルコトヲ得
 前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス
 第二十條 役員ハ名譽職トス
 役員ニハ總會ノ議決ヲ經テ報酬、手當又ハ賞與ヲ給スルコトヲ得
 第二十一條 本會ニ左ノ職員ヲ置キ會長之ヲ任免ス

主 事 一人
 參 事 若干人
 技 師 若干人
 參事補 若干人
 技 手 若干人
 主事ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ管掌ス
 參事ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ處理ス
 技師及技手ハ會長ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス
 參事補ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス
 第二十二條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給、旅費及退職給與金ヲ支給ス
 第二十三條 本會ノ事業施行上ニ關スル諮問ヲ爲ス爲顧問ヲ置ク

全國蠶種業組合聯合會會則

顧問ハ評議員會ニ諮問シ會長之ヲ囑託ス
 第二十四條 本會ノ事業執行ニ關シ特別ニ審議ヲ要スル場合ハ委員ヲ置クコトヲ得
 委員ノ選任、解任及委員會ニス關ル規程ハ別ニ之ヲ定ム
 第三章 會 議
 第二十五條 本會ニ總會及評議員會ヲ置ク
 總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス
 第二十六條 議員及議員事故アル場合之ニ代ルベキ豫備議員ハ會員タル蠶種業組合ニ於テ之ヲ選任ス
 議員ノ定數ハ本會成立ノ日ノ屬スル事業年度ヨリ起算シ毎四事業年度チ一期トシ各期ニ付左ノ標準ニ依リ各會員ニ配當シタルモノノ合計トス
 一 左ノ算式ニ依リ算出シタル率ヲ千分率ト爲シタルモノノ千分ノ二十五以下ニ付一人トシ尙千分ノ二十五ヲ超ユル部分ニ付千分ノ二十五又ハ其ノ端數ヲ増ス毎二人ヲ増加ス但シ一會員ニ付六人ヲ超ユルモノニ在リテハ之ヲ六人トス

6 × 會員タル蠶種業組合ノ組合員ノ蠶種製造年總額
 10 × 全國ニ於ケル蠶種製造年總額
 4 × 會員タル蠶種業組合ノ組合員數
 10 × 全國ニ於ケル蠶種製造者數

前項ノ算式ニ於ケル會員タル蠶種業組合ノ組合員ノ蠶種製造年總額及組合員數並ニ全國ニ於ケル蠶種製造年總額及蠶種製造者數ハ農林省ノ調査ニシテ當該期ノ最初ノ事業年度開始ノ時期ニ於ケル最近ノ時期ニ付調査シタルモノニ依リ之ヲ定ム

前二項ノ規定ハ豫備議員ニ之ヲ準用ス
豫備議員二人以上アル場合ニ於テ議員事故アルトキ之ニ代ルベキモノノ順位ハ會員タル蠶種業組合ニ於テ之ヲ定ムベシ

第二十七條 會員ハ議員又ハ豫備議員ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ都度本會ニ届出ツベシ

第二十八條 第十七條及第二十條ノ規定ハ議員及豫備議員ニ之ヲ準用ス

第二十九條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルモノトス但シ第三號ニ掲グル事項ニシテ日本中央蠶絲會ノ議決ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 蠶種ノ生産調節ニ關スル施設並ニ蠶種ノ販賣數量及販賣價格ノ統制ニ關スル施設
- 四 蠶品種ノ選定統一

前項第二號ノ場合ニ於テ會長正當ノ事由ナクシテ二週間以内ニ總會ヲ召集セザルトキハ請求者ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケテ之ヲ召集スルコトヲ得

第三十三條 總會ヲ召集セントスルトキハ少クとも三週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總會ヲ組織スル者ニ通知スベシ

前項ノ期間ハ臨時緊急ヲ要スル場合ニ在リテハ之ヲ二週間迄短縮スルコトヲ得

第三十四條 總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ付テノ議決ヲ爲スコトヲ得但シ緊急且輕微ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十五條 總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲ以テ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ、蠶絲業組合法第六十八條ノ規定ニ依リ準用スル同法第三十四條第三項若ハ第四項ノ場合又ハ本會則第三十二條第二項第三號ノ請求ニ依リ總會ヲ召集シタル場合ニ於テハ出席者ノ五選ニ依リ之ヲ定ム

第三十六條 總會ノ議事ハ法令及本會則ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十七條 第二十九條第三號、第四號、第八號及第九號

全國蠶種業組合聯合會會則

- 五 事業報告及收支決算
- 六 借入金
- 七 基本財産ノ造成、管理及處分
- 八 會則ノ變更
- 九 役員ノ選任及解任
- 十 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ノ選任及解任
- 十一 事業執行ニ關スル規程

第三十條 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ハ本會ノ役員又ハ議員中ヨリ之ヲ選任ス
本會ハ正當ノ事由アルトキハ前項ノ議員及豫備議員ヲ解任スルコトヲ得

第三十一條 總會ハ會長之ヲ召集ス
第三十二條 總會ハ通常總會及臨時總會トス
通常總會ハ毎年一回十一月又ハ十二月之ヲ開キ臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

- 一 會長必要ト認ムルトキ
- 二 總會ヲ組織スル者其ノ總數ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及召集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ召集ヲ請求シタルトキ
- 三 評議員ガ會務執行及財産ノ狀況ヲ監査シ之ヲ總會ニ報告スル爲總會ノ召集ヲ請求シタルトキ

ニ掲グル事項ハ總會ニ於テ總會ヲ組織スル者ノ半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第三十八條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ會長ハ書面ヲ以テ總會ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ會長ハ十日ヲ下ラザル回答期限ヲ定ムベシ

第三十九條 總會ノ議事ニ關スル規程ハ本會則ニ規定アルモノヲ除クノ外總會ノ議決ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第四十條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名又ハ記名捺印スルモノトス

- 一 開會ノ日時及場所
- 二 總會ヲ組織スル者ノ數
- 三 出席者數
- 四 議事ノ要領
- 五 議決シタル事項及賛否ノ數

第四十一條 左ニ掲グル事項ハ評議員會ノ議決ヲ經ルモノトス
一 第十八條第五項ニ掲グル事項
二 會長ニ於テ必要ト認メタル事項

第四十二條 評議員會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 會長必要ト認メタルトキ
 - 二 評議員五人以上ヨリ會議ノ目的タル事項及其ノ招集ノ事由ヲ示シ評議員會ノ招集ヲ請求シタルトキ
- 會長必要ト認ムルトキハ書面ヲ以テ評議員ノ意見ヲ徵シ評議員會ノ議決ニ代フルコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ會長ハ七日ヲ下ラザル回答ヲ期限定ムベシ

第四十三條 評議員會ノ議長ハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

第四十四條 評議員會ハ評議員過半数出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ

第四十五條 第三十一條、第三十六條及第四十條ノ規定ハ評議員會ニ之ヲ準用ス

第四章 會 計

第四十六條 本會ノ經費ハ會員ノ負擔トシ左ノ種別ニ依リ賦課スルモノトス

- 一 平等割
 - 二 蠶種製造額割
- 第四十七條 經費ヲ滯納スル者アルトキハ會長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

第四十八條 本會ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受クルコトヲ得

第四十九條 本會ハ基本財産ヲ設ク

支途ヲ特定セザル寄附ヲ受ケタルトキハ之ヲ基本財産ニ編入ス

基本財産ノ造成及管理ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第五十條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 財産臺帳
- 二 經費徵收原簿
- 三 出納簿
- 四 歳入歳出整理簿
- 五 借入金臺帳
- 六 備品臺帳

第五十一條 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス但シ總會ノ決議ニ依リ其ノ一部ヲ基本財産ニ繰入ルルコトヲ得

第五十二條 本會ノ出納閉鎖期ハ五月三十一日トス

第五章 過 怠 金

第五十三條 會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五百圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一 本會ノ行フ統制施設ニ違背シタルトキ

第一條 本會ハ會員相互ノ聯絡ヲ圖リ其ノ共同ノ目的ヲ達成スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 會員相互ノ聯絡及統制ニ關スル施設
- 二 原料繭及其ノ受入方法ノ統一ニ關スル施設
- 三 生絲ニ關スル規格ノ統一ニ關スル施設
- 四 産業組合製絲ノ指導獎勵ニ關スル施設
- 五 産業組合製絲ニ關スル研究及調査
- 六 産業組合製絲ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
- 七 前各號ニ掲グルモノノ外會員ノ聯絡ヲ圖リ其ノ目的ヲ達成スル爲必要ナル施設

第三條 本會ハ全國産業組合製絲組合聯合會ト稱ス

第四條 本會ノ地區ハ全國トス

第五條 本會ノ事務所ハ東京市ニ置ク

第六條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第七條 本會ハ事務所ニ會員名簿ヲ備ヘ置クモノトス

- 一 會員ノ名稱及事務所
- 二 經費賦課ノ基礎ト爲ルベキ事項
- 三 議員及豫備議員ノ配當數

全國産業組合製絲組合聯合會會則

第一章 總 則

全國蠶種業組合聯合會會則 全國産業組合製絲組合聯合會會則

二 本會ノ事業執行ヲ妨ゲタルトキ

會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ百圓以下ノ過怠金ヲ課ス

- 一 第十條ノ規定ニ依リ調査又ハ報告ヲ爲サザルトキ
- 二 第四十七條ノ督促ヲ受ケ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セザルトキ

第五十四條 過怠金徵收ノ通知書ニハ其ノ事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第六章 解 散

第五十五條 本會ノ解散ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第五十六條 本會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ清算人トス

第五十七條 清算人ハ就任後遲滞ナク財産目錄ヲ作成シ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第五十八條 清算終了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ總會ニ提出シ其ノ旨報告スベシ

會員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ會長ハ遲滯ナク之ヲ訂正スベシ

第八條 日本中央蠶絲會ニ於テ産業組合製絲ニ關スル統制施設ヲ議決シ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ本會ハ其ノ統制施設ヲ行フモノトス

第九條 本會ノ行フ調停又ハ仲裁ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 本會ハ會員ニ對シ産業組合製絲ニ關スル事項ノ調査又ハ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條 會員タル資格ヲ取得シ又ハ喪失シタルトキハ遲滯ナク本會ニ其ノ旨届出ツベシ第七條第二項第一號又ハ第二號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

第二章 役員、職員、日本中央蠶絲會議員及相談役

第十二條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一人
- 副會長 一人
- 評議員 十一人

第十三條 役員ハ總會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第十四條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ズ

二 臨時總會ノ招集ニ關スル事項

三 寄附ノ受諾及拒否ニ關スル事項

四 其ノ他會長ニ於テ必要ト認ムル事項

第二十條 會長ハ總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムル事ヲ要ス

第二十一條 役員ハ名譽職トス

役員ニハ總會ノ議決ヲ經テ報酬、手當又ハ賞與ヲ給スルコトヲ得

第二十二條 本會ニ左ノ職員ヲ置キ會長之ヲ任免ス

- 主事 一人
 - 參事 若干人
 - 主事補 若干人
 - 技師 若干人
 - 技手 若干人
 - 書記 若干人
- 主事ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ管掌ス
 參事及主事補ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ處理ス
 技師及技手ハ會長ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス

全國産業組合製絲組合聯合會會則

第十五條 本會ハ正當ノ事由アルトキハ役員ヲ解任スルコトヲ得役員ヲ解任シタルトキハ同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十六條 役員ニ闕員ヲ生ジタルトキハ次ノ總會ヲ待ツコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十七條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四箇年トス但シ補闕ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス

役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第十八條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス其ノ代理ノ順序ハ會長ノ定ムル所ニ依ル

會長ハ副會長ヲシテ左ノ事項ヲ分掌セシムルコトヲ得

一 庶務ニ關スル事項

二 三百圓未滿ノ金錢ノ收支ニ關スル事項

第十九條 評議員ハ會務ニ關スル重要ナル事項ニ付會長ノ諮問ニ應ジ並ニ會務ノ執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ニ諮問スベキ事項左ノ如シ

一 總會ニ提出スベキ議案ニ關スル事項

書記ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第二十三條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給ヲ支給ス

第二十四條 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ハ本會ノ役員又ハ議員中ヨリ之ヲ選任ス

第二十五條 本會ハ正當ノ事由アルトキハ前條ノ議員及豫備議員ヲ解任スルコトヲ得

第二十六條 本會ニ相談役ヲ置クコトヲ得

相談役ハ總會ノ推薦ニヨリ會長之ヲ囑託シ其ノ任期ハ役員ノ任期ニ準ズ

相談役ハ會長ノ諮問ニ應ジ且總會又ハ評議員會ニ出席シ意見ヲ開陳スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

第三章 會議

第二十七條 本會ニ總會ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十八條 議員及議員事故アル場合之ニ代ルベキ豫備議員ハ會員タル産業組合製絲組合、産業組合又ハ産業組合聯合會ニ於テ之ヲ選任ス

議員ノ定數ハ本會設立ノ日ノ屬スル事業年度ヨリ起算シ毎四事業年度チ一期トシ各期ニ付左ノ各號ニ依リ各會員ニ配當シタルモノノ合計トス但シ一會員ニ付八人ヲ超ユルモノニ在リテハ之ヲ八人トス

- 一 當該期ノ最初ノ事業年度以前ニ於テ會員ト爲リタル會員ニ在リテハ當該期ノ最初ノ事業年度ノ前々生絲事業年度ニ於ケル一ヶ年生産數量三萬六千貫未滿ニ付一人トシ尙三萬六千貫ヲ超ユル部分ニ付四萬貫又ハ其ノ端數ヲ増ス毎ニ一人ヲ増加ス
 - 二 當該期ニ於テ新ニ會員ト爲リタル會員ニ在リテハ當該期ノ最初ノ事業年度ノ前々生絲年度ノ一ヶ年生絲生産數量ニ依リ前號ノ規定ニ準ジ配當ス
 - 三 當該期ニ於テ新ニ會員ト爲リタル會員ニシテ前號ノ生産數量ヲ有セザル者ニ在リテハ其ノ一ヶ年生絲生産數量ヲ有スル生絲事業年度迄繰下ケ其ノ年度ニ於ケル其ノ有スル一ヶ年生絲生産數量ニ依リ第一號ノ規定ニ準ジ配當ス
 - 四 當該期ニ於テ新ニ會員ト爲リタル會員ニシテ前號ノ生絲生産數量ヲ有セザル者ニ在リテハ設備一釜又ハ一臺ニ付四俵ノ生産トシテ其ノ數量ニ依リ第一號ノ規定ニ準ジ配當ス
- 前項ノ規定ハ豫備議員ノ定數ニ付テ準用ス
豫備議員二人以上アル場合ニ於テ議員事故アルトキ之ニ代ルベキモノノ順位ハ會員タル産業組合製絲組合ニ於テ之ヲ定ムベシ

- 二十九條 會員ハ議員又ハ豫備議員ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ都度本會ニ届出ツベシ
- 三十條 第十七條及第二十一條ノ規定ハ議員及豫備議員ニ之ヲ準用ス
- 三十一條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルモノトス但シ第三號ニ掲グル事項ニシテ日本中央蠶絲會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收支方法
- 三 生絲ノ生産調節ニ關スル施設並ニ生絲ノ販賣數量及販賣價格ノ統制ニ關スル施設
- 四 生絲ノ規格統一
- 五 事業報告及收支決算
- 六 借入金
- 七 基本財産ノ造成、管理及處分
- 八 會則ノ變更
- 九 役員ノ選任及解任
- 十 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ノ選任及解任
- 十一 本則施行ニ關スル重要ナル諸規程ノ制定並ニ變更
- 三十二條 總會ハ會長之ヲ招集ス
- 三十三條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年十一月又ハ十二月之ヲ開キ臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

- 一 會長必要ト認ムルトキ
 - 二 總會ヲ組織スル者其ノ總數ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ
 - 三 評議員ガ業務執行及財産ノ狀況ヲ督查シ之ヲ總會ニ報告スル爲總會ノ招集ヲ請求シタルトキ
- 前項第二號ノ場合ニ於テ會長正當ノ事由ナクシテ二週間以内ニ總會ヲ招集セザルトキハ請求者ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得
- 第三十四條 總會ヲ招集セントスルトキハ少クトモ三週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ會員ニ通知スベシ
- 第三十五條 總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ緊急且輕微ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第三十六條 總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲ以テ之ニ充ツ
- 會長及副會長共ニ事故アルトキ、蠶絲業組合法第六十八條ノ規定ニ依リ準用スル同法第三十四條第三項若ハ第四

- 項ノ場合又ハ本會則第三十三條第二項第三號ノ請求ニ依リ總會ヲ招集シタル場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム
- 第三十七條 總會ノ議事ハ法令及本會則ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
- 第三十八條 第三十一條第三號、第四號、第八號及第九號ニ掲グル事項ハ總會ニ於テ總會ヲ組織スル者ノ半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス
- 第三十九條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ會長ハ書面ヲ以テ總會ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ總會ノ決議ニ代フルコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ會長ハ七日チ下ラザル回答期限ヲ定ムベシ
- 第四十條 總會ノ議事ニ關スル規程ハ本會則ニ規定アルモノヲ除クノ外總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム
- 第四十一條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名又ハ記名捺印スルモノトス
- 一 開會ノ日時及場所
- 二 總會ヲ組織スル者ノ數

- 三 出席者數
 - 四 議事ノ要領
 - 五 議決シタル事項及賛否ノ數
- 第四十二條 本會ニ評議員會ヲ置ク
評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス
評議員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四章 會計

第四十三條 本會ノ經費ハ會員ノ負擔トシ左ノ種別ニ依リ賦課スルモノトス

- 一 平等割
- 二 生絲販賣額割

第四十四條 本會ハ必要ニ應ジ使用料若ハ手数料ヲ徵收シ又ハ實費ノ辨濟ヲ受ケルコトアルベシ
前項ノ使用料、手数料及實費ノ辨濟ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十五條 經費、使用料、手数料又ハ實費辨濟金ヲ滯納スル者アルトキハ會長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ
第四十六條 本會ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受ケルコトヲ得

第四十七條 本會ハ基本財産ヲ設ケ
支途ヲ特定セザル寄附ヲ受ケタルトキハ之ヲ基本財産ニ

コトヲ要ス

第六章 解散

第五十三條 本會ノ解散ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第五十四條 本會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ清算人トス

第五十五條 清算人ハ就任後遲滞ナク財産目錄ヲ作成シ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第五十六條 清算終了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ總會ニ提出シテ其ノ旨報告スベシ

全國製絲業組合聯合會會則

第一章 總則

第一條 本會ハ製絲業組合ノ聯絡ヲ圖リ其ノ共同ノ目的ヲ達成スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ其ノ目的ヲ達成スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 會員相互ノ聯絡及統制ニ關スル施設
- 二 生絲ニ關スル規格ノ統一及檢査ニ關スル施設
- 三 製絲業ノ指導獎勵ニ關スル施設
- 四 生絲及副産物ノ販賣改善ニ關スル施設
- 五 製絲業ニ従事スル者ノ福利増進ニ關スル施設

全國産業組合製絲組合聯合會會則 全國製絲業組合聯合會會則

編入ス基本財産ノ造成及管理ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム
第四十八條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 財産臺帳
- 二 經費徵收原簿
- 三 出納簿
- 四 其ノ他必要ナル帳簿

第四十九條 剩餘金ハ翌年度ニ繰返シ收入豫算ニ編入ス但シ其ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ編入スルヲ妨グズ

第五十條 本會ノ出納閉鎖期ハ五月三十一日トス

第五章 過怠金

第五十一條 會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五百圓以下ノ過怠金ヲ課ス

- 一 本會ノ行フ統制施設ニ違背シタルトキ
- 二 本會ノ事業ノ執行ヲ妨グタルトキ

- 一 第十條ノ規定ニ依ル調査又ハ報告ヲ爲サザルトキ
- 二 第四十五條ノ督促ヲ受ケ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セザルトキ

第五十二條 過怠金徵收ノ通知書ニハ其ノ事由ヲ記載スル

六 製絲業ニ關スル研究及調査

七 製絲業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁

八 前各號ニ掲グルモノノ外會員ノ聯絡ヲ圖リ其ノ共同ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル施設

第三條 本會ハ全國製絲業組合聯合會ト稱ス

第四條 本會ノ地區ハ全國トス

第五條 本會ノ事務所ハ東京市ニ置ク但シ必要ニ依リ横濱市及神戸市ニ出張所ヲ設ケルコトヲ得

第六條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第七條 本會ハ事務所ニ會員名簿ヲ備ヘ置クモノトス
會員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス

- 一 會員ノ名稱及事務所
- 二 經費賦課ノ基礎ト爲ルベキ事項
- 三 議員及豫備議員ノ配當數

會員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ會長ハ遲滞ナク之ヲ訂正スベシ

第八條 日本中央蠶絲會ニ於テ製絲業ニ關スル統制施設ヲ議決シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ本會ハ其ノ統制施設ヲ行フモノトス

第九條 本會ノ行フ調停又ハ仲裁ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ

定ム
 第十條 本會ハ會員ニ對シ製絲業ニ關スル事項ノ調査又ハ報告ヲ爲サシムルコトヲ得
 第十一條 會員タル資格ヲ取得シ又ハ喪失シタルトキハ遲滞ナク本會ニ其ノ旨届出ツベシ第七條第二項第一號及第二號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ
 第十二條 會員ハ其ノ役員ノ選任、解任、收支豫算及經費ノ分賦收入方法、事業報告並ニ收支決算ヲ遲滞ナク本會ニ報告スルモノトス
 第二章 役員、職員、日本中央蠶絲會議員、顧問及相談役

第十三條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 會長 一名
 副會長 一名
 評議員 十五名
 第十四條 役員ハ總會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得
 第十五條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スル事ヲ得ズ
 第十六條 本會ハ正當ノ事由アルトキハ役員ヲ解任スルコトヲ得役員ヲ解任シタルトキハ同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十七條 役員ニ闕員ヲ生ジタルトキハ次ノ總會ヲ待ツコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス
 第十八條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四ヶ年トス但シ補闕ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス
 役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス
 第十九條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス
 副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス
 代理ノ順位ハ會長ノ定ムル所ニ依ル
 會長ハ副會長ヲシテ左ノ事項ヲ分掌セシムルコトヲ得
 一 庶務ニ關スル事項
 二 五百圓未満ノ金錢ノ收支ニ關スル事項
 第二十條 會長ハ總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分スルコトヲ得
 前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ得ス
 第二十一條 評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ並ニ會務ノ執行及

財産ノ狀況ヲ監査ス
 會長ハ左ニ掲グル事項ニ付テハ評議員ニ諮問スルコトヲ得
 要ス
 一 總會ニ提出スベキ議案ニ關スル事項
 二 臨時總會ノ招集ニ關スル事項
 第二十二條 役員ハ名譽職トス
 役員ニハ總會ノ議決ヲ經テ報酬、手當又ハ賞與ヲ給スルコトヲ得
 第二十三條 本會ニ左ノ職員ヲ置キ會長之ヲ任免ス
 主 事 一名
 參 事 若干名
 技 師 若干名
 技 手 若干名
 書 記 若干名
 主事ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ管掌ス
 參事、技師、技手及書記ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ分擔ス
 第二十四條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給、旅費、退職給與金及死亡給與金ヲ支給ス
 前項ニ關スル規程ハ總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム
 第二十五條 職員ノ服務規律及處務ニ關スル規程ハ評議員會ニ諮問シ會長之ヲ定ム

第二十六條 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ハ總會ニ於テ本會ノ役員又ハ議員中ヨリ之ヲ選任ス
 第二十七條 本會ハ正當ノ事由アルトキハ前條ノ議員及豫備議員ヲ解任スルコトヲ得
 第二十八條 本會ニ顧問及相談役ヲ置クコトヲ得
 顧問ハ總會ノ推薦ニ依リ相談役ハ評議員會ニ諮問シ會長之ヲ囑託ス其ノ任期ハ役員ノ任期ニ準ズ
 顧問及相談役ハ會長ノ諮問ニ應ジ且總會又ハ評議員會ニ出席シ意見ヲ開陳スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ
 第三章 會議
 第二十九條 會議ハ總會及評議員會ノ二種トス
 總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織シ評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス
 第三十條 議員及豫備議員ハ會員タル製絲業組合ニ於テ之ヲ選任ス
 議員ノ定數ハ左ノ標準ニ依リ各會員ニ配當シタルモノノ合計トス
 一 會員タル製絲業組合ノ組合員ノ一ヶ年生絲製造額四拾萬貫未満ニ付一人トシ尙四拾萬貫以上ノ部分ニ付四拾萬貫又ハ其ノ端數ヲ増ス毎二人ヲ増加ス但シ一會

全國製絲業組合聯合會會則

員ニ付六人ヲ越ユルモノニ在リテハ之ヲ六人トス
前項ノ生絲製造額ハ議員ノ任期滿了前ノ生絲事業年度四
ヶ年ノ平均生絲製造額ニ據ル

前二項ノ規定ハ豫備議員ノ定數ニ付之ヲ準用ス
豫備議員二人以上アル場合ニ於テ議員事故アルトキ之ニ
代ルベキモノ、順位ハ會員タル製絲業組合ニ於テ之ヲ定
ムベシ

第三十一條 會員ハ議員又ハ豫備議員ヲ選任又ハ解任シタ
ルトキハ其ノ都度本會ニ届出ツベシ

第三十二條 第十八條及第二十二條ノ規定ハ議員及豫備議
員ニ之ヲ準用ス

第三十三條 本會則ニ定ムルモノノ外左ニ掲グル事項ハ總
會ノ議決ヲ經ルモノトス但シ第三號ニ掲グル事項ニシテ
日本中央蠶絲會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ
在ラズ

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 生絲ノ生産調節ニ關スル施設並ニ生絲ノ販賣數量及
販賣價格ノ統制ニ關スル施設
- 四 生絲ノ規格統一
- 五 事業報告及收支決算

前項ノ場合ニ於テ會長正當ノ事由ナクシテ二週間以内ニ
總會ヲ召集セザルトキハ請求者ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ
之ヲ召集スルコトヲ得

第三十六條 評議員會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

- 一 會長必要ト認ムルトキ
- 二 評議員七名以上ヨリ議會ノ目的タル事項及召集ノ事
由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ評議員會ノ召集ヲ請求シ
タルトキ

第三十七條 會議ハ總會ニ在リテハ開會ノ日ヨリ三週間前
ニ、評議員會ニ在リテハ開會ノ日ヨリ一週間前ニ會議ノ
目的タル事項、日時及場所ヲ會議ヲ組織スル者ニ通知ス
ベシ

前項ノ總會召集ノ期間ハ臨時緊急ヲ要スル場合ニ在リテ
ハ二週間迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第三十八條 左ニ掲グル事項ハ評議員會ノ議決ヲ經ルモノ
トス

- 一 會務ノ執行及財産ノ狀況ニ關スル監査
- 二 第二十一條第二項ニ關スル事項
- 三 本會則ノ規定又ハ總會ノ委任ニ依リ評議員會ノ權限
ニ屬スル事項
- 四 其ノ他會長ニ於テ必要ト認ムル事項

六 借入金

七 基本財産ノ造成、管理及處分

八 會則ノ變更

九 役員ノ選任及解任

十 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ノ選任及解任

十一 本則執行其ノ他重要事項ニ關スル諸規程ノ制定並
ニ變更

十二 生絲及其ノ副産物ノ販賣改善ニ關スル施設

第三十四條 總會及評議員會ハ會長之ヲ召集ス

第三十五條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年一回十一月ヨリ翌年一月ノ間ニ於テ之ヲ
開キ臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

- 一 會長必要ト認ムルトキ
 - 二 總會ヲ組織スル者其ノ總數ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ
得テ會議ノ目的タル事項及召集ノ事由ヲ記載シタル書
面ヲ提出シ總會ノ召集ヲ請求シタルトキ
 - 三 評議員業務執行及財産ノ狀況ヲ監査シ之ヲ總會ニ報
告スル爲總會ノ召集ヲ請求シタルトキ
- 前項第二號ノ規定ニ依リ總會召集ノ請求ヲ受ケタルトキ
ハ會長ハ請求アリタル後二週間以内ニ總會ヲ召集スルコ
トヲ要ス

第三十九條 會議ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ
議決ヲ爲スモノトス但シ緊急且輕微ノモノニ付テハ此ノ
限ニ在ラズ

第四十條 會議ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長
ヲ以テ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ、蠶絲業
組合法第六十八條ノ規定ニ依リ準用スル同法第三十四條
第三項若ハ第四項ノ場合、本會則第三十五條第二項第三
號ノ請求ニ依リ總會ヲ召集シタル場合又ハ業務執行及財
産ノ狀況監査ニ關スル事項ヲ議スル評議員會ニ在リテハ
出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

第四十一條 會議ノ議事ハ法令及本會則ニ別段ノ定アル場
合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナ
ルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十二條 第三十三條第三號、第四號、第八號、第九號
及第十二號ニ掲グル事項ハ總會ニ於テ總會ヲ組織スル者
ノ半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決
ス

第四十三條 總會又ハ評議員會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ
輕微ナルモノニ付テハ會長ハ書面ヲ以テ會議ヲ組織スル
者ノ意見ヲ徵シ總會又ハ評議員會ノ議決ニ代フルコトヲ
得

前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ會長ハ十日
ヲ下ラザル回答期限ヲ定ムベシ此ノ期限以内ニ到着セザ
ル意見書ハ採決ニ加ヘザルモノトス

第四十四條 會議ノ議事ニ關スル規程ハ本會則ニ規定アル
モノヲ除ク外總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第四十五條 會議ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ
記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名又ハ記名捺印スル
モノトス

一 開會ノ日時及場所

二 會議ヲ組織スル者ノ數

三 出席者數

四 議事ノ要領

五 議決シタル事項及賛否ノ數

第四章 會計

第四十六條 本會ノ經費ハ會員ノ負擔トシ左ノ種別ニ依リ
賦課スルモノトス

一 平等割

二 生絲製造額割

第四十七條 本會ハ必要ニ應ジ使用料若ハ手数料ヲ徵收シ
又ハ實費ノ辨償ヲ受ケルコトアルベシ
前項ノ使用料、手数料及實費ノ辨償ニ關スル規程ハ別ニ

之ヲ定ム

第四十八條 經費、使用料、手数料又ハ實費辨償金ヲ滯納
スル者アルトキハ會長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ
第四十九條 本會ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受ケル
コトヲ得

第五十條 本會ハ基本財産ヲ設ケ

基本財産ノ造成及管理ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第五十一條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一 財産臺帳

二 經費徵收原簿

三 出納簿

四 其ノ他必要ナル帳簿

第五十二條 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス但
シ總會ノ決議ニ依リ其ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ繰入
ルコトヲ得

第五十三條 本會ノ出納閉鎖期ハ五月三十一日トス

第五章 過怠金

第五十四條 會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ千圓以下
ノ過怠金ヲ課ス

一 本會ノ行フ統制施設ニ違反シタルトキ

二 本會ノ事業執行ヲ妨ゲタルトキ

第二條 本組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一 生絲ノ取引方法ノ改善及統一ニ關スル施設

二 生絲取引ニ關スル研究及調査

三 生絲取引ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁

四 前各號ニ掲グルモノノ外生絲取引ノ改良發達及統制
ニ關スル施設

第三條 本組合ハ横濱生絲問屋業組合ト稱ス

第四條 本組合ノ地區ハ横濱市一圓トス

第五條 本組合ノ事務所ハ神奈川県横濱市ニ置ク

第六條 本組合ノ公告ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

一 本組合ノ揭示場ニ揭示ス

第七條 本組合ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一
日迄トス

第八條 本組合ハ事務所ニ組合員名簿ヲ備ヘ置クモノトス

組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス

一 組合員ノ氏名又ハ名稱並ニ住所又ハ事務所及營業所

二 經費賦課ノ基礎ト爲ルベキ事項

組合員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲
滯ナク之ヲ訂正スベシ

第九條 日本中央蠶絲會ニ於テ生絲取引ニ關スル統制施設
ヲ議決シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ本組合ハ其ノ

會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ百圓以下ノ過怠金ヲ
課ス

一 第十條ノ規定ニ依リ調査又ハ報告ヲ爲サザルトキ

二 第四十八條ノ督促ヲ受ケ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セ
ザルトキ

第五十五條 過怠金徵收ノ通知書ニハ其ノ事由ヲ記載スル
モノトス

第六章 解散

第五十六條 本會ノ解散ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アル
コトヲ要ス

第五十七條 本會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ清
算人トス

第五十八條 清算人ハ就任後遲滯ナク財産目錄ヲ作成シ之
ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第五十九條 清算終了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算
報告書ヲ作製シ之ヲ會員ニ報告スベシ

横濱生絲問屋業組合定款

第一章 總則

第一條 本組合ハ生絲取引ノ改良發達及統制ヲ圖ルヲ以テ
目的トス

全國製絲業組合聯合會會則 横濱生絲問屋業組合定款

統制施設ヲ行フモノトス

第十條 本組合ノ行フ統制施設ニ關シ必要アル場合ニ於テハ役員又ハ検査員ス組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ検査スルコトヲ得

前項ノ検査員ハ第二十三條ノ職員中ヨリ組合長之ヲ命ズ但シ特別ノ事由アルトキハ其ノ他ノ者ヲ検査員ト爲スコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ當該役員又ハ検査員臨檢又ハ検査ヲ爲サントスルトキハ様式第一號ニ依ル證票ヲ携帯スルモノトス

第十一條 本組合ノ行フ調停又ハ仲裁ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 本組合ハ組合員ニ對シ生絲取引ニ關スル事項ノ調査又ハ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條 組合員タル資格ヲ取得シ又ハ喪失シタルトキハ遲滞ナク本組合ニ其ノ旨届出ツベシ第八條第二項各號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

第二章 役員、議員及職員

第十四條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

- 組合長 一人
- 副組合長 一人

評議員 十三人

第十五條 役員ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第十六條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ズ第十七條 本組合ハ正當ノ事由アルトキハ役員ヲ解任スルコトヲ得

役員ヲ解任シタルトテハ同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十八條 役員ニ闕員ヲ生ジタルトキハ次ノ總會ヲ待ツコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十九條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四ケ年トス但シ補闕ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス

役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條 組合長ハ本組合ヲ代表シ組合ノ事務ヲ總理ス副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

評議員ハ組合長ノ諮問ニ應ジ並ニ業務執行及財産ノ狀況

書記 若干名

囑託員 若干名

主事ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ管掌ス

第二十四條 職員ノ俸給ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二十五條 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ハ總會ニ於テ本組合ノ役員又ハ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

第二十六條 本組合ハ正當ノ事由アルトキハ前條ノ議員及豫備議員ヲ解任スルコトヲ得

第三章 會議

第二十七條 本組合ニ總會ヲ置ク

總會ハ總組合員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十八條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルモノトス但シ第三號ニ掲グル事項ニシテ日本中央蠶絲會ノ議決ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 生絲ノ取引數量及取引價格ノ統制ニ關スル施設
- 四 取引方法ノ改善及統一
- 五 事業報告及收支決算
- 六 借入金

ヲ監査ス

組合長ハ左ニ掲グル事項ニ付テハ評議員ニ諮問スルコトヲ要ス

一 總會ニ提出スベキ議案ニ關スル事項

二 臨時總會ノ招集ニ關スル事項

三 蠶絲業組合法施行令第一條ノ規定ニ依ル異議ノ申立ニ對スル決定ニ關スル事項

四 違約者處分ニ關スル事項

五 經費豫算ノ款内流用ニ關スル事項

六 主事ノ任免

七 其ノ他組合長ニ於テ必要ト認メタル事項

第二十一條 組合長ハ總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ組合長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二十二條 役員ハ名譽職トス

役員ニハ總會ノ議決ヲ經テ報酬、手當又ハ賞與ヲ給スルコトヲ得

第二十三條 本組合ニ左ノ職員ヲ置キ組合長之ヲ任免ス

- 主事 一人

七 基本財産ノ造及管理及處分
 八 定款ノ變更
 九 役員ノ選任及解任
 十 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ノ選任及解任
 十一 事業執行ニ關スル規程
 十二 前各號ニ掲グルモノノ外組合長ニ於テ必要ト認メタル事項
 第二十九條 總會ハ組合長之ヲ招集ス
 第三十條 總會ハ通常總會及臨時總會トス
 通常總會ハ毎年二月之ヲ開キ臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク
 一 組合長必要ト認ムルトキ
 二 組合員總組合員ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ
 三 評議員ガ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査シ之ヲ總會ニ報告スル爲總會ノ招集ヲ請求シタルトキ
 前項第二號ノ場合ニ於テ組合長正當ノ事由ナクシテ二週間以内ニ總會ヲ招集セザルトキハ請求者ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得
 第三十一條 總會ヲ招集セントスルトキハ少クトモ三日前

ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ組合員ニ通知スベシ
 第三十二條 總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ緊急且輕微ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
 第三十三條 總會ノ議長ハ組合長、組合長事故アルトキハ副組合長ヲ以テ之ニ充ツ組合長及副組合長共ニ事故アルトキ若ハ左ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム
 一 本定款第三十條第二項第三號及同條第三項ニ依リ總會ヲ招集シタルトキ
 二 本定款第三十條第三項ニ依リ總會ヲ招集スル事能ハザルトキ農林大臣ニ於テ組合員ヲ指定シ之ヲシテ總會ヲ招集セシメタルトキ
 第三十四條 總會ノ議事ハ法令及本定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
 第三十五條 第二十八條第三號、第四號、第八號及第九號ニ掲グル事項ハ總會ニ於テ組合員ノ半数以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス
 第三十六條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノ

ニ付テハ組合長ハ書面ヲ以テ組合員ノ意見ヲ徵シ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得
 前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ組合長ハ二日ヲ下ラザル回答期限ヲ定ムベシ
 第三十七條 組合員ハ總會ニ於テ他ノ組合員ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト見做ス
 前項ノ委任ヲ受ケタル者ハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スルコトヲ要ス
 第三十八條 總會ノ議事ニ關スル規程ハ本定款ニ規定アルモノヲ除クノ外總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム
 第三十九條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名又ハ記名捺印スルモノトス
 一 開會ノ日時及場所
 二 組合員數
 三 出席者數
 四 議事ノ要領
 五 議決シタル事項及賛否ノ數
 第四章 會 計
 第四十條 本組合ノ經費ハ組合員ノ負擔トシ左ノ種別ニ依

リ賦課スルモノトス
 一 平等割
 二 取扱數量割
 第四十一條 本組合ハ左ニ掲グル事項ニ付實費ノ辨濟ヲ受クルモノトス
 一 組合ニ於テ發行スル刊行物
 前項實費ノ辨濟ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム
 第四十二條 經費又ハ實費辨濟金ヲ滯納スル者アルトキハ組合長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ
 第四十三條 本組合ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受ケルコトヲ得
 第四十四條 本組合ハ基本財産ヲ設ケ
 支途ヲ特定セザル寄附ヲ受ケタルトキハ之ヲ基本財産ニ編入ス
 第四十五條 本組合ニ左ノ帳簿ヲ備フ
 一 財産臺帳
 二 經費徵收原簿
 三 出納簿
 四 其ノ他事業執行上必要ト認メタル帳簿
 第四十六條 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス但シ其ノ全部又ハ一部ヲ總會ノ決議ヲ經テ基本財産ニ繰入

スルコトヲ得

第四十七條 本組合ノ出納閉鎖期ハ五月三十一日トス

第五章 過怠金

第四十八條 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ金貳千圓以下ノ過怠金ヲ課ス

- 一 正當ノ事由ナクシテ第十條ノ規定ニ依ル臨檢又ハ檢査ヲ拒ミタルトキ
 - 二 本組合ノ行フ統制施設ニ違背シタルトキ
 - 三 本組合ノ事業ノ執行ヲ妨ゲタルトキ
- 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ金貳百圓以下ノ過怠金ヲ課ス

第十二條ノ規定ニ依ル調査又ハ報告ヲ爲サザルトキ
第四十二條ノ督促ヲ受ケ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セザルトキ

第四十九條 過怠金徵收ノ通知書ニハ其ノ事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第六章 解散

第五十條 本組合ノ解散ハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第五十一條 本組合解散シタルトキハ組合長及副組合長ヲ以テ清算人トス

第五十二條 清算人ハ就任後遲滞ナク財産目錄ヲ作成シ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ
第五十三條 清算終了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ總會ニ提出シ其ノ旨報告スベシ

様式

第一號
縦八十五耗 横六十耗

第 號	第 號
橫濱生絲問屋 業組合	臨檢検査證票
組合長 副組合長 評議員 検査員	氏 名
	組合印

五 前各號ニ掲グルモノノ外生絲取引ノ改良發達及統制ニ關スル施設

第三條 本組合ハ神戸生絲問屋業組合ト稱ス

第四條 本組合ノ地區ハ神戸市一圓トス

第五條 本組合ノ事務所ハ兵庫縣神戸市ニ置ク

第六條 本組合ノ公告ハ本組合ノ揭示場ニ揭示ス

第七條 本組合ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第八條 本組合ハ事務所ニ組合員名簿ヲ備ヘ置クモノトス
組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス

- 一 組合員ノ氏名又ハ名稱並ニ住所又ハ事務所及營業所
 - 二 經費賦課ノ基礎トナルベキ事項
- 組合員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滞ナク之ヲ訂正スベシ

第九條 全國生絲問屋業組合聯合會又ハ日本中央蠶絲會ニ於テ生絲取引ニ關スル統制施設ヲ議決シ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ本組合ハ其統制ノ施設ヲ行フモノトス

第十條 本組合ノ行フ統制施設ニ關シ必要アル場合ニ於テハ役員又ハ検査員ハ組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ検査スルコトヲ得

前項ノ検査員ハ第二十三條ノ職員中ヨリ組合長之ヲ命ズ

裏 面

一 蠶絲業組合法第八條 蠶絲業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ役員又ハ検査員ヲシテ組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ検査セシムルコトヲ得

二 前項ノ場合ニ於テハ當該役員又ハ検査員ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帯スベシ

三 定款第十條 本組合ノ行フ統制施設ニ關シ必要アル場合ニ於テハ役員又ハ検査員ハ組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ検査スルコトヲ得(以下略)

四 定款第四十八條 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ金貳千圓以下ノ過怠金ヲ課ス

五 正當ノ事由ナクシテ第十條ノ規定ニ依ル臨檢又ハ検査ヲ拒ミタルトキ(以下略)

神戸生絲問屋業組合定款

第一章 總 則

第一條 本組合ハ生絲取引ノ改良發達及統制ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 生絲取引方法ノ改善及統一ニ關スル施設
- 二 生絲取引ニ關スル研究及調査
- 三 生絲取引ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
- 四 其ノ他本組合ノ目的ヲ達スルニ必要ト認メタル事項

橫濱生絲問屋業組合定款 神戸生絲問屋業組合定款

但シ特別ノ事由アルトキハ其ノ他ノ者ヲ検査員トナスコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ當該役員又ハ検査員臨檢又ハ検査ヲ爲サントスルトキハ様式第一號ニ依リ證票ヲ携帯スルモノトス

第十一條 本組合ノ行フ調停又ハ仲裁ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 本組合ハ組合員ニ對シ生絲取引ニ關スル事項ノ調査又ハ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條 組合員タル資格ヲ取得シ又ハ喪失シタルトキハ遲滞ナク本組合ニ其ノ旨届出ヅベシ第八條第二項各號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

第二章 役員、議員及職員

第十四條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

- 組合長 一名
- 副組合長 二名
- 評議員 八名

第十五條 役員ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第十六條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ズ

求ムルコトヲ要ス

第二十二條 役員ハ名譽職トス

役員ニハ總會ノ議決ヲ經テ報酬、手當又ハ賞與ヲ給スルコトヲ得

第二十三條 本組合ニ左ノ職員ヲ置キ組合長之ヲ任免ス

- 主事 一名
- 書記 若干名
- 囑託員 若干名

主事ハ組合長ノ命ヲ承ケ事務ヲ管掌ス

書記及囑託員ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス

第二十三條ノ二 本組合ニ顧問ヲ置クコトヲ得

顧問ハ總會ノ推薦ニ依リ組合長之ヲ囑託シ其ノ任期ハ役員ノ任期ニ準ズ

顧問ハ組合長ノ諮問ニ應ジ且總會又ハ評議員會ニ出席シ意見ヲ開陳スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

第二十四條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給ヲ支給ス

第二十五條 全國生絲問屋業組合聯合會ノ議員及豫備議員ハ總會ニ於テ本組合ノ役員又ハ組合員中ヨリ之ヲ選任ス全國生絲問屋業組合聯合會ナキ爲日本中央蠶絲會ノ會員ト爲リタル場合ニ於ケル日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ハ總會ニ於テ本組合ノ役員又ハ組合員中ヨリ之ヲ選任

神戸生絲問屋業組合定款

第十七條 本組合ハ正當ノ事由アルトキハ役員ヲ解任スルコトヲ得

役員ヲ解任シタルトキハ同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十八條 役員ニ闕員ヲ生ジタルトキハ次ノ總會ヲ待ツコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ヲ召集シ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十九條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四ヶ年トス但シ補闕ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス

役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條 組合長ハ本組合ヲ代表シ組合ノ事務ヲ總理ス副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

評議員ハ組合長ノ諮問ニ應ジ並ニ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

第二十一條 組合長ハ總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急務ヲ要シ總會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ組合長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ

ス

第二十六條 本組合ハ正當ノ事由アルトキハ前條ノ議員及豫備議員ヲ解任スルコトヲ得

第三章 會議

第二十七條 本組合ニ總會及評議員會ヲ置ク

總會ハ總組合員ヲ以テ組織シ評議員會ハ評議員ヲ以テ組織ス

第二十八條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルモノトス但シ第三號ニ掲グル事項ニシテ全國生絲問屋業組合聯合會又ハ日本中央蠶絲會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 生絲ノ取引數量及取引價格ノ統制ニ關スル施設
- 四 取引方法ノ改善及統一
- 五 事業報告及收支決算
- 六 借入金
- 七 基本財産ノ造成、管理及處分
- 八 定款ノ變更
- 九 役員ノ選任及解任
- 十 全國生絲問屋業組合聯合會又ハ日本中央蠶絲會ノ議

員及豫備議員ノ選任及解任

十一 事業執行ニ關スル規程

十二 前各號ニ掲グルモノノ外組合長ノ必要ト認メタル事項

第二十九條 總會及評議員會ハ組合長之ヲ招集ス

第三十條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年一月之ヲ開キ臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

一 組合長必要ト認ムルトキ

二 組合員總組合員ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

三 評議員ガ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査シ之ヲ總會ニ報告スル爲總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第三十一條 會議ヲ招集セントスルトキハ總會ニ在リテハ少クトモ五日前ニ、評議員會ニ在リテハ少クトモ二日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ會議ヲ組織スル者ニ通知スベシ

第三十二條 總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ緊急且ツ輕微ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

ルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十五條 第二十八條第三號、第四號、第八號及第九號ニ掲グル事項ハ總會ニ於テ組合員ノ半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第三十六條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ組合長ハ書面ヲ以テ組合員ノ意見ヲ徵シ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ組合長ハ二日ヲ下ラザル回答期限ヲ定ムベシ

第三十七條 組合員ハ總會ニ於テ他ノ組合員ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス

前項ノ委任ヲ受ケタル者ハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スルコトヲ要ス

第三十八條 總會ノ議事ニ關スル規程ハ本定款ニ規定アルモノヲ除クノ外總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第三十九條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名又ハ記名捺印スルモノトス

一 開會ノ日時及場所

二 組合員數

神戸生絲問屋業組合定款

第三十二條ノ二 評議員會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

一 組合長必要ト認ムルトキ

二 評議員三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ評議員會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第三十二條ノ三 左ニ掲グル事項ハ評議員會ノ議決ヲ經ルモノトス

一 總會ニ提出スベキ議案ニ關スル事項

二 臨時總會ノ招集ニ關スル事項

三 蠶絲業組合法施行令第一條ノ規定ニ依リ異議ノ申立ニ對スル決定ニ關スル事項

四 其ノ他組合長ニ於テ必要ト認メタル事項

第三十三條 總會ノ議長ハ組合長、組合長事故アルトキハ副組合長ヲ以テ之ニ充ツ組合長及副組合長共ニ事故アルトキ、蠶絲業組合法第五十六條ノ規定ニ依リ準用スル同法第三十四條第三項若ハ第四項ノ場合又ハ本定款第三十條第二項第三號ノ請求ニ依リ總會ヲ招集シタル場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

第三十四條 總會ノ議事ハ法令及本定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可ク否同數ヲ

三 出席者數

四 議事ノ要領

五 議決シタル事項及賛否ノ數

第四章 部 會

第四十條 本組合ハ業務執行上ノ便ヲ圖ル爲左ノ部會ヲ置ク

第一部會 輸田向生絲問屋業者

第二部會 内地向生絲問屋業者

第四十一條 部會ハ其ノ部ニ屬スル諸般ノ事務ヲ處理シ且其ノ部業務ノ發展ニ必要ナル申合規約ヲ設クル事ヲ得但シ本定款並ニ諸規程及會議ノ決議ニ反スルコトヲ得ズ

第五章 會 計

第四十二條 本組合ノ經費ハ組合員ノ負擔トシ左ノ種別ニ依リ賦課スルモノトス

一 平等割

二 生絲出入荷割

第四十三條 本組合ハ左ニ掲グル事項ニ付使用料若ハ手数料ヲ徵收シ又ハ實費ノ辨濟ヲ受クルモノトス

一 組合ニ於テ發行スル刊行物

二 組合ニ於テ行フ諸施設

前項ノ使用料、手数料及實費ノ辨濟ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

七九五

第四十四條 經費、使用料、手数料又ハ實費辨濟金ヲ滯納スル者アルトキハ組合長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

第四十五條 本組合ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受クルコトヲ得

第四十六條 本組合ハ基本財産ヲ設ケ支途ヲ特定セザル寄附ヲ受ケタル時ハ之ヲ基本財産ニ編入ス

第四十七條 本組合ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一 財産臺帳

二 經費徵收原簿

三 出納簿

四 其ノ他事業執行上必要ト認メタル帳簿

第四十八條 毎會計年度ニ於テ生ズル剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス但シ其ノ全部又ハ一部ヲ總會ノ決議ヲ經テ基本財産ニ繰入ルコトヲ得

第四十九條 本組合ノ出納閉期ハ五月三十一日トス

第六章 過怠金

第五十條 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ壹千圓以下ノ過怠金ヲ課ス
一 正當ノ事由ナクシテ第十條ノ規定ニ依ル臨檢又ハ檢

査ヲ拒ミタルトキ

二 本組合ノ行ノ統制施設ニ違背シタルトキ

三 本組合ノ事業ノ執行ヲ妨ゲタルトキ

組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ貳百圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一 第十二條ノ規定ニ依ル調査又ハ報告ヲ爲サザルトキ

二 第四十四條ノ督促ヲ受ケ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セザルトキ

前各號ニ掲グルモノノ外必要ニ應ジ總會ノ決議ニヨリ金壹千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第五十一條 過怠金徵收ノ通知書ニハ其ノ事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第七章 解散

第五十二條 本組合ノ解散ハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第五十三條 本組合解散シタルトキハ組合長及副組合長ヲ以テ清算人トス

第五十四條 清算人ハ就任後遲滞ナク財産目錄ヲ作成シ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第五十五條 清算終了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ總會ニ提出シ其ノ旨報告スベシ

様式第一號

第 號	神戶生絲問屋 業 組 合
臨檢検査證票	組合印
組合長(検査員)	氏 名

縦65糎 横55糎

一 蠶絲業組合法第八條 蠶絲業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ役員又ハ検査員ヲシテ組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ検査セシムル事ヲ得

二 前項ノ場合ニ於テハ當該役員又ハ検査員ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帯スベシ

三 定款第十條 本組合ノ行ノ統制施設ニ關シ必要アル場合ニ於テハ役員又ハ検査員ハ組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ検査スルコトヲ得(以下略)

四 定款第五十條 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ千圓以下ノ過怠金ヲ課ス(以下略)

五 正當ノ事由ナクシテ第十條ノ規定ニ依ル臨檢又ハ検査ヲ拒ミタルトキ(以下略)

横濱生絲輸出業組合定款

第一章 總 則

第一條 本組合ハ生絲ノ取引並ニ輸出ノ改良發達及統制ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一 生絲ノ取引並ニ輸出方法ノ改善及統一ニ關スル施設

二 生絲ノ取引並ニ輸出ニ關スル研究及調査

三 生絲取引ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁

横濱生絲輸出業組合定款

四 生絲ニ關スル一般法令ヲ調査研究シ其改廢並ニ制定ニ關スル建議又ハ請願ヲ爲シ行政廳及公共團體ノ諮問ニ對シ意見ヲ答申スルコト

五 前各號ニ掲グルモノノ外生絲ノ取引並ニ輸出ノ改良發達及統制ニ關スル施設

第三條 本組合ハ横濱生絲輸出業組合ト稱ス

第四條 本組合ノ地區ハ横濱市一圓トス

第五條 本組合ノ事務所ハ横濱市ニ置ク

第六條 本組合ノ公告ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

一 本組合ノ揭示場ニ揭示スルコト
第七條 本組合ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第八條 本組合ハ事務所ニ組合員名簿ヲ備ヘ置クモノトス
組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス

- 一 組合員ノ氏名又ハ名稱並ニ住所又ハ事務所及營業所
- 二 經費賦課ノ基礎ト爲ルベキ事項

組合員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滞ナク之ヲ訂正スベシ

第九條 日本中央蠶絲會ニ於テ生絲取引ニ關スル統制施設ヲ議決シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ本組合ハ其ノ統制施設ヲ行フモノトス

第十條 本組合ノ行フ統制施設ニ關シ必要アル場合ニ於テハ役員又ハ検査員ハ組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ検査スルコトヲ得

前項ノ検査員ハ第二十三條ノ職員中ヨリ組合長之ヲ命ズ但シ特別ノ事由アルトキハ其ノ他ノ者ヲ検査員ト爲スコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ當該役員又ハ検査員臨檢又ハ検査ヲ爲サントスルトキハ様式第一號ニ依リ證票ヲ携帯スルモノトス

任スルモノトス

第十九條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四ヶ年トス但シ補闕ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス

役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條 組合長ハ本組合ヲ代表シ組合ノ事務ヲ總理ス副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

評議員ハ組合長ノ諮問ニ應ジ並ニ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

組合長ハ左ニ掲ケル事項ニ付テハ評議員ニ諮問スルコトヲ要ス

- 一 總會ニ提出スベキ議案ニ關スル事項
- 二 臨時總會ノ招集ニ關スル事項
- 三 蠶絲業組合法施行令第一條ノ規定ニ依リ異議ノ申立ニ對スル決定ニ關スル事項

第二十一條 組合長ハ總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ組合長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ

横濱生絲輸出業組合定款

第十一條 本組合ノ行フ調停又ハ仲裁ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 本組合ハ組合員ニ對シ生絲取引ニ關スル事項ノ調査又ハ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條 組合員タル資格ヲ取得シ又ハ喪失シタルトキハ遲滞ナク本組合ニ其ノ旨届出ヅベシ第八條第二項各號ニ掲ケル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

第十四條 本組合ニ在ノ役員ヲ置ク

- 組合長 一人
- 副組合長 二人
- 評議員 五人

第十五條 役員ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第十六條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ズ第十七條 本組合ハ正當ノ事由アルトキハ役員ヲ解任スルコトヲ得役員ヲ解任シタルトキ同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十八條 役員ニ闕員ヲ生ジタルトキハ次ノ總會ヲ待ツコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補闕ノ役員ヲ選

求ムルコトヲ要ス

第二十二條 役員ハ名譽職トス
役員ニハ總會ノ議決ヲ經テ報酬、手當又ハ賞與ヲ給スルコトヲ得

本組合ハ總會ノ決議ニ依リ顧問若干名ヲ置クコトヲ得顧問ハ組合長ノ諮問ニ應ジ總會ニ出席シテ意見ヲ開陳スルコトヲ得

第二十三條 本組合ニ左ノ職員ヲ置キ組合長之ヲ任免ス
主 事 一人
書 記 若干人

主事ハ組合長ノ命ヲ承ケ事務ヲ管掌ス書記ハ組合長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第二十四條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給ヲ支給ス
第二十五條 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ハ總會ニ於テ本組合ノ役員又ハ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

第二十六條 本組合ハ正當ノ事由アルトキハ前條ノ議員及豫備議員ヲ解任スルコトヲ得

第二十七條 本組合ニ總會ヲ置ク
總會ハ總組合員ヲ以テ之ヲ組織ス
第二十八條 左ニ掲ケル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルモノトス

七九九

但シ第三號ニ掲グル事項ニシテ日本中央蠶絲會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 收支豫算
 - 二 經費ノ分賦收入方法
 - 三 生絲ノ取引數量及取引價格ノ統制ニ關スル施設
 - 四 取引並ニ輸出方法ノ改善及統一
 - 五 事業報告及收支決算
 - 六 借入金
 - 七 基本財産ノ造成、管理及處分
 - 八 定款ノ變更
 - 九 役員ノ選任及解任
 - 十 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ノ選任及解任
 - 十一 事業執行ニ關スル規程
 - 十二 生絲ノ取引並ニ輸出ニ關スル海外トノ交渉
 - 第二十九條 總會ハ組合長之ヲ招集ス
 - 第三十條 總會ハ通常總會及臨時總會トス
- 通常總會ハ毎年一月ヨリ二月ノ間ニ之ヲ開キ臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク
- 一 組合長必要ト認ムルトキ
 - 二 組合員總組合員ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ

總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

- 三 評議員ガ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査シ之ヲ總會ニ報告スル爲總會ノ招集ヲ請求シタルトキ
- 前項第二號ノ場合ニ於テ組合長正當ノ事由ナクシテ二週間以内ニ總會ヲ招集セザルトキハ請求者ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得
- 第三十一條 總會ヲ招集セントスルトキハ少ナクとも三日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ組合員ニ通知スベシ
- 第三十二條 總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ決議ヲ爲スコトヲ得但シ緊急且輕微ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第三十三條 總會ノ議長ハ組合長、組合長事故アルトキハ副組合長ヲ以テ之ニ充ツ組合長及副組合長共ニ事故アルトキ、蠶絲業組合法第五十六條ノ規定ニ依リ準用スル同法第三十四條第三項若ハ第四項ノ場合又ハ本定款第三十條第二項第三號ノ請求ニ依リ總會ヲ招集シタル場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム
- 第三十四條 總會ノ議事ハ法令及本定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十五條 第二十八條第三號、第四號、第八號及第九號

ニ掲グル事項ハ總會ニ於テ組合員ノ半数以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第三十六條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ組合長ハ書面ヲ以テ組合員ノ意見ヲ徵シ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ組合長ハ三日ヲ下ラザル回答期限ヲ定ムベシ

第三十七條 組合員ハ總會ニ於テ他ノ組合員ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス

前項ノ委任ヲ受ケタル者ハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スルコトヲ要ス

第三十八條 總會ノ議事ニ關スル規程ハ本定款ニ規定アルモノヲ除クノ外總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第三十九條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名又ハ記名捺印スルモノトス

- 一 開會ノ日時及場所
- 二 組合員數
- 三 出席者數

横濱生絲輸出業組合定款

四 議事ノ要領

第四章 會計

第四十條 本組合ノ經費ハ組合員ノ負擔トシ左ノ種別ニ依リ賦課スルモノトス

- 一 平等割
- 二 生絲輸出數量割

第四十一條 經費ヲ滯納スル者アルトキハ組合長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

第四十二條 本組合ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受ケルコトヲ得

第四十三條 本組合ハ基本財産ヲ設ケ支途ヲ特定セザル寄附ヲ受ケタルトキハ之ヲ基本財産ニ編入ス

第四十四條 本組合ニ左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 財産臺帳
- 二 經費徵收原簿
- 三 出納簿

第四十五條 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス

第四十六條 本組合ノ出納閉鎖期ハ五月三十一日トス

蠶絲業組合法ニ依ル團體

第四十七條 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ千圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一 正當ノ事由ナクシテ第十條ノ規定ニ依ル臨檢又ハ檢査ヲ拒ミタルトキ

二 本組合ノ行フ統制施設ニ違背シタルトキ

三 本組合ノ事業ノ執行ヲ妨グタルトキ

組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五十圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一 第十二條ノ規定ニ依ル調査又ハ報告ヲ爲サザルトキ

二 第四十一條ノ督促ヲ受ケ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セザルトキ

様式第一號

第 號

横濱生絲 臨檢検査證票

輸出業組合

組合印

組合長(副組合長、評議員、検査員) 氏 名

一 蠶絲業組合法第八條 蠶絲業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ役員又ハ検査員ヲシテ組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

二 前項ノ場合ニ於テハ當該役員又ハ検査員ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帶スベシ

三 定款第十條 本組合ノ行フ統制施設ニ關シ必要アル場合ニ於テハ役員又ハ検査員ハ組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ檢査スルコトヲ得(以下略)

ハ千圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一 正當ノ事由ナクシテ第十條ノ規定ニ依ル臨檢又ハ檢査ヲ拒ミタルトキ(以下略)

神戸生絲輸出業組合定款

第一章 總 則

第一條 本組合ハ生絲ノ取引並ニ輸出ノ改良發達及統制ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一 生絲ノ取引並ニ輸出方法ノ改善及統一ニ關スル施設

二 生絲ノ取引並ニ輸出ニ關スル研究及調査

三 生絲取引ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁

四 生絲ニ關スル一般法令ヲ調査研究シ其ノ改廢並ニ制定ニ關スル建議又ハ請願ヲ爲シ行政廳及公共團體ノ諮問ニ對シ意見ヲ答申スルコト

五 前各號ニ掲グルモノノ外生絲ノ取引並ニ輸出ノ改良發達及統制ニ關スル施設

第三條 本組合ハ神戸生絲輸出業組合ト稱ス

第四條 本組合ノ地區ハ神戸市及大阪市一圓トス

第五條 本組合ノ事務所ハ神戸市ニ置ク

第六條 本組合ノ公告ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

一 本組合ノ揭示場ニ揭示スルコト

第七條 本組合ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

神戸生絲輸出業組合定款

第四十八條 過怠金徵收ノ通知書ニハ其ノ事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第六章 解 散

第四十九條 本組合ノ解散ハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第五十條 本組合解散シタルトキハ組合長及副組合長ヲ以テ清算人トス

第五十一條 清算人ハ就任後遲滞ナク財産目錄ヲ作成シ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第五十二條 清算結了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ總會ニ提出シ其ノ旨報告スベシ

第八條 本組合ハ事務所ニ組合員名簿ヲ備ヘ置クモノトス

組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス

一 組合員ノ氏名又ハ名稱並ニ住所又ハ事務所及營業所

二 經費賦課ノ基礎ト爲ルベキ事項

組合員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滞ナク之ヲ訂正スベシ

第九條 日本中央蠶絲會ニ於テ生絲取引ニ關スル統制施設ヲ議決シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ本組合ハ其ノ統制施設ヲ行フモノトス

第十條 本組合ノ行フ統制施設ニ關シ必要アル場合ニ於テハ役員又ハ検査員ハ組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ檢査スルコトヲ得

前項ノ検査員ハ第二十三條ノ職員中ヨリ組合長之ヲ命ズ但シ特別ノ事由アルトキハ其ノ他ノ者ヲ検査員ト爲スコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ當該役員又ハ検査員臨檢又ハ檢査ヲ爲サントスルトキハ様式第一號ニ依ル證票ヲ携帶スルモノトス

第十一條 本組合ノ行フ調停又ハ仲裁ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 本組合ハ組合員ニ對シ生絲取引ニ關スル事項ノ

調査又ハ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條 組合員タル資格ヲ取得シ又ハ喪失シタルトキハ遲滞ナク本組合ニ其ノ旨届出ヅベシ第八條第二項各號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

第二章 役員、議員、顧問及職員

第十四條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

- 組合長 一名
- 副組合長 一名
- 評議員 五名

第十五條 役員ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第十六條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ズ第十七條 本組合ハ正當ノ事由アルトキハ役員ヲ解任スルコトヲ得

役員ヲ解任シタルトキハ同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス第十八條 役員ニ闕員ヲ生ジタルトキハ次ノ總會ヲ待ツコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十九條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四箇年トス但シ補

役員ニハ總會ノ議決ヲ經テ報酬、手當又ハ賞與ヲ給スルコトヲ得

本組合ハ總會ノ決議ニ依リ顧問若干名ヲ置クコトヲ得顧問ハ組合長ノ諮問ニ應ジ總會ニ出席シテ意見ヲ開陳スルコトヲ得

第二十三條 本組合ニ左ノ職員ヲ置キ組合長之ヲ任免ス

主 事 一人
書記 若干名
主事ハ組合長ノ命ヲ承ケ事務ヲ管掌ス書記ハ組合長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第二十四條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給ヲ支給ス第二十五條 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ハ總會ニ於テ本組合ノ役員又ハ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

第二十六條 本組合ハ正當ノ事由アルトキハ前條ノ議員及豫備議員ヲ解任スルコトヲ得

第三章 會 議
第二十七條 本組合ニ總會ヲ置ク
總會ハ總組合員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十八條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルモノトス但シ第三號ニ掲グル事項ニシテ日本中央蠶絲會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

關ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス
役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條 組合長ハ本組合ヲ代表シ組合ノ事務ヲ總理ス副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

評議員ハ組合長ノ諮問ニ應ジ並ニ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス
組合長ハ左ニ掲グル事項ニ付テハ評議員ニ諮問スルコトヲ要ス

一 總會ニ提出スベキ議案ニ關スル事項
二 臨時總會ノ招集ニ關スル事項
三 蠶絲業組合法施行令第一條ノ規定ニ依リ異議ノ申立ニ對スル決定ニ關スル事項

第二十一條 組合長ハ總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ組合長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二十二條 役員ハ名譽職トス

一 收支豫算
二 經費ノ分賦收入方法
三 生絲取引數量及取引價格ノ統制ニ關スル施設

四 取引並ニ輸出方法ノ改善及統一
五 事業報告及收支決算
六 借入金
七 基本財産ノ造成、管理及處分

八 定款ノ變更
九 役員ノ選任及解任
十 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ノ選任及解任

十一 事業執行ニ關スル規程
十二 生絲ノ取引並ニ輸出ニ關スル海外トノ交渉

第二十九條 總會ハ組合長之ヲ招集ス
第三十條 總會ハ通常總會及臨時總會トス
通常總會ハ毎年一月ヨリ二月ノ間ニ之ヲ開キ臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

一 組合長必要ト認ムルトキ
二 組合員總組合員ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

三 評議員ガ業務執行及財政ノ狀況ヲ監査シ之ヲ總會ニ

報告スル爲總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

前項第二號ノ場合ニ於テ組合長正當ノ事由ナクシテ二週間以内ニ總會ヲ招集セザルトキハ請求者ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケテ之ヲ招集スルコトヲ得

第三十一條 總會ヲ招集セントスルトキハ少クとも三日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ組合員ニ通知スベシ

第三十二條 總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ緊急且輕微ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條 總會ノ議長ハ組合長、組合長事故アルトキハ副組合長ヲ以テ之ニ充ツ組合長及副組合長共ニ事故アルトキ、蠶絲業組合法第五十六條ノ規定ニ依リ準用スル同

法第三十四條第三項若ハ第四項ノ場合又ハ本定款第三十條第二項第三號ノ請求ニ依リ總會ヲ招集シタル場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

第三十四條 總會ノ議事ハ法令及本定款ニ別段ノ定メアル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十五條 第二十八條第三號、第四號、第八號及第九號ニ掲グル事項ハ總會ニ於テ組合員ノ半數以上出席シ出席

第四章 會 計

第四十條 本組合ノ經費ハ組合員ノ負擔トシ左ノ種別ニ依リ賦課スルモノトス

一 平等割

二 生絲輸出數量割

第四十一條 經費ヲ滯納スル者アルトキハ組合長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

第四十二條 本組合ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受クルコトヲ得

第四十三條 本組合ハ基本財産ヲ設ク

支途ヲ特定セザル寄附ヲ受ケタルトキハ之ヲ基本財産ニ編入ス

第四十四條 本組合ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一 財産臺帳

二 經費徵收原簿

三 出納簿

第四十五條 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス

第四十六條 本組合ノ出納閉鎖期ハ五月三十一日トス

第五章 過 意 金

第四十七條 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ千圓以下ノ過意金ヲ課ス

神戸生絲輸出業組合定款

者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第三十六條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ組合長ハ書面ヲ以テ組合員ノ意見ヲ徵シ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ組合長ハ七日ヲ下ラザル回答期限ヲ定ムベシ

第三十七條 組合員ハ總會ニ於テ他ノ組合員ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス

前項ノ委任ヲ受ケタル者ハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スルコトヲ要ス

第三十八條 總會ノ議事ニ關スル規程ハ本定款ニ規定アルモノヲ除クノ外總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第三十九條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名又ハ記名捺印スルモノトス

- 一 開會ノ日時及場所
- 二 組合員數
- 三 出席者數
- 四 議事ノ要領
- 五 議決シタル事項及賛否ノ數

一 正當ノ事由ナクシテ第十條ノ規定ニ依リ臨檢又ハ檢

査ヲ拒ミタルトキ

二 本組合ノ行フ統制施設ニ違背シタルトキ

三 本組合ノ事業ノ執行ヲ妨ゲタルトキ

組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五十圓以下ノ過意金ヲ課ス

一 第十二條ノ規定ニ依リ調査又ハ報告ヲ爲サザルトキ

二 第四十一條ノ督促ヲ受ケ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セザルトキ

第四十八條 過意金徵集ノ通知書ニハ其ノ事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第六節 解 散

第四十九條 本組合ノ解散ハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第五十條 本組合解散シタルトキハ組合長及副組合長ヲ以テ清算人トス

第五十一條 清算人ハ就任後遲滞ナク財産目錄ヲ作成シ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第五十二條 清算決了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ總會ニ提出シテ其ノ旨報告スベシ

面 表

第 號	神戸生絲 輸出業組合	臨檢検査證票	組合印
組合長(検査員)	氏 名		

面 裏

一 蠶絲業組合法第八條 蠶絲業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ役員又ハ検査員ヲシテ組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ検査セシムルコトヲ得
二 前項ノ場合ニ於テハ當該役員又ハ検査員ハ其ノ身分ヲ證明スルべき證票ヲ携帶スベシ
三 組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ検査スルコトヲ得(以下略)
四 該定款第四十七條ノ組合員左ノ各號ノ一ニ當ル正當ノ事由ナクシテ第十條ノ規定ニ依リ臨檢又ハ検査ヲ拒ミタルトキ(以下略)

日本中央蠶絲會會則

第一章 總 則

- 第一條 本會ハ蠶絲業組合聯合會及蠶絲業組合ノ聯絡並ニ蠶絲業ノ改良發達及統制ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
- 一 蠶絲業組合聯合會及蠶絲業組合ノ聯絡及統制ニ關スル施設
 - 二 蠶絲業ニ關スル研究及調査

- 三 蠶絲類ノ販路擴張ニ關スル施設
 - 四 蠶絲業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
 - 五 前各號ニ掲グルモノノ外蠶絲業ノ改良發達及統制ヲ圖ルニ必要ナル施設
- 第三條 本會ハ日本中央蠶絲會ト稱ス
- 第四條 本會ノ地區ハ全國ノ區域ニ依ル
- 第五條 本會ノ事務所ハ東京市ニ置ク
- 第六條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第七條 本會ニ於テ左ニ掲グル蠶絲業ノ統制ニ關スル施設ヲ決議シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ會員ハ其ノ決議ニ從ヒ統制ニ關スル施設ヲ實行シ且自己ノ會員又ハ組合員ヲシテ其ノ決議ニ從ヒ統制ニ關スル施設ヲ實行セシムルコトヲ要ス

ベシ

- 一 生産ノ調節ニ關スル施設
 - 二 取引數量及取引價格ノ統制ニ關スル施設
- 第八條 本會ノ會員左ニ掲グル蠶絲業ノ統制ニ關スル施設ヲ行ハントスルトキハ本會ノ承認ヲ受ケルコトヲ要ス但シ本會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 生産ノ調節ニ關スル施設
 - 二 取引數量及取引價格ノ統制ニ關スル施設
- 本會ノ會員前項ニ規定スル施設ニ付本會ノ承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ施設ヲ行ハントスル事由及施設ノ概要ヲ具シ承認申請書ヲ本會ニ提出スベシ
- 前項ノ承認申請書ニハ總會ノ議事録ノ謄本ヲ添附スベシ
- 第九條 本會ノ行フ調停又ハ仲裁ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十條 本會ハ會員ニ對シ蠶絲業ニ關スル事項ノ調査又ハ報告ヲ求ムルコトヲ得
- 第十一條 會員ハ左ニ掲グル事項ヲ遲滞ナク本會ニ報告ス

- 一 會則又ハ定款ノ變更
 - 二 事務所ノ移轉
 - 三 役員ノ選任、解任及退任
 - 四 本會ノ議員及豫備議員ノ選任、解任及退任
 - 五 收支豫算及經費ノ分賦收入方法
 - 六 事業報告及收支決算
- 第二章 役員、職員及其ノ他
- 第十二條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 會 長 一人
- 副會長 一人
- 評議員 十四人
- 第十三條 役員ハ總會ニ於テ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルトコトヲ得
- 第十四條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ズ
- 第十五條 本會ハ正當ノ事由アルトキハ役員ヲ解任スルトコトヲ得役員ヲ解任シタルトキハ同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス
- 第十六條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四箇年トス但シ補闕ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役

員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス
役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第十七條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス
會長ハ副會長ヲシテ庶務ニ關スル事項及金錢ノ收支ニ關スル事項ヲ分掌セシムルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ並ニ會務ノ執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

第十八條 會長ハ總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムベシ

第十九條 役員ハ名譽職トス
役員ニハ總會ノ議決ヲ經テ報酬、手當又ハ賞與ヲ給スルコトヲ得

第二十條 本會ニ左ノ職員ヲ置キ會長之ヲ任免ス但シ主事、參事及技師ノ任免ハ評議員會ニ之ヲ諮問スルモノトス

主事 一人

全國養蠶業組合聯合會 五人

全國蠶種業組合聯合會 五人

全國産業組合製絲組合聯合會 五人

全國製絲業組合聯合會 五人

生絲問屋業組合 五人

生絲輸出業組合 五人

（横濱生絲問屋業組合 三人）
（神戸生絲問屋業組合 三人）

（横濱生絲輸出業組合 三人）
（神戸生絲輸出業組合 三人）

第二十六條 會員ハ議員事故アル場合之ニ代ハルベキ豫備議員ヲ選任スベシ

前條第二項ノ規定ハ豫備議員ニ之ヲ準用ス

第二十七條 第十六條及第十九條第一項ノ規定ハ議員及豫備議員ニ之ヲ準用ス

第二十八條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルモノトス

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 第七條ニ掲グル蠶絲業ノ統制ニ關スル施設
- 四 事業報告及收支決算
- 五 借入金
- 六 基本財産ノ造成、管理及處分

參事 若干人
技師 若干人
書記 若干人
書記 若干人
技手 若干人

主事ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ管承ス
參事、技師及書記、技手ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ分擔ス

第二十一條 職員ニハ別ニ定ムル規程ニ依リ俸給、旅費、退職給與金及死亡給與金ヲ支給ス

第二十二條 本會ニ顧問ヲ置クコトヲ得
顧問ハ評議員會ニ諮問シ會長之ヲ囑託ス

顧問ハ會長ノ諮問ニ應ジ且總會又ハ評議員會ニ出席シ意見ヲ開陳スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

第二十三條 蠶絲業ニ關スル調査又ハ研究ヲ爲ス爲必要アルトキハ本會ニ委員及囑託員ヲ置クコトヲ得
委員及囑託員ハ會長之ヲ囑託ス

第三章 會議

第二十四條 會議ハ總會及評議員會ノ二種トス
總會ハ會長、副會長、議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織シ評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十五條 議員ハ各會員ニ於テ之ヲ選任スルモノトス
議員ノ定數ハ三十人トシ左ノ如ク各會員ニ之ヲ配當ス

七 會則ノ變更

八 役員ノ選任及解任

九 第八條ノ承認

十 第九條、第二十一條及第四十三條ノ規程

十一 其ノ他重要ナル事項

第二十九條 總會ハ通常總會及臨時總會トス
通常總會ハ毎年一回十一月ヨリ翌年一月ノ間ニ於テ之ヲ開キ臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

一 會長必要ト認ムルトキ

二 總會ヲ組織スル者其ノ總數ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

三 評議員會務ノ執行及財産ノ狀況監査ノ結果之ヲ總會ニ報告スル必要アルニ因リ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

四 前項第二號又ハ第三號ノ規定ニ依リ總會招集ノ請求アリタルトキハ會長ハ二週間以内ニ總會ヲ招集スベシ

第三十條 評議員會ハ左ニ掲グル事項ヲ議決スルモノトス

- 一 會長ヨリ諮問アリタル事項
- 二 本會則、本會則ニ基ク規程又ハ總會ノ委任ニ依リ評議員會ノ權限ニ屬セシメタル事項

第三十一條 左ニ掲グル事項ハ評議員會ニ之ヲ諮問スルモノトス

ノトス

- 一 總會ニ提出スベキ議案
- 二 臨時總會ノ招集
- 三 寄附ノ受諾又ハ拒否
- 四 豫算ノ同一款内ニ於ケル各項間ノ經費ノ流用
- 五 其ノ他會長必要ト認ムル事項

第三十二條 會議ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外會長ヲ招集ス

第三十三條 會議ヲ招集セントスルトキハ總會ニ在リテハ少クトモ三週間前ニ、評議員會ニ在リテハ少クトモ一週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ會議ヲ組織スル者ニ通知スルモノトス

前項ノ期間ハ臨時緊急ヲ要スル場合ニ於テハ總會ニ在リテハ二週間迄、評議員會ニ在リテハ三日迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第三十四條 會議ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル事項ニ付テノ議決ヲナスコトヲ得但シ緊急且輕微ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十五條 會議ノ議長ハ會長ヲ以テ、會長事故アルトキハ副會長ヲ以テ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ、蠶絲業組合法第七十九條ノ規定ニ依リ準用スル同法

第三十四條第三項若ハ第四項ノ場合又ハ本會則第二十九條第二項第三號ノ規定ニ依ル總會招集ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第三十六條 會議ノ議事ハ法令又ハ本會則ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十七條 第二十八條第三號、第七號、第八號及第九號ニ掲ケル事項ハ總會ニ於テ總會ヲ組織スル者ノ半数以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第三十八條 會議ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ會長ハ書面ヲ以テ會議ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ會議ノ議決ニ代フルコトヲ得

第三十九條 會議ノ議事ニ關スル規程ハ本會則ニ規定アルモノヲ除クノ外總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第四十條 本會ノ經費ハ會員ノ負擔トシ經費ノ分賦收入方法ノ定ムル所ニ依リ之ヲ會員ニ賦課スルモノトス

第四十一條 經費ヲ滯納スル者アルトキハ會長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

第四十二條 本會ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受クルコトヲ得

モノトス

第六章 解散

第四十九條 本會ノ解散ハ會員總數ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第五十條 本會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ清算人トス

第五十一條 清算人ハ就任後遲滞ナク財産目錄ヲ作成シ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第五十二條 清算終了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ作成シ會員ニ之ヲ報告スベシ

第四十三條 本會ニ基本財産ヲ設ク

基本財産ノ造成及管理ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十四條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 財産臺帳
- 二 經費徵收原簿
- 三 出納簿
- 四 其ノ他必要ナル帳簿

第四十五條 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス但シ總會ノ決議ニ依リ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ繰入ルルコトヲ得

第四十六條 本會ノ出納閉鎖期ハ五月三十一日トス

第五章 過怠金

第四十七條 會員第七條又ハ第八條第一項ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ過怠金ヲ課ス

會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ貳百圓以下ノ過怠金ヲ課ス

- 一 故ナクシテ第十條ノ規定ニ依ル調査又ハ報告ヲ怠リタルトキ
- 二 第四十一條ノ督促ヲ受ケ指定ノ期限迄ニ經費ヲ完納セザルトキ

第四十八條 過怠金徵收ノ通知書ニハ其ノ事由ヲ記載スル

二 絲價安定施設法ニ依ル團體

絲價安定施設組合定款

第一章 總 則

- 第一條 本組合ハ絲價安定施設法ニ依リ設立シ絲價安定施設組合ト稱ス
- 第二條 本組合ハ絲價ノ安定ヲ圖リ蠶絲業ノ改善發達ヲ期スルコトヲ目的トス
- 第三條 本組合ハ絲價安定施設法第三條ノ規定ニ依ル製絲業者及第九條ノ規定ニ依リ加入シタル者ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第四條 本組合ノ地區ハ全國ノ區域ニ依ル
- 第五條 本組合ハ主タル事務所ヲ東京市ニ、從タル事務所ヲ横濱市及神戸市ニ置ク
- 第六條 本組合ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス
- 第七條 本組合ノ公告ハ官報ニ掲載シテ之ヲ爲ス
- 第八條 本組合ハ組合員名簿ヲ調製シ之ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クモノトス
- 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス
- 一 組合員ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所
 - 二 經費賦課ノ基礎ト爲ルベキ事項

絲價安定施設組合定款

組合員名簿ノ記載事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ理事長ハ遲滞ナク之ヲ訂正スベシ

第九條 輸出生絲取引法第一條ノ輸出生絲問屋及生絲輸出業者並ニ絲價安定施設法施行地域外ニ於ケル製絲業者ハ理事會ノ承認ヲ經テ本組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得

第十條 前條ノ規定ニ依リ本組合ノ組合員ト爲リタル者ハ理事會ノ承認ヲ經テ本組合ヲ脫退スルコトヲ得

第二章 組合員ノ權利義務

- 第十一條 組合員ハ本組合ニ對シ左ノ權利ヲ有ス
- 一 定款ノ定ムル所ニ從ヒ總代ヲ選舉シ又ハ總代ニ選舉セラルルコト
 - 二 組合ノ設備ヲ利用スルコト
 - 三 組合ノ業務及財産ノ狀況ニ付説明ヲ求メ又ハ組合ノ書類及帳簿ノ閲覧ヲ請求スルコト
- 第十二條 組合員ハ本組合ニ對シテ左ノ義務ヲ負フ
- 一 定款及決議ヲ遵守スルコト
 - 二 第八條第二項各號ニ掲グル事項ヲ届出ヅルコト
 - 三 前號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク之ヲ届出ヅルコト
 - 四 組合所定ノ報告ヲ爲ス外照會質問ニ對シ速ニ正確ナル回答ヲ爲スコト

絲價安定施設法ニ依ル團體

五 經費ノ分賦收支方法ノ定ムル所ニ從ヒ組合ノ經費ヲ負擔スルコト

第三章 事業及其ノ執行

第十三條 本組合ハ絲價安定施設法第十條ノ規定ニ依リ生絲ノ賣渡又ハ買入ヲ爲スモノトス

本組合ハ前項ノ事業ノ外左ノ事業ヲ行フコトヲ得

- 一 組合員ノ生絲ノ共同保管
- 二 組合員ノ事業ニ關スル統制
- 三 組合員ノ事業ノ改善ニ關スル施設
- 四 組合ノ行フ事業ニ要スル費用ニ充ツル爲ノ積立金ノ造成

五 絲價安定施設法施行令第十六條ノ規定ニ依ル所有生絲ノ買換及整理ノ爲ニスル賣渡

六 前各號ニ掲グルモノノ外組合ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル施設

第十四條 本組合生絲ノ共同保管ヲ行フ場合ニ於テハ製絲業者タル組合員ニ對シ其ノ生絲ノ製造數量、所有數量及先約定數量等ヲ參酌シテ保管スベキ生絲ノ數量ノ割當ヲ爲スモノトス

本組合ノ組合員ハ前項ノ規定ニ依リ割當テラレタル數量ノ生絲ヲ本組合ノ指定スル場所ニ寄託スルコトヲ要ス

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ總代タルコトヲ得

- 一 未成年者、禁治産者又ハ準禁治産者
- 二 破産者ニシテ復權ヲ得ザル者
- 三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 四 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケルコトナキニ至ル迄ノ者

第二十條 總代ハ左ノ區別ニ從ヒ各業種ニ屬スル組合員之ヲ選舉ス

- 一 絲價安定施設法第三條第一項ノ製絲業者 三十五人
- 二 絲價安定施設法第三條第二項ノ製絲業者 十人
- 三 輸出生絲取引法第一條ノ輸出生絲問屋 二人
- 四 生絲輸出業者 二人
- 五 絲價安定施設法施行地域外ニ於ケル製絲業者 一人

第二十一條 前條ノ總代ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

選舉區ノ區域及各選舉區ヨリ選出スベキ總代ノ定數ハ左ノ通り之ヲ定ム

區名	區	域	總代數
第一選舉區	岩手縣、宮城縣、秋田縣		一人
第二選舉區	山形縣		一人

絲價安定施設組合定款

前項ノ規定ニ違反シタル者ニハ一俵ニ付五拾圓ノ過怠金ヲ課スルモノトス

第十五條 本組合ハ絲價安定施設法第十五條第一項ノ規定ニ依リ組合員ノ生絲ノ共同保管ヲ行フベキコトヲ命ゼラ

レタルトキハ命令ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ總代會ヲ開キ組合員ニ對シ保管スベキ生絲ノ數量ノ割當ヲ爲スモノトス

第十六條 絲價安定施設法第十四條又ハ第十五條ノ規定ニ依リ共同保管シタル生絲ハ理事長ノ承諾アルニ非ザレバ之ヲ讓渡スルコトヲ得ズ

前項ノ規定ニ違反シタル者ハ一俵ニ付五拾圓ノ過怠金ヲ課スルモノトス

第十七條 本組合其ノ共同保管スル生絲ノ數量ノ一部ニ付保管ノ解除ヲ爲サントスルトキハ其ノ數量ヲ各組合員ノ保管生絲ノ數量ニ比例シテ配分スルモノトス但シ評議員會ノ同意ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 本定款ニ規定スルモノヲ除クノ外事業ノ執行ニ關スル規程ハ總代會ノ議決ヲ經テ別ニ之ヲ定ム前項ノ規定ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキ其ノ效力ヲ生ズルモノトス

第四章 總代

第三選舉區	福島縣	一人
第四選舉區	茨城縣、栃木縣	一人
第五選舉區	群馬縣	一人
第六選舉區	埼玉縣	一人
第七選舉區	千葉縣、東京府、神奈川縣	三人
第八選舉區	新潟縣	一人
第九選舉區	富山縣、石川縣、福井縣	一人
第十選舉區	山梨縣	二人
第十一選舉區	長野縣	四人
第十二選舉區	岐阜縣	一人
第十三選舉區	静岡縣	一人
第十四選舉區	愛知縣	二人
第十五選舉區	三重縣	一人
第十六選舉區	滋賀縣、京都府、大阪府、兵庫縣	二人
第十七選舉區	奈良縣、和歌山縣	一人
第十八選舉區	鳥取縣、島根縣	一人
第十九選舉區	岡山縣、廣島縣、山口縣	二人
第二十選舉區	德島縣、香川縣、高知縣	二人
第二十一選舉區	愛媛縣	一人
第二十二選舉區	福岡縣、佐賀縣	一人
第二十三選舉區	長崎縣、熊本縣	一人

- 第二十四選舉區 大分縣、宮崎縣、鹿兒島縣 二人
- 二、前條第二號ノ總代
 - 第一選舉區 岩手縣、宮城縣、山形縣、福島縣 一人
 - 第二選舉區 石川縣、新潟縣、福井縣、滋賀縣
 - 第三選舉區 三重縣、京都府、兵庫縣、奈良縣 一人
 - 第四選舉區 神奈川縣、山梨縣、靜岡縣、栃木縣、埼玉縣、千葉縣、東京府 一人
 - 第五選舉區 群馬縣 二人
 - 第六選舉區 長野縣 二人
 - 第七選舉區 岐阜縣、愛知縣 一人
 - 第八選舉區 島根縣、鳥取縣、岡山縣、廣島縣 一人
 - 第九選舉區 德島縣、香川縣、愛媛縣、高知縣、長崎縣、熊本縣 一人
 - 三、前條第三號ノ總代
 - 第一選舉區 橫濱市 一人
 - 第二選舉區 神戸市 一人
 - 四、前條第四號ノ總代
 - 第一選舉區 橫濱市 一人
 - 第二選舉區 神戸市 一人
 - 五、前條第五號ノ總代
 - 選舉區 朝鮮 一人

第二十二條 選舉ハ單記無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ
投票ハ一人一票ニ限ル

第二十三條 理事長ハ開票期日前四十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ第二十條ノ業種及第二十一條ノ選舉區ニ區分シテ選舉人名簿ヲ分册調製ス但シ事務所ニ以上有スル者ニ付テハ其ノ主タル事務所ニ依リ之ヲ調製ス

第二十四條 理事長ハ開票期日前三十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間毎日午前十時ヨリ午後四時迄本組合ノ事務所又ハ理事長ノ指定シタル場所ニ於テ選舉人名簿又ハ其ノ謄本ヲ關係者ノ縦覽ニ供スベシ

前項ノ日時及場所ハ之ヲ公告ス

第二十五條 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期間經過後五日目迄ニ之ヲ理事長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ理事長ハ直ニ其ノ決定ヲ爲スベシ

選舉人名簿ハ開票期日前十四日ヲ以テ確定ス

確定名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ二月以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用フ

第二十六條 理事長ハ開票期日前十日目迄ニ開票期日及各選舉區ニ於テ選舉スベキ總代數ヲ公告スベシ

總代ノ選舉ハ理事長之ヲ管理ス

理事長ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ五人ノ

開票立會人ヲ選任スベシ

第二十七條 理事長ハ開票期日前十二日目迄ニ各選舉人ニ對シ所定ノ投票用紙及投票用封筒ヲ發送スベシ

選舉人ハ前項ノ投票用紙ニ被選舉人一名ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シテ前項ノ投票用封筒ニ入レ封緘シ其ノ裏面ニ署名又ハ記名捺印シ開票期日ノ前日迄ニ之ヲ本組合ノ主タル事務所ニ送致スベシ

確定名簿ニ登錄セラレザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第二十五條第一項ノ規定ニ依リ選舉人名簿ニ登錄セラレベキ旨ノ決定ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十八條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ
- 二 投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シタルモノ
- 三 開票期日ノ前日迄ニ本組合ノ主タル事務所ニ到達セザルモノ
- 四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ
- 五 被選舉權無キ者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シタルモノ
- 六 被選舉人ノ氏名又ハ名稱ノ外他事ヲ記入シタルモノ

但シ爵位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

補關選舉及新ニ設ケタル總代ノ選舉ノ場合ニ在リテハ現ニ總代ノ職ニ在ル者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シタル投票ハ之ヲ無効トス

第二十九條 投票ノ效力ハ開票立會人之ヲ決定ス

第三十條 總代ノ選舉ハ各選舉區毎ニ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ理事長抽籤シテ當選者ヲ定ムベシ

第三十一條 理事長ハ選舉錄ヲ調製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ開票立會人二人以上ト共ニ之ニ署名スベシ

選舉錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ總代ノ任期間理事長ニ於テ之ヲ保存スベシ

第三十二條 當選者定マリタルトキハ理事長ハ直ニ當選ノ旨ヲ通知スベシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ理事長ニ届出ヅベシ

二以上ノ業種ニ於テ當選シタル者ハ前項ノ期間内ニ何レノ當選ニ應ズベキカヲ理事長ニ届出ヅベシ其ノ期間内ニ之ヲ届出デザルトキハ理事長ノ決スル所ニ依ル

當選ニ應ジ又ハ理事長ノ決シタル業種以外ノ業種ニ於ケ

ル當選ハ之ヲ辭シタルモノト看做ス

第三十三條 當選者當選ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ一年以内ニ左ニ掲グル事由ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ理事長ハ直ニ第三十條ノ例ニ依リ當選者ヲ定ムベシ

- 一 當選ヲ辭シタルトキ
- 二 總代ヲ辭シタルトキ
- 三 總代タルノ資格ヲ失モタルトキ
- 四 死亡シタルトキ

第三十四條 第三十二條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキハ理事長ハ直ニ當選者ノ住所及氏名又ハ名稱ヲ公告スベシ

第三十五條 組合員タル法人總代ニ當選シタルトキハ當選確定ノ日ヨリ七日以内ニ代表者ヲ定メ其ノ氏名及住所ヲ組合ニ届出ヅベシ 代表者變更ノ場合亦同シ

前項ノ代表者ハ其ノ法人ノ役員、業務ヲ執行スル社員又ハ登記シタル支配人中ヨリ之ヲ定ムベシ、第十九條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ届書ニハ履歷書ヲ添附スベシ

第三十六條 選舉人絲價安定施設法施行規則第五十三條ノ規定ニ依リ選舉又ハ當選ノ取消ヲ申立テントスルトキハ選舉ニ關シテハ開票ノ日ヨリ、當選ニ關シテハ第三十四條ノ公告ノ日ヨリ三十日以内ニ申立書ヲ理事長ニ差出ス

ベシ此ノ場合ニ於テハ理事長ハ意見ヲ附シ十四日以内ニ之ヲ農林大臣ニ進達スベシ

總代ハ選舉又ハ當選ノ取消アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第三十七條 總代選舉ノ取消アリタルトキハ三月以内ニ更ニ總代ノ選舉ヲ行フモノトス

總代當選ノ取消アリタルトキハ理事長ハ直ニ第三十條ノ例ニ依リ當選者ヲ定ムベシ

總代ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハザルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フモノトス

總代中關員ヲ生シ關員ガ總代定數ノ三分ノ一ニ至リタルトキ又ハ理事長若ハ總代會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補關選舉ヲ行フモノトス

第三十八條 總代ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ズ

第三十九條 總代ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四年トス但シ補關ノ總代ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル總代ノ任期ハ他ノ總代ノ殘任期間トス

第五章 役員及職員

第四十條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ケ

理事長 一人

副理事長 一人

理事 九人

評議員 十二人

第四十一條 役員ハ總代會ニ於テ組合員又ハ組合員タル法人ノ役員中ヨリ之ヲ選任ス但シ理事長及副理事長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨グズ

第四十二條 役員ノ選任ハ理事長、副理事長、理事及評議員各別ニ總代會ニ於テ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ決ス

第四十三條 第十九條及第三十八條ノ規定ハ役員ニ之ヲ準用ス

第四十四條 役員ノ解任ハ總代會ニ於テ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ決ス役員ヲ解任シタルトキハ同時ニ補關ノ役員ヲ選任スベシ

第四十五條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四年トス但シ補關ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス

役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第四十六條 理事長ハ本組合ヲ代表シ其ノ事務ヲ總理ス副理事長ハ理事長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺

絲價安定施設組合定款

員ノトキ其ノ職務ヲ行フ

副理事長及理事ハ理事長ヲ補佐シ本定款及理事長ノ定ムル所ニ從ヒ本組合ノ業務ヲ掌理ス

評議員ハ理事長ノ諮問ニ應ジ並ニ本組合ノ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

第四十七條 理事長ハ總代會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總代會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ理事長ハ次ノ總代會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムベシ

第四十八條 役員ハ名譽職トス

役員ニハ總代會ノ議決ヲ經テ報酬、手當又ハ賞與ヲ給スルコトヲ得

第四十九條 本組合ニ左ノ職員ヲ置キ理事長之ヲ任免ス但シ主事及參事ノ任免ハ評議員會ニ之ヲ諮員スルモノトス

- 主事 一人
 - 參事 若干人
 - 技師 若干人
 - 技手 若干人
 - 書記 若干人
- 主事ハ理事長ノ命ヲ承ケ本組合ノ事務ヲ管掌ス

八二三

參事ハ理事長ノ命ヲ承ケ本組合ノ事務ヲ處理シ技師ハ理事長ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌理シ技手ハ理事長ノ命ヲ承ケ技術ニ從事シ書記ハ理事長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス
第五十條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給、旅費、退職給與金及死亡給與金ヲ支給ス

第六章 會 議

第五十一條 會議ハ總代會、理事會及評議員會ノ三種トス
總代會ハ理事長、副理事長及總代ヲ以テ、理事會ハ理事長、副理事長及理事ヲ以テ、評議員會ハ理事長、副理事長及評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第五十二條 會議ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外理事長之ヲ招集ス

第五十三條 會議ヲ招集セントスルトキハ總代會ニ在リテハ少クトモ二週間前ニ、理事會及評議員會ニ在リテハ少クトモ一週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ會議ヲ組織スル者ニ通知スルモノトス
前項ノ期間ハ臨時緊急ヲ要スル場合ニ於テハ總代會ニ在リテハ十日迄、理事會及評議員會ニ在リテハ三日迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第五十四條 會議ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル事項ニ付テノ決議ヲ爲スコトヲ得但シ緊急又ハ輕微ノモ

ノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十五條 會議ノ議長ハ理事長ヲ以テ、理事長事故アルトキハ副理事長ヲ以テ之ニ充ツ理事長及副理事長共ニ事故アルトキ又ハ絲價安定施設法施行令第二十條ノ規定ニ依リ準用セラレル蠶絲業組合法第三十四條第三項若ハ第四項ノ規定ニ依リ總代會招集ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第五十六條 會議ノ議事ハ法令又ハ本定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十七條 總代ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得但シ總代ニ非ザレバ代理人タルコトヲ得ズ

總代ハ三人迄ノ總代ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得代理ノ委任ヲ受ケタル總代ハ代理權ヲ證スル書面ヲ本組合ニ差出スコトヲ要ス

第五十八條 會議ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ理事長ハ書面ヲ以テ會議ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ會議ノ議決ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ理事長ハ十日ヲ下ラザル回答期限ヲ定ムベシ此ノ期限迄ニ到達セザル意見書ハ採決ノ數ニ加ヘザルモノトス

第五十九條 總代會ハ通常總代會及臨時總代會トス

通常總代會ハ毎年一回十一月ヨリ翌年一月ノ間ニ於テ之ヲ開キ臨時總代會ハ理事長必要ト認ムルトキ又ハ絲價安定施設法施行令第二十條ノ規定ニ依リ準用セラレル蠶絲業組合法第三十四條第二項乃至第四項ノ規定ニ依リ之ヲ開ク

第六十條 左ニ掲グル事項ハ總代會ノ議決ヲ經ルモノトス

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 絲價安定施設法第二十三條第一項第三號ニ掲グル事業

四 事業報告及收支決算

五 借入金

六 基本財産ノ造成、管理及處分

七 定款ノ變更

八 役員ノ選任及解任

九 第十八條、第五十條、第六十四條、第六十六條第二項及第六十九條第二項ノ規程

第六十一條 總代會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名捺印スベシ
一 開會ノ日時及場所

二 總代會ヲ組織スル者ノ定數及員數

三 出席者ノ員數

四 議事ノ要領

五 議決シタル事項及賛否ノ數

第六十二條 左ニ掲グル事項ハ理事會ノ議決ヲ經ルモノトス

一 總代會ニ提出スベキ議案ノ決定

二 業務ノ執行ニ關スル決定

三 其ノ他理事長ニ於テ必要ト認メタル事項

第六十三條 左ニ掲グル事項ハ評議員會ニ之ヲ諮問スルモノトス

一 總代會ニ提出スベキ議案

二 臨時總代會ノ招集

三 寄附ノ受諾又ハ許否

四 豫算ノ同一款内ニ於ケル各項間ノ經費ノ流用

五 過怠金ノ賦課ニ關スル事項

六 異議ノ申立、訴願及訴訟ニ關スル事項

第六十四條 會議ノ議事ニ關スル規程ハ本定款ニ規定アルモノヲ除クノ外總代會ノ議決ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第七章 會計其ノ他

第六十五條 本組合ノ經費ハ組合員ノ負擔トシ經費ノ分賦

收入方法ノ定ムル所ニ依リ之ヲ組合員ニ賦課スルモノトス

經費ノ分賦收入方法ハ毎年總代會ニ於テ之ヲ定ム

第六十六條 本組合ハ必要ニ應ジ使用料若ハ手数料ヲ徵收シ又ハ實費ノ辨償ヲ受クルコトアルベシ

前項ノ使用料、手数料及實費ノ辨償ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第六十七條 經費、使用料、手数料又ハ實費辨償金ヲ滯納スル者アルトキハ理事長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

第六十八條 本組合ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受クルコトヲ得

第六十九條 本組合ニ基本財産ヲ設ク

基本財産ノ造成及管理ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第七十條 本組合ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一 財産臺帳

二 經費徵收原簿

三 出納簿

四 其ノ他必要ナル帳簿

第七十一條 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス但シ總代會ノ決議ニ依リ其ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ繰

第七十六條 經費及過怠金ヲ完納セザル者アルトキハ理事長ハ評議員會ノ意見ヲ徵シ絲價安定施設法第十八條第二項又ハ第三項ノ手續ヲ爲スコトヲ得

第七十七條 本組合ノ解散ハ組合員總數ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第七十八條 本組合解散シタルトキハ理事長及副理事長ヲ以テ清算人トス

第七十九條 清算人ハ就人後遲滯ナク財産目錄ヲ作成シ之ヲ總代會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第八十條 清算終了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作成シ組合員ニ之ヲ報告スベシ

附 則

本組合ノ最初ノ總代選舉ニ付テハ理事長開票期日ヨリ少クトモ二十日前ノ日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ第二十條ノ業種及第二十一條ノ選舉區毎ニ選舉人名簿ヲ分册調製スベシ

前項ノ場合ニ在リテハ理事長ハ第二十四條ノ縦覽期間及第二十五條ノ異議申立期間ヲ短縮スルコトヲ得

理事長前項ノ規定ニ依ル短縮ヲ爲シタルトキハ之ヲ公告スベシ

入ルルコトヲ得

第七十二條 本組合ノ出納閉鎖期ハ五月三十一日トス

第七十三條 組合員絲價安定施設法第二十三條第三號ニ掲グル事項ニ關スル組合ノ決議ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ過怠金ヲ課ス

組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ百圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一 故ナクシテ第十二條第二號又ハ第三號ノ届出ヲ怠リ又ハ不實ノ届出ヲ爲シタルトキ

二 故ナクシテ第十二條第四號ノ報告若ハ回答ヲ怠リ又ハ不實ノ報告又ハ回答ヲ爲シタルトキ

三 第六十七條ノ督促ヲ受ケ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セザルトキ

第七十四條 過怠金徵收ノ通知書ニハ其ノ事由ヲ記載スルモノトス

第七十五條 經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ノ通知ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ理事長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ理事長ハ評議員會ノ意見ヲ徵シ遲滯ナク決定ヲ爲シ異議申立人ニ之ヲ通知スベシ

三 民法ニ依ル團體

社團又ハ財團法人設立ノ件

明治三十二年一月農商務省令第一號

第一條 農商務省ノ主管ニ屬スル社團又ハ財團ニシテ民法第三十四條ノ規定ニ依リ法人トシテ設立スルノ許可ヲ得ントスルモノハ其ノ主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ申請スベシ
第二條 前條ノ手續ヲ經テ設立シタル法人ヨリ農商務大臣ニ願出又ハ届出ヲナストキハ總テ其ノ主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由スベシ

社團法人帝國蠶絲組合定款

第一章 總則

第一條 本組合ハ備荒貯蓄ノ趣旨ヲ以テ社員ノ積立金ヲ蓄積シ蠶絲業ノ改善及救済ヲ圖ルヲ以テ目的トス
第二條 本組合ハ社團法人帝國蠶絲組合ト稱ス
第三條 本組合ノ事務所ハ之ヲ横濱市ニ置キ神戸市ニ出張所ヲ置ケ
第四條 本組合ノ社員ハ製絲業者、生絲輸出業者其他生絲ノ販賣若クハ販賣ノ委託ヲ爲ス者及ビ其關係業者ヲ以テ之ヲ組織ス

社團又ハ財團法人設立ノ件社團法人帝國蠶絲組合定款

第五條 本組合ノ存立時期ハ設立ノ日ヨリ滿三十箇年トス但總會ノ決議ヲ以テ之ヲ延長スル事ヲ得

第六條 本組合ハ第一條ノ目的遂行ノ爲必要アルトキハ借入金ヲ爲スコトヲ得但此ノ場合ニ於テハ第二十二條但書ノ規定ニ準ズル決議ヲ經テ主務官廳ノ承認ヲ受クルモノトス

第二章 資産

第七條 本組合ノ資産ハ左ノ如シ

- 一 社員ノ積立金
- 二 寄附金、補助金又ハ納入金
- 三 本會ノ事業又ハ所有財産ヨリ生ズル收益
- 四 其他ノ收入

第八條 削除(社員ハ入社ノ時一口以上ノ出資ヲ爲スモノトス)

第九條 削除(出資一口ノ金額ハ金五十圓トス)

第十條 削除(出資ノ拂込時期及方法ハ理事ノ定ムル所ニ依ル)

第十一條 社員ノ積立金ハ左ノ區別ニ從ヒ組合ノ存續期間中ノ之ヲ爲スモノトス
一 生絲賣込問屋業者若クハ之ニ準ズベキ業務ヲ爲ス者
ニ 生絲ノ販賣ヲ委託シ又ハ生絲輸出業者ニ生絲ヲ販賣

シ(生絲賣込問屋業者若クハ之ニ準ズベキ業務ヲ爲ス委託賣込ノ場合ヲ除ク)若クハ販賣ノ委託(生絲賣込問屋業者ニ準ズベキ業務ヲ爲ス者ノ爲ス販賣ノ委託ノ場合ヲ除ク)ヲ爲ス者又ハ製絲業者ニシテ直接生絲ノ輸出ヲ爲ス者又ハ受渡ノ爲メ取引所ニ生絲ヲ提供シタル者及ビ生絲輸出業者ニシテ地元ニ於テ直接生絲ノ買入ヲ爲シタル者ハ輸出生絲検査法ニヨリ検査ヲ受ケタル生絲壹俵ニ付昭和十二年三月三十一日迄ハ金七圓同年四月一日ヨリ金八圓參拾錢

二 生絲賣込問屋業者若クハ之ニ準ズベキ業務ヲ爲ス者及ビ製絲業者ニシテ生絲輸出港ニ生絲販賣部ヲ設ケル者ハ其取扱ヒタル生絲壹俵ニ付金拾八錢
三 生絲ノ輸出ヲ爲スモノニ在リテハ直接荷主ヨリ買入レ若クハ委託ヲ受ケタル生絲壹俵ニ付金拾八錢
本條第一項各號積立金ノ割合ハ總會ノ決議ヲ以テ増額スルコトヲ得

第十二條 積立金ノ拂込時期及ビ方法ニ關シテハ別ニ之ヲ定メ總會ノ承認ヲ經ルモノトス

第十三條 削除(社員ハ出資ニ對シ出資計算書ノ交付ヲ求ムルコトヲ得

第三章 組合ノ機關

通常總會ハ毎年一回四月之ヲ開ク
臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事が必要ト認メタルトキ
二 監事が民法第五十九條第四號ノ規定ニ依リ必要ト認メタルトキ

三 社員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及ビ招集ノ理由ヲ示シテ請求ヲ爲シタルトキ

第十九條 總會ノ招集ハ少ナクトモ七日前ニ會議ノ目的タル事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ社員ニ通知スル事ヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十條 社員ノ議決權ハ其積立タル金額壹百圓又ハ壹百圓未滿ノ金額ヲ壹個トス

第二十一條 定款變更及ビ解散ノ決議ハ總社員ノ三分ノ一以上出席シタル總會ニ於テ爲スニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十二條 總會ノ決議ハ出席シタル社員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但定款ノ變更組合ノ解散其他理事ニ於テ重要ト認ムル事項ノ決議ハ總社員ノ議決權ノ二分ノ一以上タルコトヲ要ス

第二十三條 總會ニ出席セザル社員ハ代理人又ハ書面ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得

社團法人帝國蠶絲組合定款

第十四條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

理事 十五名以内

監事 五名以内

理事ハ專務理事貳名ヲ互選ス

專務理事ハ本組合ヲ代表ス

第十五條 理事及監事ハ社員中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選任ス但特別ノ事由アルトキハ其ノ他ノ者ヨリ選任スルコトヲ妨ゲズ

第十六條 理事及監事ノ任期ハ二箇年トス但再選ヲ妨ゲズ補闕選舉ニ依リ就任シタル理事及監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第十七條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ缺員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ待ツコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ニ於テ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會ニ於テ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第十八條 總會ハ通常總會及ビ臨時總會ノ二種トス

テ表決ヲ爲スコトヲ得

前項ノ代理人ハ本組合ノ社員竝ニ當該社員ノ家族又ハ當該社員ト同一ノ組合若クハ會社等ニ在ル者以外ノ者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得ズ

第二十四條 總會ノ議長ハ第十八條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外專務理事之ニ當ル專務理事事故アルトキハ他ノ理事中ヨリ之ヲ互選ス

第十八條第三項第二號ノ場合ニ於テハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其二名以上ナル場合ニ於テハ其互選ニ依ル但總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席社員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第二十五條 總會ノ決議録ハ議長之ヲ作り決議ノ事項會議ノ顛末及ビ出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

前項決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スル事ヲ要ス

第二十六條 總會ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十七條 業務上必要アルトキハ總會ノ決議ニ依リ顧問又ハ相談役若干名ヲ置クコトヲ得

顧問及相談役ハ本組合ノ樞要事項ニ關シ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ意見ヲ開陳スルモノトス

第二十八條 理事、監事、顧問及ビ相談役ハ名譽職トス但

必要アルトキハ實費ノ辨償ヲ爲スコトアルベシ
理事、監事、顧問又ハ相談役ハ正當ノ事由ナクシテ辭任
スルコトヲ得ズ

第四章 事業

第二十九條 本組合ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年
三月三十一日ニ終ル

第三十條 本組合ノ目的ヲ遂行スル方法及ビ資産又ハ借入
金ノ使用方法ハ總會ニ於テ第二十二條但書ノ規定ニ準ズ
ル決議ヲ以テ定メ主務官聽ノ承認ヲ受クルモノトス

第三十一條 本組合ノ金銭ハ之ヲ横濱正金銀行又ハ産業組
合中央金庫ニ預入レ保管ヲ爲スモノトス

但總會ノ決議ニ依リ保管ノ方法ヲ變更スルコトヲ得
預金拂出ノ必要アルトキハ理事ノ協議ニ依リ監事ノ承認
ヲ經テ之ヲ爲スモノトス

第五章 損益

第三十二條 本組合ハ毎事業年度ノ終ニ於テ收支ヲ決算ス
ルモノトス

第六章 加入及脱退

第三十三條 本組合ニ加入セントスルモノハ理事ノ承諾ヲ
受クルモノトス

第三十四條 社員ニシテ入社資格タル事業ヲ廢止シ理事ノ

總會ニ於テ從前ノ例ニ依リテ計算シ出資ニ之ヲ加算スル
モノトス

第三十九條 舊定款第十一條ノ規定ニ依ル通常出資金及ビ
特別出資金ハ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ同一出資金ト看
做ス

本定款ノ變更ハ昭和七年六月一日ヨリ之ヲ施行スルモノ
トス

第四十條 但定款ニ依ル出資金ハ昭和十一年十二月二十五
日ヨリ之ヲ積立金ト看做ス

本定款ハ昭和十一年十二月二十五日ヨリ之ヲ施行スルモノ
トス

帝國蠶絲組合積立金徵收ニ關スル要綱

- 一 帝國蠶絲組合ノ積立金ハ輸出生絲検査法ニヨリ検査ヲ受ケタル荷物ニ對シ之ヲ徵收スルコト
- 二 生絲問屋業組合、生絲輸出業組合、横濱神戸兩取引所々屬取引員組合員ノ組合員及關係倉庫會社ノ請求ニヨリ検査セル荷物ノ檢定證ハ全部生絲問屋業組合ニ於テ検査所ヨリ交付ヲ受ケ同組合ヨリ検査請求者ニ交付スルコト
- 三 検査請求者ニ於テ生絲問屋組合ヨリ檢定證ノ引渡ヲ受

帝國蠶絲組合積立金徵收ニ關スル要綱

承諾ヲ受ケタルトキハ本組合ヲ脱退スルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ脱退シタル社員ニ對シテハ其當時ノ組
合財産ノ狀況ニ從ヒ理事ニ於テ拂戻金額ヲ決定シ拂戻ヲ
爲スモノトス但定款第一條ニ定メタル目的遂行ノ爲組合
ノ資金使用中ナルトキハ此限リニ非ズ

第三十五條 削除 社員ノ持分ハ理事ノ承諾ヲ受ケタル場
合ニ限リ第四條ニ規定シタル者ニ對シ讓渡シチナスコト
ヲ得 社員ノ死亡、隱居、入夫婚姻、工場ノ讓渡、會社
ノ合併其他營業讓渡ニ依ル承繼等ノ場合ハ其事業ノ承繼
者ニ於テ其持分ヲ承繼スルコトヲ要スルモノトス

第三十六條 社員ニシテ一ヶ年以上積立ヲ爲サ、ル者ハ事
業年度ノ終ニ於テ其ノ資格ヲ喪失スルモノトス

第三十四條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七章 解散

第三十七條 本組合解散シタルトキハ理事清算人トナル

附 則

第三十八條 舊定款第十一條ノ規定ニ依リ大正十五年十一
月三十日迄ニ社員カ組合ニ對シテ貸付ケタル貸付金ハ同
日現在額ヲ同年十二月一日ニ組合ニ出資シタルモノト看
做ス
前項ニ該當スル貸付金ニ對スル利息ハ大正十六年度通常

ケントスルトキハ之ニ記載ノ俵數ニ對シ一俵ニ付昭和十
二年三月三十一日迄ハ金七圓拾八錢、同年四月一日ヨリ
金八圓四拾八錢ノ割合ヲ以テ計算スル金額ヲ同組合ニ拂
込ムベキコト

四 検査請求者ハ前月中ニ検査ヲ受ケタル荷物ニ對スル檢
定證ハ理由ノ如何ヲ問ハズ必ズ翌月二十日迄ニ之ニ對ス
ル積立金ヲ生絲問屋業組合ニ拂込ミ其ノ引渡ヲ受ケベキ
コト

五 生絲問屋業組合ニ於テ前項ニヨリ拂込ヲ受ケタルトキ
ハ當該檢定證ヲ引渡スト共ニ別ニ定ムル様式ニヨリ出資
金拂込證明書正(黒刷)副(赤刷)各一通ヲ交付スルコ
ト

六 生絲問屋業組合ハ拂込ヲ受ケタル出資金ハ之ヲ正金銀
行ニ特別當座預金トシテ預ケ置キ前月分ヲ翌月十日迄ニ
帝國蠶絲組合ニ拂込ムベキコト

七 生絲問屋業組合ノ組合員カ買方タル輸出商ニ檢定證ノ
引渡ヲナス場合ハ必ズ第五項ニヨリ出資金拂込證明書
(正)ヲ之ニ添付スベキコト

八 生絲輸出業組合ノ組合員ハ檢定證ニ第五項ニヨリ出資
金拂込證明書(正)ノ添附ナキ荷物ハ其ノ相手方タル賣
方カ生絲問屋業組合ノ組合員ナルトキハ勿論其ノ他ノ者

- ト雖モ絶對ニ之ヲ買入ヲナサザルコト
- 九 生絲輸出業組合ハ生絲問屋業組合ノ組合員ニシテ積立金ニ關シ組合ヨリ違反處分ヲ受ケタル者トハ絶對ニ生絲ノ賣買取引ハ之ヲ爲サザルコト
- 十 生絲輸出業組合ハ其ノ組合員ニシテ第八項及第九項ニ違反シタル者アリタルトキハ定款ノ定ムル所ニヨリ過意金ヲ徵收スルコト
- 十一 生絲問屋業組合ハ生絲輸出業組合ノ組合員ニシテ積立金ニ關シ違反處分ヲ受ケタル者トハ絶對ニ生絲ノ賣買取引ハ之ヲ爲サザルコト及之ヲ違反者アリタルトキハ定款ノ定ムル所ニヨリ過意金ヲ徵收スルコト
- 十二 横濱神戸兩取引所ハ其ノ受渡荷物ニシテ昭和七年五月一日以降ノ検査ニ依ル荷物ハ第五項ニヨル出資金拂込組明書(正)ノ添附ナキトキハ之ヲ受渡ヲ爲サシメザルコト
- 但昭和七年四月三十日以前ノ検査ニ係ル荷物ノ受渡ニ付テハ從前ノ取扱方法ニヨルコト
- 十三 生絲問屋業組合ノ組合員ハ出資金ノ保證金トシテ國債證券(額面五百圓)ヲ同組合ニ提出スベキコト
- 十四 第四項ニヨル期日迄ニ出資金ノ拂込ミヲ爲サザルトキハ保證物ヲ賣却シ其ノ賣得金ヲ積立金ニ充當スルモ異

- 議ナキ旨並ニ不足ヲ生ジタルトキハ其不足額ヲ支拂フベキ旨ノ證書ヲ徵シ置クコト
- 十五 昭和七年四月三十日以前ノ検査ニ依ル荷物ニ對スル出資金ノ取扱ハ從前ノ手續ニヨルコト
- 十六 積立金額ハ生絲検査所ノ輸出生絲検査俵數ヲ以テ引合セテ爲スモノトス
- 十七 積立ノ實行ナ期スル爲メ委員若干名ヲ囑託スルコトヲ得
- 十八 積立ニ關スル取扱細則ハ理事會ニ於テ之ヲ定ム

社團法人大日本蠶絲會定款

第一款 總則

- 第一條 本會ハ民法ノ規定ニ從ヒ主務官廳ノ許可ヲ得テ社団法人ト爲ス
- 第二條 本會ハ皇族ヲ推戴シテ總裁トス
- 第三條 本定款ハ總會ノ決議ヲ經タル後主務官廳ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ變更スルコトヲ得ズ
- 第四條 本會ハ法定ノ解散事由アルニ非ザレバ解散スルコトナシ
- 解散ノ決議ハ總會員四分ノ三以上ノ同意アルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第二款 目的及事業
- 第五條 本會ハ本邦蠶絲業ノ改良進歩ヲ圖ルヲ以テ目的トナス
- 第六條 本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
 - 一 蠶絲業ニ關スル諸般ノ調査ヲ爲スコト
 - 二 本邦生絲ノ海外販路擴張ヲ圖ルコト
 - 三 内外ニ於ケル蠶絲業ノ團體ト氣脈ヲ通ズルコト
 - 四 蠶絲業ニ關スル品評會講習會講話會及其ノ他ノ集會

ヲ開設スルコト

- 五 蠶絲業ニ關係アル者ノ功勞ヲ調査シ及表彰スルコト
- 六 蠶絲業ニ關スル共同事業ノ發達ヲ圖ルコト
- 七 蠶絲業ニ關スル圖書及雜誌ヲ發行スルコト
- 八 前各號ノ外蠶絲業ノ改良發達上必要ト認ムル事項
- 第七條 本會ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
- 第三款 名稱及事務所
- 第八條 本會ハ大日本蠶絲會ト稱ス
- 第九條 本會ハ事務所ヲ東京市麹町區有樂町一丁目七番地ノ六ニ設置ス但シ評議員會ノ決議ニ依リ之ヲ移轉スルコトヲ得
- 第四款 資産
- 第十條 本會ノ資産ハ左ノ如シ
 - 一 本會ノ所有ニ屬スル動産及不動産
 - 二 會員ノ贈出金有志者ノ寄附又ハ遺贈ニ係ル金錢及物品
 - 三 本會ノ事業又ハ所有財産ヨリ生ズル收入金
- 第十一條 資産ノ管理及處分ニ關スル規則ハ評議員會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第五款 會員

第十二條 本會員ハ左ノ三種トス

名譽會員 特別會員 通常會員

第十三條 名譽會員ニハ皇族ヲ推戴ス

第十四條 特別會員ハ本會ノ主旨ヲ賛成シテ入會シ一時ニ

金貳拾五圓以上ヲ出スモノトス但シ五年以内ニ分納スル
コトヲ得

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ特ニ本會ヨリ特別會員ニ推
舉ス

一 本會ニ對シテ功勞アル者

二 蠶絲業ニ關スル學術技藝ニ達シタル者

第十五條 通常會員ハ本會ノ主旨ヲ賛成シテ入會シ一時ニ

金參圓ヲ出スモノトス

第十六條 本會ハ前三條ノ會員ニ對シテ徽章ヲ交付ス

本會ノ爲特殊ノ功勞アル者及巨額ノ金員ヲ寄附シタル者
ニハ有功章ヲ授與ス

第十七條 會員退會セントスルトキハ其ノ事由ヲ記シ本人
ヨリ、死亡シタルトキハ相續者ヨリ徽章ヲ添へ本會へ届
出ベシ

第十八條 會員ニシテ本會ノ名譽ヲ毀損スルトキハ之ヲ除
名シ徽章ヲ返納セシムルモノトス

第六款 理事監事及顧問

第八款 評議員會

第二十九條 本會ハ經費ノ豫算、會頭副會頭理事及監事ノ

選舉、其ノ他本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事件ヲ評議
スル爲評議員會ヲ置ク

第三十條 評議員ハ二十五名トシ總會ニ於テ特別會員中ヨ
リ選舉シ其ノ任期ハ三箇年トス

第三十一條 評議員會ハ必要ト認ムルトキ會頭之ヲ招集ス

第三十二條 評議員會ハ評議員三分ノ一以上出席スルニ非
ザレバ議決スルコトヲ得ズ但シ同一事件ニ付再招集ノ場
合ニ於テハ出席員ノ數ニ拘ハラズ議決スルコトヲ得

議事ハ過半數ヲ以テ決シ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決
ス

第三十三條 會頭ハ輕易ナル事項ニ付テハ場合ニ依リ書面
ヲ以テ評議員ノ意見ヲ徵シ評議員會ノ招集ニ代ユルコト
ヲ得

第九款 總會

第三十四條 本會ハ業務ノ成績及收支ノ決算ヲ報告シ評議
員ヲ選舉シ蠶絲業ニ關スル要件ヲ議決スル爲總會ヲ招集
ス

第三十五條 總會ハ毎年一回之ヲ招集ス但シ會頭ニ於テ必
要ト認ムル方又ハ十分ノ一以上ノ會員ヨリ會議ノ目的ヲ

民法ニ依ル團體

第十九條 本會ニ理事五名理事中ニ會頭一名副會頭一名ヲ
置ク

第二十條 理事ハ特別會員中ヨリ會頭副會頭ハ理事中ヨリ
評議員會ニ於テ之ヲ選舉ス

第二十一條 會頭ハ本會一切ノ會務ヲ處理シ總會及評議員
會ノ議長トナル

第二十二條 副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ會頭事故アルトキハ其
ノ職務ヲ代理ス

第二十三條 本會ニ監事二名ヲ置キ評議員會ニ於テ特別會
員中ヨリ之ヲ選舉ス

第二十四條 會頭副會頭理事及監事ハ名譽職トシ其ノ任期
ヲ三箇年トス

第二十五條 會頭副會頭理事及監事中閑員ヲ生ジタル場合
ニ於テ必要ト爲メタルトキハ補闕選舉ヲ行フ但シ補闕員
ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第二十六條 本會ニ顧問ヲ置クコトアルベシ

第七款 協議員及委員
第二十七條 本會ニ協議員及左ノ委員ヲ置ク

學藝委員 通信委員 獎勵委員
第二十八條 條協議員及委員ニ關スル規程ハ評議員會ノ決議
ヲ以テ之ヲ定ム

ル事項ヲ示シ請求シタルトキハ臨時招集スルコトヲ得

第三十六條 總會ノ招集及會議ノ目的タル案件其ノ他決議
事項ノ通知ハ會報及特ニ指定シタル新聞紙ヲ以テ之ヲ爲
スモノトス

第三十七條 總會ニ於テ表決ヲ爲スハ出席會員ニ限ル總會
ニ出席セザル會員ハ書面ヲ以テ表決ヲ爲シ又ハ代理人ヲ
出スコトヲ得ズ

第三十八條 總會ノ決議ニ付テハ第三十二條第二項ヲ準用
ス

第十款 支會

第三十九條 支會ニ關スル規則ハ評議員會ノ決議ヲ以テ之
ヲ定ム

社團法人日本蠶絲學會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ蠶絲ニ關スル學術ノ進歩普及ヲ圖ルヲ以テ
目的トス

第二條 本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
一 學術講演會ノ開催
二 會報ノ發行

三 學術研究業績ノ表彰

四 其ノ他本會ノ目的達成ニ必要ナル事業

第三條 本會ハ社團法人日本蠶絲學會ト稱ス

第四條 本會ノ事務所ハ之ヲ東京市麹町區有樂町一丁目七番地ニ置ケ

第五條 本定款ノ變更ハ總會ニ於テ決議ノ上主務官廳ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス但シ事務所ノ位置ヲ東京府内ニ於テ變更スル場合ニ限り評議員會ノ決議ニ依ルコトヲ得

第六條 本定款ノ施行ニ必要ナル細則ハ評議員會ノ決議ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第二章 會員

第七條 蠶絲ニ關シ學識又ハ經驗ヲ有スル者其ノ他本會ノ趣旨ヲ賛成スル者ハ本會會員タルコトヲ得

第八條 入會セムトスル者ハ住所、氏名及職業ヲ記シ會費一ケ年分以上ヲ添ヘテ本會ニ申込ムベシ

第九條 退會セムトスル者ハ其ノ旨ヲ本會ニ通知スベシ此ノ場合會費ニ未納アルトキ之ヲ完納スルコトヲ要ス

第十條 會員ハ會費トシテ一ケ年金參圓ヲ前納スベシ既納ノ會費ハ之ヲ返付セズ

第十一條 會員ニシテ本會ノ定款ヲ遵守セズ又ハ本會ノ名譽ヲ毀損スル行爲アリタルトキハ評議員會ノ決議ニ依リ

之ヲ除名スルコトアルベシ

第三章 總會及評議員會

第十二條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トシ會長之ヲ召集ス

通常總會ハ毎年一回春期之ヲ開ケ

臨時總會ハ會長若クハ評議員會ニ於テ必要アリト認メタルトキ又ハ監事若クハ會員五十名以上ヨリ會議ノ目的ヲ示シテ請求アリタルトキ之ヲ開ケ

第十三條 總會ノ召集ハ少クトモ會期二週間前ニ會議ノ目的、場所及日時ヲ明示シ書面若クハ會報ヲ以テ之ヲ通知ス

第十四條 總會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アルトキハ副會長之ニ代リ會長、副會長共ニ事故アルトキハ出席會員中ヨリ出席會員之ヲ選舉ス

第十五條 總會ノ決議ハ出席會員ノ過半數ヲ以テ決シ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス但シ定款變更ノ決議ハ出席シタル會員三分ノ二以上、解散ノ決議ハ會員ノ三分ノ二以上出席シ其ノ出席會員四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

總會ニ出席セザル會員ハ書面ニ依リ又ハ本會々員ニ其權限ヲ委任シテ表決ヲ爲スコトヲ得

役員ノ任期ハ二年トシ會長、副會長ハ引續キ選任スルコトヲ得ズ會長、副會長ニ非ザル理事及監事ハ毎年其ノ半數ヲ改選ス

役員ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スルニ至ル迄其ノ職務ヲ行フモノトス

補選セラレタル役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第二十三條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

會長、副會長ニ非ザル理事ハ會務ヲ分掌ス

第二十四條 會長ハ前年度事業概要其ノ他必要ト認ムル事項ヲ總會ニ報告スベシ

第二十五條 會長ニ於テ總會ニ提出スベキ事項ハ評議員會ノ決議ヲ經ベシ

第二十六條 監事ノ職務ハ民法ノ規定ニ依ル

第五章 資産

第二十七條 左ノ資産ハ之ヲ基本財産トス

一 基本財産ニ編入ノ指定ヲ以テセラレタル寄附金

二 寄附金、剩餘金其ノ他ノ收入ニシテ評議員會ニ於テ基本財産ニ編入スルコトヲ決議シタルモノ

第二十八條 基本財産ハ評議員會ノ決議ニ依ルニ非ザレバ之ヲ出資シ又ハ費途ニ充ツルコトヲ得ズ

第十六條 評議員會ハ評議員ヲ以テ組織シ役員ノ選舉ヲ爲シ經費ノ豫算、決算其他重要ナル事項ヲ議決ス

第十七條 評議員ハ其ノ定員ヲ三十名トシ會員中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選舉ス

評議員ノ任期ハ二年トシ毎年其ノ半數ヲ改選ス

第十八條 評議員ニ缺員ヲ生ジタルトキハ次ノ總會ニ於テ補缺選舉ヲ行フ

補選セラレタル評議員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十九條 評議員會ハ必要ニ依リ會長之ヲ召集ス

會長ハ監事又ハ評議員十名以上ヨリ請求アリタルトキハ遲滞ナク評議員會ヲ召集スルコトヲ要ス

第二十條 第十四條及第十五條ノ規定ハ評議員會ニ準用ス

第四章 役員

第二十一條 本會ニ左ノ役員ヲ置ケ

會長 一名

副會長 二名

理事 九名

監事 二名

會長、副會長ハ理事ヲ以テ之ニ充ツ

第二十二條 役員ハ會員中ヨリ評議員會ニ於テ之ヲ選舉ス

民法ニ依ル團體

八四一

第二十九條 資産管理ニ關スル規定ハ評議員會ノ決議ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第六章 會計

第三十條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第三十一條 本會ノ經費ハ資産ヨリ生ズル收入、會費、寄附金及其他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第三十二條 本會ノ收支ハ豫算ヲ以テ毎年度開始前評議員會ノ決議ヲ經ベシ

第三十三條 前年度收支決算ハ年度末貸借對照表及財産目錄ト共ニ監事ノ監査ヲ經テ總會ニ報告シ其ノ承認ヲ受クベシ

附 則

第三十四條 本會設立當時ノ評議員及役員ハ設立者之ヲ指名ス

第三十五條 本會設立當時ノ評議員及會長、副會長ニ非ザル理事並監事ノ半數ハ抽籤ニヨリ昭和六年春期ニ之ヲ改選シ他ノ半數及會長、副會長ハ昭和七年春期ニ之ヲ改選ス

財團法人蠶絲科學研究所寄附行爲

第一章 目的及事業

第一條 本所ハ蠶絲業ノ改良發達ヲ圖ル爲蠶繭、蠶絲類ノ生産利用ニ關スル理化學的並生物學的基礎研究ヲ爲シ其ノ成績ノ應用ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本所ハ前條ノ目的ヲ達スルニ必要ナル施設ヲ爲スノ外左ノ事業ヲ行フ

- 一 他ニ研究ヲ委託シ又ハ他ト協同研究ヲ爲スコト
- 二 研究及發明ヲ獎勵スベキ施設ヲ爲スコト
- 三 研究及調査ノ成績ヲ公ニシ又ハ他ノ研究及調査ヲ輯録スル爲印刷物ヲ刊行スルコト

第二章 名稱及事務所

第三條 本所ハ財團法人蠶絲科學研究所ト稱ス

第四條 本所ハ事務所ヲ東京市麹町區有樂町壹丁目七番地ニ置ク

第三章 會員及資産

第五條 本所ノ事業ヲ翼贊シ金錢又ハ物件ヲ寄附シタル者ヲ會員ト稱ス

第六條 本所ノ資産ハ寄附金及資産ノ果實其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第七條 本所設立當初ノ資産ハ金壹百七拾壹萬圓也トシ内金五拾萬圓也ヲ基金トス

第八條 本所ノ資産ハ理事長之ヲ管理ス
本所資産ハ國庫債券若ハ確實ナル有價證券ヲ購入シ又ハ堅實ナル銀行、信託會社ニ預入レ之ガ利殖ヲ圖ルモノトス但シ必要ニ依リ不動産及其ノ他物件ニ換價保有スルコトヲ得

基金ハ他ノ資産ト區別シテ之ヲ保有シ理事會ノ決議ニ依リ評議員會ノ同意ヲ經ルニ非ザレバ之ヲ處分スルコトヲ得ズ

第九條 本所ノ經費ハ基金ノ利息、寄附金、助成金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨ス
經費ノ收支豫算並決算及財産目錄ハ評議員會ノ承認ヲ經ルモノトス

第十條 本所ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第四章 役員其ノ他

第十一條 本所ニ左ノ役員ヲ置ク

- 理事 二十名以内
- 監事 七名以内
- 理事及監事ハ評議員會ニ於テ之ヲ選任ス

社団法人蠶絲科學研究所寄附行爲

第十二條 理事ハ理事長一名、副理事長一名ヲ互選ス
理事長ハ本所ヲ代表シ業務ヲ總理ス

第十三條 役員ノ任期ハ三箇年トス但シ再任ヲ妨ゲズ
補缺ニ依リ就任シタル役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十四條 役員ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就任スルニ至ル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第十五條 本所ニ顧問ヲ置クコトヲ得
顧問ハ理事會ノ決議ヲ以テ之ヲ推舉ス

第十六條 本所ニ評議員五十名以内ヲ置ク
評議員ハ會員其ノ他ヨリ理事會ニ於テ之ヲ選任ス

第十七條 本所ノ事業執行上必要アルトキハ協議員ヲ置クコトヲ得
協議員ハ理事長之ヲ委囑ス

帝國蠶絲倉庫株式會社定款

第一章 總則

第一條 本會社ハ蠶絲竝ニ絹物ノ輸出貿易ノ進展ヲ圖リ取

引ノ圓滑ヲ期スル爲左ノ業務ヲ營ムヲ以テ目的トス

一 生絲、絹物及蠶絲副産物其他ニ關スル倉庫業

二 所有建物ノ賃貸

三 第一號ニ掲ケル物品又ハ其ノ倉庫證券ヲ擔保トスル

貸付

四 債務（第一號ニ掲ケル物品又ハ其ノ倉庫證券ヲ擔保

トスルモノニ限ル）ノ保證

五 第一號ニ掲ケル物品ノ船積及荷爲替ニ關スル代理竝

ニ媒介

六 前各號ニ關聯スル業務

第二條 本會社ハ帝國蠶絲倉庫株式會社ト稱ス

第三條 本會社ハ本店竝ニ倉庫ヲ橫濱市ニ置ク

第四條 本會社ノ資本總額ハ金參百萬圓トス

第五條 本會社ノ公告ハ橫濱市ニ於テ發行スル橫濱貿易新

報ニ掲載スルモノトス

第二章 株式

第六條 本會社ハ資本總額ヲ六萬株ニ分チ壹株ノ金額ヲ金

帝國蠶絲倉庫株式會社定款

五拾圓トス株券ハ記名式トシ壹株券拾株券及百株券トス

第七條 株金ノ第一回拂込ハ壹株ニ付金拾貳圓五拾錢トシ

第二回以後ノ拂込ハ取締役會ニ於テ之ヲ定ム

第八條 株金ノ拂込ヲ怠リタル株主ハ其ノ拂込期日ノ翌日

ヨリ拂込當日迄金百圓ニ付一日金四錢ノ割合ヲ以テ遲滯

利息ヲ支拂ヒ尙ホ之力爲ニ生シタル損害及費用ヲ賠償ス

ヘシ

第九條 株主、質權者及其ノ法定代理人ハ氏名住所及印鑑

ヲ本會社ニ届出ツルモノトス

第十條 裏書ニ依ル株式ノ讓渡ハ之ヲ爲ス事ヲ得サルモノ

トス

株式ノ讓渡ヲ爲サントスル者ハ當事者双方連署シテ豫メ

本會社取締役會ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第十一條 株式ノ讓渡ニ因リ其ノ名義ノ書換ヲ請求スル者

ハ本會社所定ノ請求書ニ株券ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

相續、遺贈其ノ他讓渡以外ノ事由ニ因リテ株式ヲ取得シ

又ハ氏名ヲ改メ其ノ名義ノ書換ヲ請求スル場合ニハ前項

請求書ニ其ノ事實ヲ證スル書面及株券ヲ添ヘ之ヲ差出ス

ヘシ

第十二條 株券ノ紛失又ハ滅失ニ因リ新株券ノ交附ヲ請求

スル者ハ本會社所定ノ請求書ニ除權判決ノ正本又ハ認證

アル賸本ヲ添ヘテ差出スヘシ
 第十三條 株券ノ分合ノ爲又ハ其ノ汚損ニ因リ新株券ノ交付ヲ請求スル者ハ本會社所定ノ請求書ニ舊株券ヲ添ヘテ差出スヘシ
 第十四條 第十一條ノ場合ニ於テハ金貳拾錢第十二條、第十三條ノ場合ニ於テハ金五拾錢ヲ株券壹枚毎ニ請求者ヨリ申受クヘシ
 第十五條 本會社ハ毎年四月一日及十月一日ヨリ各其ノ期定時株主總會終了ノ日迄及臨時株主總會招集ノ通知ヲ發シタル日ヨリ該總會終了ノ日迄株式名義ノ書換ヲ停止ス
 第三條 株主總會
 第十六條 定時株主總會ハ毎年四月及十月之ヲ招集シ臨時株主總會ハ必要アル毎ニ招集ス
 第十七條 株主總會ノ議長ハ社長之ニ當リ社長事故アルトキハ他ノ取締役之ニ當リ商法第二百三十五條第二項及第二百三十七條ニ依リ招集シタル總會ノ議長ハ出席株主中ヨリ總會之ヲ選任ス
 第十八條 株主總會ニ於ケル株主ノ議決權ハ壹株ニ付壹個トス
 但其ノ議決權ヲ行使スヘキ代理人ハ第九條ノ代理人ヲ除ク外本會社ノ株主タルコトヲ要ス

第十九條 總會ノ議決ハ法律ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外出席株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス
 第二十條 總會ニ於ケル議事ノ經過要領及其ノ結果ハ議事錄ニ記載シ議長並ニ出席シタル取締役及監査役之ニ署名シテ本會社ニ保存ス
 第四章 取締役及監査役
 第二十一條 本會社ニ取締役拾貳名以内監査役參名以内ヲ置ク
 第二十二條 取締役並ニ監査役ハ參百株以上ヲ有スル株主タルコトヲ要ス
 第二十三條 取締役ノ任期ハ三年監査役ノ任期ハ二年トス但任期滿了ノ時其ノ任期中最終ノ決算期ニ關スル定時株主總會カ未タ終結セザルトキハ其ノ終結ニ至ル迄ノ任期ヲ伸長ス
 第二十四條 取締役ハ在任中其ノ所有スル本會社株式貳百株ヲ監査役ニ供託スルコトヲ要ス
 但任期中退任シタル場合ニハ株主總會ニ於テ其ノ期ノ決算ノ承認ヲ經タル後ニアラサレハ還付ヲ求ムルコトヲ得サルモノトス
 第二十五條 取締役及監査役ニ缺員ヲ生シタルトキハ補缺

選舉ヲ行フ
 但法定ノ人員ヲ缺クコトナク且業務ニ差支ナキ時ハ取締役會ノ決議ヲ以テ其ノ補缺選舉ヲ延期スルコトヲ得補缺トシテ選任セラレタル取締役及監査役ノ任期ハ前任者ノ殘期間トス
 第二十六條 本會社ニ社長壹名及專務取締役壹名ヲ置ク社長及專務取締役ハ各自會社ヲ代表シ業務ヲ執行ス
 社長及專務取締役ハ取締役中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任ス
 第二十七條 取締役及監査役ノ報酬ハ總會ニ於テ之ヲ定ム
 第二十八條 取締役會ノ決議ニ依リ顧問及評議員若干名ヲ置クコトヲ得
 第五章 計算
 第二十九條 本會社ハ一年ヲ二期ニ分チ四月一日ヨリ九月三十日迄ヲ上半期トシ十月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ヲ下半期トシ每期ノ終ニ於テ其ノ收支ヲ決算スルモノトス
 第三十條 本會社ノ損益計算ハ每期總益金ヨリ總損金ヲ差引キタルモノヲ純益金トシ左ノ項目ニ分配ス
 但總會ノ決議ニ依リ別途積立、後期繰越、其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 法定積立金 純益金ノ百分ノ五以上
 一 役員賞與金 純益金ノ百分ノ十以内
 一 従業員退職手當積立金
 一 株主配當金
 第三十一條 株主ニ配當スヘキ額ハ一ケ年ヲ通シ年壹割ノ割合ヲ超ユルコトヲ得サルモノトシ毎決算期末現在ノ株主ニ配當ス
 附 則
 第三十二條 第壹回ノ決算ニ限リ大正十五年九月末日之ヲ爲スモノトシ第一回定時株主總會ニ限リ大正十五年十月中ニ開會スルモノトス
 第三十三條 創立費用ハ金五千圓以内トス
 第三十四條 本會社發起人ノ氏名住所左ノ如シ
 (住所氏名略ス)

帝國蠶絲倉庫株式會社營業規則

第一章 總 則
 第一條 當會社ノ營業課目ハ左ノ如シ
 一 生絲、絹物及蠶絲副產物其ノ他ニ關スル倉庫業
 二 有有建物ノ賃貸
 三 第一號ニ掲ケル物品又ハ其ノ倉庫證券ヲ擔保トスル

貸付

四 債券(第一號ニ掲グル物品又ハ其ノ倉庫證券ヲ擔保トスルモノニ限ル)ノ保證

五 第一號ニ掲グル物品ノ船積及荷爲替ニ關スル代理並ニ媒介

六 前各號ニ關聯スル業務

第二條 當會社ノ倉庫營業ニ關シテハ凡テ本營業規則ニ據ルモノトス

本營業規則ニ規定セサル事項ハ法令及慣習ニ據ル

第三條 當會社ノ任日ハ大祭日、祝日、日曜日及定例ノ休日トス

但臨時休業チナスコトアルヘシ

營業時間ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 當會社ノ公告ハ横濱市ニ於テ發行スル横濱貿易新報ヲ以テ之ヲ爲ス

營業ニ關スル通知又ハ催告ヲ關係者ニ對シテナスコト能ハザルカ若クハ之チナスニ著シキ困難アル場合ハ前項ノ新聞紙ニ其事項ヲ掲載シタルノミチ以テ之ヲ了シタルモノトス

第五條 當會社構内ニ於テ貨物ノ出入、運搬其他ニ使役スル人夫ハ總テ當會社所屬ノモノ又ハ當會社ニ於テ承認シ

ハ指定ノ場所及日時ニ貨物ヲ送致スヘシ

寄託者カ貨物ノ送致ヲ怠リタルトキハ當會社ハ因テ生シタル損害ノ賠償ヲ求ムルコトアルヘシ此場合ニ於テハ當會社其承諾ヲ取消スコトヲ得

第十二條 寄託申込前ニ貨物ノ送致アリタル場合ト雖モ當會社ハ本營業規則ニ依リ保管チナシ追テ第七條ノ申込手續チナサシムルコトアルヘシ

第十三條 貨物ノ送致アリタル場合ニ於テハ當會社ハ其寄託ヲ拒絕スルトキト雖モ商法第二百七十二條ニ依リ一時其貨物ヲ保管スルトキハ其保管ニ關シテハ本營業規則ヲ準用スルモノトス

第十四條 當會社カ寄託ノ申込ヲ承諾シタル後ト雖モ已ムヲ得サル事情アルトキハ之ヲ取消シ若クハ契約ヲ解除スルコトアルヘシ何レノ場合ニ於テモ因リテ生シタル損害ニ付テ當會社其責ニ任セス

第十五條 當會社ニ於テ必要ト認メタルトキハ庫入ノ際又ハ受託後ニ於テ關係者ノ承諾ヲ經シテ貨物ノ全部又ハ一部ニ付キ其内容ヲ検査スルコトアルヘシ

第三章 倉庫證券

第十六條 當會社ハ受寄物ニ對シ受託者ノ請求ニヨリ預證

帝國蠶絲倉庫株式會社營業規則

タルモノニ限ル

第六條 當會社ハ擔保、供託金其他業務上受取リタル金錢ニ對シテハ利息ヲ附セサルモノトス

第二章 貨物ノ受託

第七條 貨物ヲ寄託セントスルモノハ其種類、品質、數量、個數、申込當時ノ價格其他所事項ヲ記載シタル寄託申込書ヲ提出スヘシ但當會社ノ都合ニ依リテハ送り狀ヲ以テ其代用トシ又ハ口頭ノ申込ヲ受クルコトアルヘシ

第八條 保管又ハ取扱上特別ノ注意ヲ要スヘキ貨物ハ寄託ノ際特ニ其旨ヲ明示スヘシ

前項ノ明示ナカリシ爲ニ生シタル損害ニ付テハ當會社其責ニ任セス

第九條 貨物ノ價格ヲ明示セサルカ若クハ其申込價格ヲ不相當ト認メタルトキハ當會社カ相當ト認メタル所ヲ以テ其價格ト定ム

前項ノ認定ニ關シ寄託者ハ如何ナル理由ニ依ルモ損害賠償チムルコトヲ得ス

第十條 受寄物保管期間中ニ於テ寄託者又ハ證券所持人ヨリ理由ヲ付シテ受寄物ノ價格變更ノ要求アルトキハ當會社ハ之ニ應スルコトアルヘシ

第十一條 當會社カ寄託ノ申込ヲ承諾シタルトキハ寄託者

券及質入證券、倉庫證券、貨物預證書又ハ保管貨物通帳ヲ交付スヘシ

讓渡禁止ノ旨ヲ記載シタル證券、證書及通帳ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第十七條 受寄物ノ内容ヲ検査スルコト不適當ナルモノニ對シテハ倉庫證券、貨物預證書及保管貨物通帳ニ其種類、品質、數量ヲ記載スルモ當會社其責ニ任セス其貨物ノ内容ヲ検査セザル旨ノ記載ヲ爲シタルトキ亦同シ

第十八條 倉庫證券ノ分割又ハ書換ノ請求アリタルトキハ當會社ハ所定ノ手数料ヲ申受クヘシ

第十九條 倉庫證券ヲ喪失又ハ滅失シタルトキハ公示催告申立後當會社ノ相當ト認ムル擔保ヲ供シテ貨物ノ出庫又ハ更ニ證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但其擔保物件ハ除權判決確定後ニアラサレハ之ヲ返戻セサルモノトス

第四章 受寄物ノ保管

第二十條 受寄物ノ保管期間ハ六ヶ月以内トス但滿期ニ至リ當會社ノ承認ヲ經テ之ヲ更新スルコトヲ得

保管期間滿了ノ際出庫又ハ期間更新ノ手續ヲ爲ササル時ハ滿期後ハ二倍ノ保管料ヲ申受クヘシ但第三十六條ノ適用ヲ妨ケス

第二十一條 保管期間滿了後更新ノ手續ヲ爲ササル貨物ノ

保管ニ關シテモ本營業規則ヲ準用スルモノトス

第二十二條 寄託者又ハ證券所持人ニ對シ當會社カ賠償ノ責ニ任スヘキ損害ハ當會社又ハ其使用人ノ故意又ハ重大ナル過失ニヨリテ直接ニ生シタルコト明瞭ナル場合ニ限ルモノトス

前項ノ場合ニ於テ當會社ニ對シ損害賠償ヲ請求セントスル者ハ其損害ノ原因ヲ證明スヘキモノトス

第二十三條 左ノ損害ニ對シテハ當會社其賠償ノ責ニ任セス

- 一 地震、津浪、高潮、洪水、暴風雨、其ノ他ノ天災、氣候ノ變遷、濕氣、自然ノ減量、防疫、鼠害、蟲害、貨物ノ性質若クハ瑕疵、荷造不完全、又ハ抗拒スベカラザル災厄、若クハ事故ニヨリ直接ト間接トナ問ハズ受寄物ニ生シタル損害
- 二 當會社又ハ其ノ使用人ノ故意又ハ重大ナル過失ニ直接原因セザル損害
- 三 火災保險者カ損害填補ノ責任ヲ有スル損害若クハ害託者ノ申出ニヨリ火災保險ニ付セザリシ貨物ノ火災ニ因ル損害

四 直接ト間接トナ問ハズ爆發ニ因ル損害

第二十四條 第十二條、第十三條及第二十一條ニヨリ保管

前項ノ場合ニ於テ寄託者又ハ證券所持人ハ自己ノ費用ヲ以テ直ニ其處分ヲナスコトヲ要ス但當會社ニ於テ切迫シタル事情アリト認ムルトキ又ハ寄託者若クハ證券所持人カ遲滞ナク前項ノ催告ニ應ゼザルトキハ當會社ハ任意ニ受寄物ノ處分ヲナスコトアルヘシ

本條ノ處分ニ因リテ生シタル損害ハ當會社其責ニ任セス

第二十八條 受寄物ノ變質損傷其他ノ原因ニヨリ倉庫又ハ他ノ貨物等ニ損害ヲ生シタルトキハ寄託者又ハ證券所持人ハ之カ賠償ノ責ニ任スヘシ若シ賠償ノ請求ニ應ゼザルトキハ任意ニ受寄物ヲ處分シ其代金ヲ以テ賠償ニ充テ尙不足アルトキハ寄託者又ハ證券所持人ニ對シ其不足額ヲ請求スヘシ

第二十九條 當會社ハ寄託者又ハ證券所持人ノ承諾ヲ經スシテ受寄物ノ積換、保管場所ノ變更又ハ他ノ種類ノ貨物トノ混藏ヲ爲スコトアルヘシ

第三十條 受寄物ノ點檢、見本ノ摘出又ハ保存ニ必要ナル處置ト雖モ已ムヲ得サル場合ニハ之ヲ謝絶スルコトアルヘシ

第三十一條 寄託者又ハ證券所持人カ見本ノ摘出、受寄物ノ點檢又ハ保存ニ必要ナル處置ヲナス場合ニ於テ之カ爲荷造ヲ毀損セルトキ又ハ價格ニ影響ヲ及ボズモノト認ム

セル貨物ニ對シ生シタル損害及當會社ヨリ返還又ハ處分ノ催告ヲ爲シタル後貨物ニ生シタル損害ニ對シテハ當會社一切其責ニ任セス

第二十五條 受寄物ノ損害ニ對スル當會社ノ賠償金額ハ受寄物ヲ當會社ニ於テ火災保險ニ付シタルトキハ第四十條所定ノ保險金額又ハ火災保險ニ付セザリシトキハ第七條、第九條及第十條ニ依ル價格ヲ以テ限度トシ損害當時ノ時價ニ依リ若シ損害發生ノ時期カ不明ナル時ハ損害發見當時ノ時價ニ依リ損害ノ程度ニ應シ之ヲ算定スルモノトス

但時價カ前記保險金額又ハ價格ヲ超過スル時ハ該保險金額又ハ認定價格ニ依リ損害ノ程度ニ應シ算出スルモノトス

第二十六條 當會社カ損害貨物ニ對シ其價格全部ヲ支拂ヒタルトキハ寄託者又ハ證券所持人カ其損害貨物ニツキ有スル一切ノ權利ヲ取得スルモノトス

第二十七條 當會社ハ受寄者カ保管ニ適セザルモノト認メタルトキ又ハ已ムヲ得サル事情アルトキハ寄託者又ハ證券所持人ニ其處分ヲナスヘキコトヲ催告スヘシ受寄物カ倉庫又ハ他ノ貨物ニ損害ヲ及ボス虞アリト認メタルトキ亦同シ

ルトキハ當會社ハ倉庫證券其他必要ノ書類ニ其旨ヲ記入スルカ若クハ當會社ノ相當ト認ムル擔保ヲ提供セシムヘシ

第五章 受寄物ノ引渡

第三十二條 倉庫證券ニヨリ貨物ヲ出庫セントスル者ハ證券面指定ノ事項ヲ記入シ記名捺印ノ上當會社ニ提出スヘシ貨物預證書又ハ保管貨物通帳ニヨル貨物ノ出庫ニツキテハ前項ノ規定ヲ準用ス但此場合ニテ於ハ當會社ハ別ニ貨物受取證ノ提出ヲ求ムルコトアルヘシ

證券又ハ證書ヲ發行セサル場合ニ於テハ貨物受取證ヲ作成シ當會社ニ提出スルコトヲ要ス

第三十三條 受寄物ニ對シ擔保權ヲ有スル者ト當會社トノ間ニ於テ貨物取扱ニ關シ特約アル場合ニ於テハ貨物ノ出庫ハ擔保權者ト當會社トノ特約ニ據リテナスモノトス

第三十四條 當會社ニ於テ必要ト認メタル場合ニハ貨物ノ一部出庫ヲ謝絶スルコトアルヘシ

第三十五條 貨物引渡ニ當リ當會社カ交付シタル貨物出庫指圖書ハ即時之ヲ當該係ニ提出シ遲滞ナク貨物ノ引取ヲナスヘシ

前項ノ提出ヲ遲滞シタルニヨリテ生シタル損害ハ直接ト間接トナ問ハズ當會社其責ニ任セス

第三十六條 寄託契約終了後ニ於テ寄託者又ハ證券所持人カ寄託物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサル場合若クハ寄託者又ハ證券所持人ノ所在不明其他ノ理由ニヨリ貨物ノ引取アラサルトキハ當會社ハ催告ヲナシタル後之ヲ競賣ニ附シ或ハ任意ニ處分スルコトヲ得ルモノトス

第三十七條 異議ナク受寄物ヲ引渡シタル後ハ其貨物ニ何等ノ故障アルモ當會社ハ其責ニ任セサルモノトス

第六章 受寄物ノ火災保險

第三十八條 當會社ハ寄託者又ハ證券所持人ノ爲メニ受寄物ヲ當會社カ適當トスル保險者ノ火災保險ニ付スヘシ前項ノ場合ニ於テ寄託者カ反對ノ意思ヲ表示シタルトキハ此限ニアラス

第三十九條 當會社ハ寄託者又ハ證券所持人ヘ告知セシメテ保險者ヲ變更スルコトアルヘシ

第四十條 第七條第九條又ハ第十條所定ノ價格ヲ以テ其貨物ノ火災保險金額トス

第四十一條 寄託者又ハ證券所持人カ保險契約ノ效力ニ關シ影響ヲ及ホスヘキ事項ヲ告知セサルニヨリ生シタル一切ノ損害ハ寄託者又ハ證券所持人ノ負擔トス

第四十二條 火災保險ニ付シタル受寄物ノ一部ヲ出庫シタルトキ

一 生絲又ハ其ノ倉荷證券ヲ擔保トスル貸付
但シ債務者ニ對シ貸付金ノ一部ヲ免除シ又ハ債務者ヲシテ貸付ニ依リテ生シタル利益ノ一部ヲ納付セシムルコトヲ得

三 生絲又ハ其ノ倉荷證券ヲ擔保トスル債務ノ保證

四 生絲ノ問屋業

五 絹織物、絹製品ノ製造加工及ヒ其ノ販賣

六 生絲格付取引ニ關聯スル業務

七 前各號ニ關聯スル業務

第二條 本會社ハ帝國蠶絲株式會社ト稱ス

第三條 本會社ハ本店ヲ橫濱市ニ置ク

但便宜ノ地ニ出張所ヲ設クルコトヲ得

第四條 本會社ノ資本總額ハ金五百萬圓トス

第五條 本會社ノ公告ハ橫濱市ニ於テ發行スル橫濱貿易新報ニ掲載スルモノトス

第二章 株式

第六條 本會社ハ資本總額ヲ拾萬株ニ分チ壹株ノ金額ヲ金

五拾圓トス株券ハ記名式トシ壹株券、拾株券、百株券ト

ス

第七條 株金ノ第一回拂込ハ壹株ニ付金拾貳圓五拾錢トシ

第二回以後ノ拂込ハ取締役會ニ於テ決ス

帝國蠶絲株式會社定款

ルトキハ其割合ニ應シ保險金額モ亦減少スルモノトス

第四十三條 受寄物ノ火災保險ニ關スル事項ハ總テ當會社ト保險者トノ契約ニ據ルモノトス

第四十四條 火災保險金ハ當會社ヲ經由シテ其支拂ヲ受クルクノトス

第七章 建物ノ賃貸

第四十五條 建物ノ賃貸ニ關シテハ當會社ニ於テ別ニ定ムル所ニ據ル

第八章 保管料、立替金及其他ノ費用

第四十六條 受寄物ニ對スル保管料、手数料、立替金又ハ出入、運搬、検査、見本ノ摘出、荷造ノ修理、防疫其他處分、保存等ニ關スル費用ハ寄託者又ハ證券所持人ノ負擔トシ其利率計算法ハ別ニ定ムル所ニ據ル

前項ノ諸費用ハ當會社ノ都合ニヨリ隨時若クハ定時ニ之ヲ請求スヘシ

帝國蠶絲株式會社定款

第一章 總則

第一條 本會社ハ絲價ノ安定ヲ期スル爲左ノ業務ヲ營ムヲ以テ目的トス

一 生絲ノ買入レ及其ノ賣渡シ

第八條 株金ノ拂込ヲ怠リタル株主ハ其ノ拂込期日ノ翌日

ヨリ拂込當日迄金百圓ニ付一日金四錢ノ割合ヲ以テ遲滯利息ヲ支拂ヒ尙之カ爲ニ生シタル損害及費用ヲ賠償スヘシ

第九條 株主ハ氏名、住所及印鑑ヲ本會社ニ届出ツルモノトス

株主カ其ノ法定代理人ニ依リテ代理セラレル場合ニ於テハ其ノ代理人ノ氏名、住所及印鑑ヲ届出ツルコトヲ要ス

其ノ變更シタルトキ亦同シ

第十條 株式ノ讓渡ヲ爲サントスル者ハ當事者雙方連署シテ豫メ本會社取締役會ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第十一條 株式ノ讓渡ニ因リ其ノ名義ノ書換ヲ請求スル者ハ本會社所定ノ請求書ニ株券ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

相續遺贈其ノ他讓渡以外ノ事由ニ因リテ株式ヲ取得シ又ハ氏名ヲ改メ其ノ名義ノ書換ヲ請求スル場合ニハ前項請求書ニ其ノ事實ヲ證スル書面及株券ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

第十二條 株券ノ紛失又ハ滅失ニ因リ新株券ノ交付ヲ請求スル者ハ本會社所定ノ請求書ニ其ノ事由ヲ詳記シタル書面ヲ添ヘ且本會社ノ相當ト認ムル證人貳名以上ノ連帶保證書ヲ差出シ公告ニ要スル費用ヲ豫納スヘシ

此ノ場合ニ於テ本會社ハ豫納ノ費用ヲ以テ公告ヲ爲シタル後三十日ヲ經テ他ヨリ異議ノ申出ナキ時ハ新券ヲ交付ス

第十三條 株券ノ分合ノ爲又ハ其ノ汚損ニ因リ新株券ノ交付ヲ請求スル者ハ本會社所定ノ請求書ニ舊株券ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

第十四條 第十一條ノ場合ニ於テハ金貳拾錢第十二條、第十三條ノ場合ニ於テハ金五拾錢ヲ株券壹枚毎ニ請求者ヨリ申受クヘシ

第十五條 本會社ハ毎年一月一日及七月一日ヨリ其ノ期定時株主總會終了ノ日迄及臨時株主總會招集ノ通知ヲ發シタル日ヨリ該總會終了ノ日迄株式名義ノ書換ヲ停止ス

第三章 株主總會

第十六條 定時株主總會ハ毎年一月及七月之ヲ招集シ臨時株主總會ハ必要アル毎ニ招集ス

第十七條 株主總會ノ議長ハ社長之ニ當リ社長事故アルトキハ他ノ取締役之ニ當リ商法第六十條及第八十二條ニ依リ招集シタル總會ノ議長ハ出席株主中ヨリ總會之ヲ選任ス

第十八條 株主總會ニ於ケル株主ノ議決權ハ壹株ニ付壹個トス但其ノ議決權ヲ行使スヘキ代理人ハ第九條ノ代理人

但法定ノ人員ヲ缺クコトナク且業務ニ差支ナキトキハ取締役會ノ決議ヲ以テ其ノ補缺選舉ヲ延期スルコトヲ得補缺トシテ選任セラレタル取締役及監査役ノ任期ハ前任者ノ殘期間トス

第二十六條 本會社ニ社長壹名專務取締役若干名ヲ置ク社長及專務取締役ハ各自會社ヲ代表シ業務ヲ執行ス社長及專務取締役ハ取締役中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任ス

第二十七條 取締役及監査役ノ報酬ハ總會ニ於テ之ヲ定ム
第二十八條 取締役會ノ決議ニ依リ顧問及評議員若干名ヲ置クコトヲ得

第五章 計算

第二十九條 本會社ハ一年ヲ二期ニ分チ六月一日ヨリ十一月三十日迄ヲ上半期トシ十二月一日ヨリ翌年五月三十一日迄ヲ下半期トシ每期ノ終ニ於テ其ノ收支ヲ決算スルモノトス

第三十條 本會社ノ損益計算ハ每期總益金ヨリ總損金ヲ差引キタルモノヲ純益金トシ左ノ項目ニ分配ス
但總會ノ決議ニ依リ別途積立、後期繰越其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 法定積立金 純益金ノ百分ノ五以上

帝國蠶絲株式會社定款

ヲ除ク外本會社ノ株主タルコトヲ要ス

第十九條 總會ノ決議ハ法律ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外出席株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第二十條 總會ニ於テ決議シタル事項ハ決議録ニ記載シ議長及出席株主二名之ニ記名捺印シテ本會社ニ保存ス

第四章 取締役及監査役

第二十一條 本會社ニ取締役拾六名以内監査役八名以内ヲ置ク

第二十二條 取締役並ニ監査役ハ貳百株以上ヲ有スル株主タルコトヲ要ス

第二十三條 取締役ノ任期ハ三年監査役ノ任期ハ二年トス但任期滿了ノ時ハ最終ノ決算期ニ關スル定時株主總會カ未タ終結セザルトキハ其ノ終結ニ至ル迄ノ任期ヲ伸長ス

第二十四條 取締役ハ在任中其ノ所有スル本會社株式壹百株ヲ監査役ニ供託スルコトヲ要ス
但任期中退任シタル場合ニハ株主總會ニ於テ其ノ期ノ決算ノ承認ヲ經タル後ニアラサレハ還付ヲ求ムルコトヲ得サルモノトス

第二十五條 取締役及監査役ニ缺員ヲ生シタルトキハ補缺選舉ヲ行フ

一 役員賞與金 純益金ノ百分ノ十以内

一 從業員退職手當積立金

一 株主配當金

第三十一條 株主ニ配當スヘキ額ハ年壹割ノ割合ヲ超ユルコトヲ得サルモノトシ其ノ期末現在ノ株主ニ配當ス

附 則

第三十二條 本會社ハ事業遂行ニ關シ重要事項ニ付テハ農林大臣ノ監督ヲ受ケルモノトス

第三十三條 創立費用ハ金壹萬圓以内トス

第三十四條 本會社發起人ノ氏名住所左ノ如シ
(住所氏名略ス)

五 産業組合法ニ依ル團體

保證責任大日本生絲販賣購買組合聯合會定款

昭和二年三月十五日 設立許可
 同三年四月二十二日 變更認可
 同三年七月二十一日 變更認可
 同四年八月二十九日 變更認可
 同五年八月二十六日 變更認可
 同六年八月二十六日 變更認可
 同八年七月一日 變更認可
 同八年九月十八日 變更認可
 同十三年十月十八日 變更認可
 同十四年九月四日 變更認可

第一章 總則

- 第一條 本會ハ左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス
- 一 所屬聯合會及所屬組合ノ委託ヲ受ケ其ノ取扱又ハ生産シタル生絲ヲ販賣スルコト
 - 二 所屬聯合會及所屬組合ノ委託ヲ受ケ其ノ取扱又ハ生産シタル副蠶絲ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
 - 三 所屬聯合會及所屬組合ノ購買スル蠶種並生絲及副蠶絲ノ整理荷造用品ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生産シテ所屬聯合會及所屬組合ニ賣却スル

保證責任大日本生絲販賣購買組合聯合會定款

第二條 本會ハ保證責任大日本生絲販賣購買組合聯合會ト稱ス

第三條 本會ノ組織ハ保證責任トス

第四條 保證金額ハ出資一口ニ付金壹千圓トス

第五條 本會ハ全國ヲ以テ區域トス
 第五條 本會ハ主タル事務所ヲ神奈川縣橫濱市中區北仲通五丁目五十七番地ニ、從タル事務所ヲ兵庫縣神戸市神戶區明石町三十二番地ニ置ク

第六條 聯合會原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ届出及聯合會原簿ノ提出ハ毎年六月三十日取纏メ其ノ後二週間以内ニ之ヲ爲ス

第七條 産業組合法第四十條第二項ニ依ル公告ハ本會ノ揭示場ニ揭示シ且官報、中外商業新報及産業組合中央會ノ發行スル會報ヲ以テ之ヲ爲ス

第八條 本會ハ生絲販賣事業ヲ行フ産業組合聯合會及産業組合ヲ以テ之ヲ構成ス

第九條 本會ノ財産ニ對スル所屬聯合會及所屬組合ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

- 一 出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ之ヲ算定ス
- 二 準備金ニ對シテハ剩餘金ヲ生シタル事業年度内ニ於

テ所屬聯合會及所屬組合カ本會ヲ通シ販賣シタル生絲、副蠶絲並購買シタル蠶種、整理荷造用品ノ價額ニ應シ年度毎ニ算定加算ス但シ其ノ算定ノ基準ハ理事之ヲ定ムルモノトシ購買品ニアリテハ場合ニ依リ除外スルコトヲ得ルモノトス

三 其他ノ財産ニ對シテハ本會解散當時ノ所屬聯合會及所屬組合ニ限リ持分ヲ有シ其ノ權利ハ拂込濟出資額ニ應スルモノトス

本會財産力出資額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス

第十條 所屬聯合會及所屬組合ハ左ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ本會ニ通知スルコトヲ要ス但シ第五號及第六號ノ事項ハ每事業年度末毎ニ之ヲ報告スヘシ

- 一 名 稱
- 二 事 務 所
- 三 存 立 時 期
- 四 出資一口ノ金額並保證金額
- 五 出資ノ總口數
- 六 拂込ミタル出資ノ總額

第二章 出資及積立金

第十一條 出資一口ノ金額ハ金壹千圓トス

處分スルコトヲ得

第十九條 削除

第二十條 準備金、別途積立金及役職員退職給與積立金ハ産業組合中央金庫ニ又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預ケ入又ハ之ヲ以テ産業債券、國債證券、地方債證券、貯蓄債券、勸業債券、日本興業銀行ノ債券、北海道拓殖銀行ノ債券、農工債券若ハ華中蠶絲株式會社ノ株式其ノ他總會ノ決議ヲ經タル社債券ヲ買入レル外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章 機關

第二十一條 本會ニ理事十三名、監事五名ヲ置ク

理事ハ會長一名、副會長二名、常務理事一名ヲ互選ス會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ副會長ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

會長、副會長共ニ事故アルトキハ常務理事之ニ代リ會長、副會長及常務理事共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

常務理事ハ會長、副會長ヲ補佐シ會務ヲ掌理ス

第二十二條 理事ノ任期ハ三箇年、監事ノ任期ハ二箇年ト

保證責任大日本生絲販賣購買組合聯合會定款

所屬聯合會及所屬組合ハ百口迄ノ出資ヲ爲スコトヲ得

第十二條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金參百圓トス

第十三條 第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外出資一口ニ付金百圓以内ニ於テ其ノ拂込金額及期日ヲ定ム

前項ノ拂込及期日ハ理事之ヲ定メ一箇月以前ニ所屬聯合會及所屬組合ニ通知スルモノトス

第十四條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付拂込ムヘキ金額ノ千分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス

第十五條 本會ハ出資總額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十六條 加入金、増口金、過怠金及拂戻ヲ爲ササル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ル、モノトス

第十七條 本會ハ剩餘金ヨリ別途積立金、役職員退職給與積立金及職員福利施設積立金ヲ積立ツルコトヲ得

役職員退職給與積立金及職員福利施設積立金ハ役職員退職給與規程及職員福利施設規程ニ依リ處分スルモノトス役職員退職給與規程及職員福利施設規程ハ總會ノ決議ニヨリ之ヲ定ム

第十八條 準備金及別途積立金ハ損失填補ニ充ツルモノトス但シ別途積立金ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ

ス但シ再選ヲ妨ケス

會長、副會長及常務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其職務ヲ行フモノトス

第二十三條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ召集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス總會力理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十四條 理事及監事ハ名譽職トス但シ副會長及常務理事ハ之ヲ有給トス

理事及監事ニハ總會ノ決議ニヨリ報酬、手當又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得ス

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十五條 通常總會ハ毎年一回七月又ハ八月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事力必要ト認メタルトキ
- 二 監事力産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三 理事関係ケタルトキ

四 産業組合法第二十三條ニ依リ總會招集ノ請求アリタルトキ

第二十六條 總會ノ招集ハ少クモ二週間前ニ書面ヲ以テ所屬聯合會及所屬組合ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十七條 所屬聯合會及所屬組合ハ總會ニ出席セシムル爲代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第二十八條 總會ハ所屬聯合會及所屬組合ノ代表者半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

總會ノ決議ハ出席シタル代表者ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

理事若ハ監事ノ選任又ハ解任、定款ノ變更、所屬聯合會又ハ所屬組合ノ除名、解散及合併ノ決議ハ所屬聯合會及所屬組合ノ代表者半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

總會ニ於テハ急速輕微ノ事項ニ限り豫メ通知ナキモノト雖モ其ノ決議ヲ爲スコトヲ得

第二十九條 總會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アルトキハ副會長ノ一人之ニ當リ會長 副會長共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

主事ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ會務ヲ處理シ主事補及書記ハ理事、監事及主事ノ指揮ヲ承ケ會務ニ從事ス

第三十五條 本會ニ技師及技手若干名ヲ置キ會長之ヲ任免ス

技師及技手ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ技術ニ従事ス

第四章 事業ノ執行

第一節 通則

第三十六條 本會ノ事業年度ハ七月一日ニ始マリ翌年六月三十日ニ終ル

第三十六條ノ二 本會ニ餘裕金アルトキハ産業組合中央金庫ニ又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ之ヲ預入ル、モノトス

第三十六條ノ三 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第二節 販賣

第三十七條 本會ニ於テ取扱フ物品ハ生絲並副蠶絲及其ノ加工品トス

第三十八條 本會ニ於テ爲ス加工左ノ如シ

副蠶絲ノ精練又ハ製綿其ノ他販賣上必要ナル加工

第三十九條 所屬聯合會及所屬組合ハ其ノ取扱又ハ生産シタル生絲ノ全額ヲ本會ニ出荷シ販賣ヲ委託スルモノトス

止ムコトヲ得サル事由ニヨリ前項ニ據リ難キモノハ理事

保證責任大日本生絲販賣購買組合聯合會定款

監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ムルコトヲ得

第三十條 總會ニ出席スル所屬聯合會及所屬組合ノ代表者ハ三名以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十一條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り開會ノ日時、場所會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十二條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十三條 本會ニ顧問及相談役ヲ置クコトヲ得

顧問ハ總會ノ推薦ヲ經テ會長之ヲ囑託シ本會ノ事業ヲ援助ス

相談役ハ理事之ヲ推薦シ其ノ任期ハ三箇年トス但シ再推薦ヲ妨ケス

相談役ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ本會ノ事業ニ付キ理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第三十四條 本會ニ主事、主事補及書記若干名ヲ置キ會長之ヲ任免ス

ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第三十九條ノ二 所屬聯合會又ハ所屬組合前條ノ規定ニ違反シテ其ノ取扱又ハ生産シタル生絲ヲ他ニ出荷シタルトキハ過怠金ヲ徴收スルコトヲ得

過怠金ノ額及徴收ニ關スル規程ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第四十條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會指定ノ時期方式ニ依リ滿受入状況、製絲状況、出荷スヘキ生絲及副蠶絲又ハ本會ノ必要ト認メタル事項ニ付報告スルヲ要ス

前項報告中變更ヲ生シタル場合ハ遲滞ナク之ヲ報告スルモノトス

第四十一條 所屬聯合會及所屬組合ハ製絲及生絲ノ出荷ニ付本會ノ指示アリタルトキハ之ニ從フコトヲ要ス

前項ノ出荷ニ付荷造費、運賃其ノ他本會到着迄ニ要スル費用ハ所屬聯合會又ハ所屬組合ノ負擔トス

第四十二條 本會ハ所屬聯合會又ハ所屬組合ヨリ生絲又ハ副蠶絲ノ送付ヲ受ケタルトキハ其ノ送狀ニ照シテ查收シ之ヲ通知スルモノトス

受入レタル生絲又ハ副蠶絲ニ付テハ本會其ノ責ヲ負フ但シ不可抗力ニ據ル場合ハ此ノ限りニアラス

第四十三條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會ヘ出荷シタル生絲又ハ副蠶絲ニ付販賣時期、値段、賣先、販賣方法又ハ

加工ニ付指定スルコトヲ得ス

第四十四條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會ニ生絲又ハ副蠶絲ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ時價ノ十分ノ八以内ニテ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩二錢以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス

第四十四條ノ二 本會ハ假渡金調達ノ爲必要アル場合ハ所屬聯合會又ハ所屬組合ヨリ受入レタル生絲並副蠶絲及其ノ加工品ヲ擔保ニ供スルコトヲ得

第四十五條 所屬聯合會及所屬組合ニ配分スヘキ生絲販賣代金ノ配分期間及品等數量査定方法並各品等間ノ格差決定方法ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

生絲販賣代金ハ其ノ配分期間ニ編入セラレタル生絲ニ對シ前項ニ依リ定メタル格差ヲ計算シ其ノ數量ニ應シテ配分ス

毎配分期間ノ配分ハ其ノ配分期間ニ編入セラレタル生絲ヲ全部賣了シタルトキ之ヲ行フ但シ理事必要ト認メタルトキハ適宜配分日ヲ定メ其ノ期日迄ニ賣了シタルモノヲ以テ締切り配分ヲナシ賣了シ能ハサリシモノアリタルトキハ之ヲ次期配分期間ニ編入スルコトヲ得

毎ニ之ヲ精算ス

第四十六條 削 除

第四十七條 削 除

第四十八條 本會ハ受託生絲一俵ニ付七圓以内、受託副蠶絲十貫ニ付二圓以内ニ於テ理事ノ定メタル販賣歩合金ヲ徵シ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス

第四十九條 本會ハ受託生絲又ハ副蠶絲ニ付キ特殊ノ勞費ヲ要シタルモノニ付テハ實費ヲ徵シ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス受託物ノ運賃又ハ保險料其ノ他ノ立替金ニ付亦同シ

第五十條 副蠶絲中本會ニ於テ加工ヲ爲シタルモノニアリテハ之ニ要シタル實費ヲ標準トシテ加工料ヲ徵シ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス

第三節 購 買

第五十條ノ二 本會ニ於テ賣却スル物品左ノ如シ

蠶種、生絲及副蠶絲ノ整理荷造用品

第五十條ノ三 本會ニ於テ爲ス加工又ハ生産左ノ如シ

一 括箱、括絲、編索絲、金巾袋、通袋、文庫紙、副蠶絲用麻袋及繭袋ノ製作

二 蠶種ノ自己生産又ハ委託生産

三 其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物

保證責任大日本生絲販賣購買組合聯合會定款

賣了前ト雖モ品等數量ノ査定ヲ了シタルモノニ對シテハ總會ニ於テ定メタルトコロニ依リ假配分ヲナス

假配分ニ對シテハ利息ヲ附セス

第四十五條ノ二 所屬聯合會及所屬組合ニ配分スヘキ副蠶絲販賣代金ノ配分期間及品等數量査定方法並各品等間ノ格差ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

副蠶絲販賣代金ハ加工シタルト否トチ問ハス其ノ配分期間ニ編入セラレタル副蠶絲ニ對シ前項ニ依リ定メタル格差ヲ計算シ其ノ數量ニ應シテ配分ス

毎配分期間ノ配分ハ配分期間ニ編入セラレタル副蠶絲ヲ全部賣了シタルトキ之ヲ行フ但シ理事必要ト認メタルトキハ適宜配分日ヲ定メ期日迄ニ賣了シタルモノヲ以テ締切り配分ヲナシ賣了シ能ハサリシモノアリタルトキハ之ヲ次期配分期間ニ編入スルコトヲ得

賣了前ト雖モ品等數量ノ査定ヲ了シタルモノニ對シテハ總會ニ於テ定メタルトコロニ依リ假配分ヲナス

假配分ニ對シテハ利息ヲ附セス

第四十五條ノ三 假渡金ハ假配分金ヲ以テ相殺シ假配分金ハ配分金ヲ以テ相殺スルモノトス

第四十五條ノ四 第四十五條及第四十五條ノ二ニ據ル能ハサル生絲又ハ副蠶絲販賣代金ハ代金受入ノ都度其ノ荷口

第五十條ノ四 理事ハ所屬聯合會及所屬組合ノ需要ヲ調査シ又ハ其ノ注文ニ應ジ賣却スヘキ物品及其ノ材料ヲ便宜買入レ又ハ生産スルモノトス

第五十條ノ五 購買申込多數ノ場合ニ於ケル賣却ノ數量又ハ順位ハ理事之ヲ査定スルモノトス

第五十條ノ六 所屬聯合會及所屬組合ニ賣却スル物品ノ代價ハ市價ヲ標準トシテ理事之ヲ定ム

所屬聯合會及所屬組合ハ購買物品引取ト同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ本會ハ當該所屬聯合會及所屬組合ニ支拂フヘキ販賣代金ヨリ之ヲ控除受入ル、コトヲ得

第五十條ノ七 理事ハ所屬聯合會及所屬組合ヲシテ物品並期日ヲ指定シ購買ノ豫約ヲナサシメ、豫約ヲナササリシ所屬聯合會及所屬組合ニ對シテハ賣却ヲ拒絕スルコトヲ得

前項ノ豫約ニ際シテハ代金ノ全部又ハ一部ヲ前納セシムルコトヲ得

第五十條ノ八 所屬聯合會及所屬組合ハ本會ヨリ購買物品ヲ引渡サントスルトキハ遲滞ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス前項ノ引取ヲ爲ササルトキハ購買物品代金ノ全額又ハ一割以上ニ相當スル過怠金ヲ徵收ス但シ理事ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ過怠金ノ徵收ヲ輕減又ハ免除ス

ルコトヲ得

第五十條ノ九 本會ハ購買物品ニ付所屬聯合會及所屬組合カ引取遅延其ノ他所屬聯合會及所屬組合ノ責ニ歸ス可キ事由ニヨリ生シタル損害ニ付テハ其ノ責ニ任セス

第五十一條 削 除

第五十二條 削 除

第五章 剰餘金處分並損失ノ填補及分擔

第五十三條 剰餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルトキハ別途積立金、配當金、特別配當金、役員賞與金、役員退職給與積立金、職員福利施設積立金又ハ繰越金ト爲スモノトス

第五十四條 配當金ハ其ノ剰餘金ヲ生シタル年度ノ終リニ於ケル所屬聯合會及所屬組合ノ拂込濟出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以下トス

特別配當金ハ其ノ剰餘金ヲ生シタル事業年度内ニ於テ所屬聯合會及所屬組合カ本會ヲ通シ販賣シタル生絲、副蠶絲並購買シタル蠶種、整理荷造用品ノ價額ニ應スルモノトス但シ其ノ算定ノ基準ハ理事之ヲ定ムルモノトシ購買品ニアリテハ場合ニ依リ除外スルコトヲ得ルモノトス前二項ノ配當ハ拾圓未満ノ金額ニ對シテハ之ヲ爲サ、ルモノトス

加入ノ效力ハ第五十八條ノ場合ヲ除ク外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第五十七條 所屬聯合會及所屬組合カ出資ノ増口ヲ爲サムトスルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス但シ前條第一項第一號乃至第五號ノ書類ニ付テハ此ノ限ニアラス

第五十八條 持分ヲ讓渡セムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ得ルコトヲ要ス

持分ヲ讓受ケムトスル者カ所屬聯合會又ハ所屬組合ニ非サルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外第五十六條ノ規定ヲ準用ス

第五十九條 所屬聯合會及所屬組合カ脱退セムトスルトキハ其ノ事業年度末十ヶ月前ニ其ノ旨理事ニ豫告スヲコトヲ要ス

第六十條 所屬聯合會及所屬組合ハ左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込、過怠金ノ納付又ハ購買代金ノ支拂ヲ怠リ二ヶ月内ニ其ノ義務ヲ履行セザルトキ
- 二 第三十九條ノ規定ニ違反シテ生絲ヲ出荷シタルトキ
- 三 本會ノ事業ヲ妨ケル行爲アリタルトキ
- 四 信用ヲ失ヒタルトキ

保證責任大日本生絲販賣購買組合聯合會定款

第五十五條 損失ノ填補ハ別途積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス但シ總會ノ決議ニ依リ別途積立金及準備金ヲ以テ填補スルコトヲ得

第五十六條ノ二 本會ノ財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ各所屬聯合會及所屬組合間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ其ノ保證金額ノ割合ニ應スルモノトス脱退シタル聯合會及組合ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入増口及脱退

第五十六條 本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金壹圓及左ニ掲ケル書類ヲ添附シテ理事ニ差出スコトヲ要ス但シ第一年度ニ於テハ加入金ヲ徴セス

一 定款ノ謄本

二 最近作成シタル貸借對照表及最近年度ノ事業報告書

三 設備簽數及最近三ヶ年間ニ於ケル生絲販賣高(輸出向國用向各種類別數量)

四 産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議録ノ謄本

五 設立許可ノ年月日並理事ノ氏名住所

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬聯合會及所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス

第六十一條 所屬聯合會及所屬組合脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ノ半額ニ止ムルモノトス但シ除名ニ依ル場合ニ於テハ其ノ拂込濟出資額ノ四分ノ一ヲ解散、所屬聯合會及所屬組合タル資格ノ喪失其ノ他總會ニ於テ止ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ依ル場合ニ於テハ其ノ拂込濟出資額ヲ拂戻スモノトス

第七章 解散

第六十二條 本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人トナル但シ總會ノ決議ニ依リ所屬聯合會及所屬組合ノ理事中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第八章 附 則

第六十三條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

定款第三十九條第二項ニヨル除外ニ

關スル規程

昭和八年六月二十八日理事會決議

- 一 定款第三十九條第二項ニヨル除外ノ承認ヲ求メントスルモノハ會長宛左ノ事項ヲ詳記シタル書面ヲ提出スルコトヲ要ス
- 1 年度内生絲販賣豫定俵數及本會ニ出荷ス可キ豫定俵數

- 2 除外ヲ求ムル期間及其期間内ノ除外俵數
- 3 除外ニヨル出荷先又ハ賣却先及其出荷又ハ賣却ヲ要スル理由
- 二 除外ノ期間ハ事業年度ニヨリ一ヶ年以内タルコトヲ要ス但シ重ネテ除外ヲ求ムル事ヲ得
- 三 會長除外ノ承認ヲ求ムル書面ヲ受取リタル時ハ專決ニヨリ又ハ理事會ニ諮リ書面ヲ受取リタル日ヨリ三十日以内ニ諾否ノ回答ヲナス但シ承認ヲ與フル場合ハ出席シタル理事全員ノ三分ノ二以上ノ同意アルヲ要ス
- 四 會長除外ノ承認ヲ與ヘタル時ハ其聯合會名又ハ組合名、除外ノ俵數、出荷先又ハ賣却先及除外シタル理由ノ概略ニ付本會所屬聯合會又ハ組合ニ通知スルモノトス
- 五 會長ハ除外承認ニ關スル理事會ニ除外ヲ求メタル聯合會又ハ組合ノ代表者ヲシテ出席セシメ質疑ニ應答セシムルコトヲ得但シ討議ニ參加セシムルコトヲ得ス
- 六 除外承認ニ關スル理事會ニ於テハ討議進行上必要ニヨリ利害關係者ノ退席ヲ要求スル事ヲ得
- 七 除外承認ノ審議ハ左ノ場合ニ限ルモノトス
 - 1 關東大震災火災燒失生絲關係
 - 2 當該聯合會又ハ組合ノ存立ニ關スル場合

(昭和八年七月二十一日總會決議)

第一條 定款第三十九條ノ二ノ規程ニ依リ徵收スヘキ過怠金ノ額ハ所屬聯合會又ハ所屬組合カ定款第三十九條第二項ノ承認ヲ經スシテ他ニ出荷シタリト認メタル生絲ノ俵數ニ應ジ其生絲ノ出荷又ハ販賣當時ノ時價(理事推定スルモノトス)ノ二割ニ相當スル金額トス

第二條 定款第三十九條第二項ノ承認ヲ經スシテ他ニ出荷シタルモノト認メタル俵數及徵收スヘキ過怠金ノ額ヲ決定シタルトキハ當該所屬聯合會又ハ所屬組合ニ其金額及納付ノ期日ヲ通知スルモノトス

第三條 所屬聯合會又ハ所屬組合前條ノ通知ヲ受ケタル後定款第三十九條第二項ノ承認ヲ經スシテ生絲ヲ他ニ出荷シタル事實ナキコト又ハ其出荷俵數ニ相違アルコトヲ證明シタル場合ハ過怠金ヲ免除シ若ハ其金額ヲ輕減スルモノトス

第四條 所屬聯合會又ハ所屬組合第二條ノ通知ヲ受ケル前ニ於テ他ニ出荷シタル事實ニ付本會ニ對シ詳細ニ報告シ且再ヒ之ヲ繰返ササル旨ヲ誓約シタル場合若ハ止ムコトヲ得サル事情アリト認メタル場合ハ過怠金ノ徵收ヲ免除シ若ハ其ノ金額ヲ輕減スルコトヲ得

前項ノ過怠金ノ免除又ハ輕減ノ割合ハ理事之ヲ定ム

定款第四十五條ニ基ク總會決議

(昭和八年四月二十八日臨時總會決議)

第五條 過怠金ノ納付ヲ怠タリタルトキハ期日後一日ニ付納付スヘキ金額ノ千分ノ一ニ當ル遲延料ヲ徵收ス

第六條 過怠金及遲延料ハ當該所屬聯合會又ハ所屬組合ノ委託シタル生絲ニ對スル配分金ヨリ之ヲ控除徵收スルコトヲ得

第一條 生絲販賣代金ノ配分期間ハ曆月ニ依ル一ヶ月トシ生絲検査所檢定證日附カ此ノ期間ニ屬スルモノヲ之ニ編入ス

第二條 品等數量査定方法ハ生絲検査所ニ於ケル格付検査及正量検査ニ依ル

第三條 各品等間ノ格差決定方法ハ左ノ各號ニ依ル

本會加入ノ聯合會又ハ組合ノ出資口數ハ設備釜數五十二付一口ノ割合トス五十ニ充タサル端數ハ三十五釜以上ハ之ヲ五十釜ト見做ス一釜當リ生絲生産高過少ナル聯合會又ハ組合(新設聯合會又ハ組合ヲ除ク)ノ出資口數ハ前項ニ拘ラズ一ヶ年平均(最近三ヶ年平均)生産高七十五俵ニ付一口ノ割合トスルコトヲ得七十五俵ニ充タサル端數ハ五十俵以上ハ之ヲ七十五俵ト見做ス

通常一臺一人持二十條以内ノ多條繰器械ハ一臺ヲ以テ一釜ト見做ス

一臺二十一條以上ノ多條繰器械ハ其ノ器械ノ一人持通常條數ヲ以テ總條數ヲ除シテ得タル數ヲ以テ釜數ト見做ス

以上各項ニヨリ適當ニ出資口數ヲ定メ難キ場合又ハ一釜當リ生産高異常ニ多量ナル聯合會又ハ組合ノ出資口數ハ會長ノ決スル處ニヨリ定ム

一 標準格
白十四中D格トス

二 格差金
標準格ノ相場平均ト各格ノ相場平均トノ差額トス
標準格ノ相場平均及各格ノ相場平均ハ配分期間中ノ日々ノ各標準相場(相場ニ變動アリタル時ハ安値)ノ平均トス

各格トハ白十四中A、B、C、D、E格、白黃廿一中A、B、C、D格トス

三 切離金

保證責任大日本生絲販賣購買組合聯合會定款

二 事務所

三 存立時期

四 出資一口ノ金額並保證金額

五 出資ノ總口數

六 拂込ミタル出資ノ總額

第二章 出資及積立金

第十一條 出資一口ノ金額ハ金五百圓トス

第十二條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金貳百圓トス

第十三條 第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂

込ニ充ツルモノノ外加入若ハ増口シタル年ヲ除キ毎年出

資一口ニ付金五拾圓ヲ拂込ムモノトス

前項ノ拂込期日ハ理事之ヲ定メ一箇月以前ニ所屬聯合會

及所屬組合ニ通知スルモノトス

第十四條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其

ノ拂込ムヘキ金額ノ千分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收ス

第十五條 本會ハ出資總額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金

ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十六條 過怠金及拂戻ヲ爲ササル持分ハ之ヲ準備金ニ組

入ルモノトス

第十七條 本會ハ剩餘金ヨリ特別積立金及役職員退職給與

支給スルコトヲ得

專務理事ハ會長、副會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理ス

第二十一條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年

トス但シ任期滿了後ト雖後任者ノ就任スル迄其ノ任期ヲ

伸長スルモノトス

前項但書ノ場合ニ於ケル後任者ノ任期ハ前項本文ノ期間

ヨリ伸長期間ヲ控除シタル期間トス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ現任者ノ殘任

期ニ依ル但シ理事又ハ監事ノ全員闕ケタル場合ニ於ケル

就任者ノ任期ハ第一項本文ノ期間トス

増員ニ依リ就任シタル理事、監事ノ任期ハ現任者ノ任期

ニ從フ

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十二條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ副員

ヲ生シタルトキハ通常總會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサ

ル場合ニ限リ臨時總會ヲ招集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會方理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其

ノ補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 理事及監事ハ名譽職トス但シ專務理事ハ之ヲ

有給ト爲スコトヲ得

理事及監事ニハ總會ノ決議ニ依リ報酬、手當又ハ賞與ヲ

保證責任全國乾菓販賣購買組合聯合會定款

積立金ヲ積立ツルコトヲ得

役職員退職給與積立金ハ役職員退職給與規程ニ依リ之ヲ

處分スルモノトス役職員退職給與規程ハ總會ノ決議ニ依

リ之ヲ定ム

第十八條 準備金及特別積立金ハ損失填補ニ充ツルモノト

ス但シ特別積立金ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ

處分スルコトヲ得

第十九條 準備金及特別積立金ハ産業組合中央金庫又ハ總

會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入レ又ハ之ヲ以テ産業債券、

國債證券、地方債證券、貯蓄債券、勸業債券、日本興業

銀行ノ債券、北海道拓殖銀行ノ債券若ハ農工債券其ノ他

總會ノ決議ヲ經タル社債券ヲ買入ルル外他ニ之ヲ利用ス

ルコトヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スル

第三章 機關

第二十四條 通常總會ハ毎年一回三月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事力必要ト認メタルトキ

二 監事力産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタル

トキ

三 理事ノ闕ケタルトキ

四 産業組合法第二十三條ニ依リ總會招集ノ請求アリタ

ルトキ

第二十五條 總會ノ招集ハ會日ヨリ少クトモ二週間前ニ書

面ヲ以テ所屬聯合會及所屬組合ニ之ヲ通知スルコトヲ要

ス

前項ノ通知書ニハ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ記載シ招集

者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十六條 所屬聯合會及所屬組合ハ總會ニ出席セシムル

爲代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス

前項ノ代表者ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク其ノ旨本會

ニ届出ツルコトヲ要ス

第二十七條 總會ハ所屬聯合會及所屬組合ノ代表者半數以

上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス若シ半數ニ充

タサルトキハ三十日以内ニ更ニ招集シ出席シタル代表者

ヲ以テ開會スルコトヲ得

支給スルコトヲ得

第二十四條 通常總會ハ毎年一回三月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事力必要ト認メタルトキ

二 監事力産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタル

トキ

三 理事ノ闕ケタルトキ

四 産業組合法第二十三條ニ依リ總會招集ノ請求アリタ

ルトキ

第二十五條 總會ノ招集ハ會日ヨリ少クトモ二週間前ニ書

面ヲ以テ所屬聯合會及所屬組合ニ之ヲ通知スルコトヲ要

ス

前項ノ通知書ニハ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ記載シ招集

者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十六條 所屬聯合會及所屬組合ハ總會ニ出席セシムル

爲代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス

前項ノ代表者ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク其ノ旨本會

ニ届出ツルコトヲ要ス

第二十七條 總會ハ所屬聯合會及所屬組合ノ代表者半數以

上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス若シ半數ニ充

タサルトキハ三十日以内ニ更ニ招集シ出席シタル代表者

ヲ以テ開會スルコトヲ得

ナ以テ開會ス
總會ノ決議ハ出席シタル代表者ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス
理事若ハ監事ノ選任又ハ解任、定款ノ變更、所屬聯合會
又ハ所屬組合ノ除名、解散及合併ノ決議ハ所屬聯合會及
所屬組合代表者ノ半数以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同
意アルコトヲ要ス

總會ニ於テハ急速輕微ノ事項ニ限リ豫メ通知ナキモノト
雖其ノ決議ヲ爲スコトヲ得

第二十八條 總會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アルトキ
ハ副會長之ニ當リ會長副會長共ニ事故アルトキハ專務理
事之ニ代ル

監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之
ニ當ル其ノ多数ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル
總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議
長ヲ定ムルコトヲ得

第二十九條 總會ニ出席スル所屬聯合會及所屬組合代表者
ハ三名以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り開會ノ日時、場所、
會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス
決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ
署名捺印スルコトヲ要ス

ツルモノトス
所屬聯合會及所屬組合ハ前項ノ規定ニ依リ割當テラレタ
ル數量ノ乾繭ノ販賣ヲ年度内ニ本會ニ委託スルコトヲ要
ス

止ムコトヲ得サル事由ニ依リ前項ニ依リ難キモノハ理事
ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

第四十條 所屬聯合會及所屬組合ハ前條ノ規定ニ違反シテ
義務出荷ヲ怠リタル場合ハ其ノ不足數量ニ應シ過怠金ヲ
徴收ス

過怠金ノ額及徴收ニ關スル規程ハ總會ニ於テ之ヲ定ム
第四十一條 本會カ所屬聯合會及所屬組合ヨリ其ノ販賣セ
ムトスル乾繭ヲ受取りタルトキハ其ノ品等及數量ヲ査定
ス

品等査定ノ方法及標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム
第四十二條 所屬聯合會及所屬組合ハ第三十九條ノ規定ニ
依リ義務出荷セル乾繭ニ付テハ販賣ノ時期、値段、賣先
又ハ販賣方法ニ付理事ニ之ヲ一任スルモノトス

第四十三條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會ニ販賣委託物ヲ
引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡シヲ請求スルコト
ヲ得其ノ額ハ時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム
前項ノ販賣假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩二錢以内ニ於
テ

保證責任全國乾繭販賣購買組合聯合會定款

第三十一條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定
ム

第三十二條 本會ニ顧問及相談役ヲ置クコトヲ得

顧問及相談役ハ總會ノ承認ヲ經テ會長之ヲ囑託ス
顧問ハ本會ノ事業ヲ援助シ相談役ハ理事ノ諮問ニ答フル
モノトス

第三十三條 本會ニ主事、技師、主事補、技手及書記若干
名ヲ置キ會長之ヲ任免ス

第四章 事業ノ執行

第三十四條 本會ノ事業年度ハ三月一日ニ始リ翌年二月末
日ニ終ル

第三十五條 本會ノ餘裕金ハ産業組合中央金庫又ハ總會ノ
承認ヲ經タル銀行ニ之ヲ預入ルモノトス

第三十六條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第一節 販賣

第三十七條 本會ニテ販賣スルモノハ乾繭、繭綿、其ノ他
養蠶副産物トス

第三十八條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會ノ指定スル時期
ニ於テ本會ノ要求スル事項ニ付キ報告スルコトヲ要ス

第三十九條 本會ハ所屬聯合會及所屬組合ニ對シ其ノ取扱
フ乾繭ニ付總會ノ定ムル方法ニ依リ義務出荷數量ヲ割當
テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス

第四十四條 所屬聯合會及所屬組合ヨリ委託ヲ受ケタル乾
繭ヲ販賣シタル場合ニハ遲滞ナク之カ代金ヲ支拂フモノ
トス

第四十五條 本會カ受託物ノ販賣ヲ爲シタルトキハ販賣價
額千圓ニ付五圓以内ニ於テ理事ノ定メタル販賣歩合金ヲ
徴收スルモノトス

第四十六條 本會ニ於テ受託乾繭ニ特殊ノ勞費ヲ加ヘタル
モノニ付テハ實費ヲ徴收スルモノトス

第四十七條 販賣假渡金並其ノ利息、販賣歩合金、過怠金
及前條ノ費用ハ代金支拂ノトキ之ヲ差引クモノトス

第二節 購買

第四十八條 本會ニ於テ賣却スルモノノ種類左ノ如シ

- 一 蠶 種
- 二 蠶 具
- 三 其ノ他蠶絲業上必要ナルモノニシテ總會ノ決議ヲ經
タルモノ

第四十九條 理事ハ所屬聯合會及所屬組合ノ需要ヲ調査シ
又ハ其ノ注文ニ應シ賣却スヘキモノノ購入ヲ爲スモノト
ス

第五十條 購買申込多數ノ場合ニ於ケル賣却ノ順位又ハ數

量ハ申込ノ順序並申込者ノ購買必要ノ程度等ヲ參酌シテ理事之ヲ定ム

第五十一條 所屬聯合會及所屬組合ニ賣却スル物ノ代價ハ理事之ヲ定ム

第五十二條 理事ハ必要アリト認ムルトキハ時期ヲ指定シテ所屬聯合會及所屬組合ニ注文シタル物ノ見積代金ノ一部ヲ提供セシムルコトヲ得

第五十三條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會ヨリ購買物引渡ノ通知ヲ受ケタル場合ハ遲滞ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ別ニ定ムル期間内ニ引取ヲ爲ササルトキハ本會ニ於テ其ノ契約ヲ解除シ之ニ依リテ生シタル損害ヲ賠償セシムルコトヲ得

第五十四條 所屬聯合會及所屬組合ハ其ノ購買物ノ引取ト同時ニ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ理事ニ於テ止ムコトヲ得サル事由アリト認ムルトキハ代金支拂ノ延期ヲ承諾スルコトヲ得

前項ノ支拂ヲ怠ルタルトキハ其ノ代金ニ付理事ノ定メタル延滞利息ヲ日歩三錢以内ニ於テ徵收スルモノトス

第五十五條 剩餘金處分並損失ノ填補及分擔

仍殘餘アルトキハ特別積立金、配當金、特別配當金、役

三 産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議録謄本

四 設立許可ノ年月日並理事ノ住所氏名

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬聯合會及所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入ノ效力ハ第六十一條ノ場合ヲ除ク外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第六十條 所屬聯合會及所屬組合カ出資ノ増口ヲ爲サムトスルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス但シ前條第一項第一號乃至第四號ノ書類ハ之ヲ添付スルコトヲ要セス

第六十一條 持分ヲ讓渡セムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ得ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケムトスル者カ所屬聯合會又ハ所屬組合ニ非サルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外第五十九條ノ規定ヲ準用ス

第六十二條 所屬聯合會及所屬組合カ脱退セムトスルトキハ其ノ事業年度末十箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第六十三條 所屬聯合會及所屬組合左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一 出資ノ拂込又ハ過意金ノ納付ヲ怠リ二ヶ月内ニ其ノ

保證責任全國乾菓販賣購買組合聯合會定款

員賞與金、役職員退職給與積立金又ハ繰越金ト爲スモノトス

第五十六條 配當金ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル年度ノ終ニ於ケル所屬聯合會及所屬組合ノ拂込済出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以内トス

特別配當金ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル事業年度内ニ於テ所屬聯合會及所屬組合ヨリ本會ヲ通シ販賣及購買シタル物ノ價額ニ應スルモノトス

前二項ノ配當計算ニ付テハ拾圓未満ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第五十七條 損失ノ填補ハ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第五十八條 本會ノ財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ所屬聯合會及所屬組合ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ其ノ保證金額ノ割合ニ應スルモノトス脱退シタル所屬聯合會及所屬組合ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入、増口及脱退

第五十九條 本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ左ニ掲ケル書類ヲ添付シテ理事ニ差出スコトヲ要ス

一 定款

二 最近作製シタル貸借對照表及最近年度ノ事業報告書

義務ヲ履行セサルトキ

二 本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ

三 信用ヲ失ヒタルトキ

第六十四條 所屬聯合會及所屬組合脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込済出資額ノ五分ノ一ニ止ムルモノトス但シ除名ニ依ル場合ニ於テハ拂戻ヲ爲ササルモノトス

第七章 解散

第六十五條 本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人トナル但シ總會ノ決議ニ依リ所屬聯合會及所屬組合ノ理事其他ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第八章 附則

第六十六條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

六生絲取引規約

輸出生絲賣買取引規約

昭和六年十二月三十日決議
昭和七年三月二十六日追認

第一條 輸出ノ目的ヲ以テ爲ス生絲ノ賣買取引ハ總テ本規約ニ據ルモノトス

第二條 生絲賣買ノ呼値ハ正量百斤建トス

第三條 生絲賣買取引ノ種類ハ左ニ掲グル二種トス

一 現物賣買

品位檢定證ニ依ル賣買取引ニシテ値段及受渡場所ヲ定メ賣買取引成立ノ日ヨリ五日以内ニ荷物ノ引込ヲ爲スモノ

二 先物約定

將來ノ一定時期ニ受渡ヲ爲スベキ賣買取引ニシテ其ノ種類ハ左ニ掲グル三種トス

(イ) 値極先約定

品位、品位、數量、値段、受渡時期及受渡場所ヲ賣買取引成立ノ當時豫メ定メ置クモノ

(ロ) 成行約定

品位、品位、數量、受渡時期、受渡場所及値段決定ノ標準ヲ賣買取引成立ノ當時豫メ定メ置キ受渡期間中ノ一定期日ニ於ケル市價ヲ基準トシテ値段

輸出生絲賣買取引規約

ヲ決定スルモノ

(ハ) コール取引約定

品位、品位、數量、受渡時期、受渡場所、値段決定ノ標準及コールノ方法ヲ定メ置キ賣手又ハ買手が約定ニ基キ清算市場ニ於テ行ヒタルコールノ出來値ヲ基準トシテ値段ヲ決定スルモノ

第四條 生絲賣買取引成立ト同時ニ賣手ハ様式第一號ニ依ル覺書ヲ買手ニ交付スルモノトス

先物約定ニ於テハ前項覺書ノ外賣買取引成立ノ翌日迄ニ様式第二號ニ依ル約定書ヲ受授スルモノトス

第五條 現物賣買ニ於テハ賣手ハ賣買取引成立後遲滞ナク品位並ニ正量檢定證及受渡ニ必要ナル書類ヲ買手ニ交付スルモノトス

先物約定ニ於テハ前項ノ檢定證及書類ハ之ヲ荷物引込ノ前日迄ニ買手ニ交付スルコトヲ要ス

前各項ニヨリ檢定證ノ交付ヲ受ケタルトキハ買手ハ様式第三號ニ依ル受取書ヲ賣手ニ交付スルモノトス

第六條 生絲ノ受渡ヲ爲サントスルトキハ本規約ノ定ムル所ニ依リ賣手ハ荷物ヲ檢査所所定ノ封印ノ儘(金巾袋ニ麻繩ヲカケ)保存袋ニ納メ之ニ所定ノ封印ヲ施シタル供試料絲ヲ添附シテ買手ノ指定スル倉庫又ハ其ノ他ノ場所

ニ引込ミ買手之ガ受入ヲ爲スモノトス
 前項ノ受渡場所ハ買手ノ營業所ト同一市内ニアルコトヲ
 要シ引込ハ午前中ニ爲スモノトス
 第七條 生絲賣買取引ノ單位タル一荷口ハ正量一千斤トシ
 一荷口ノ總重量ハ正量九百八十斤以上一千三十斤以下ナ
 ルコトヲ要ス

生絲一俵ノ正量ガ百五十斤ヲ超ヘ又ハ九十五斤ニ滿タザル
 モノハ受渡ニ供用スルコトヲ得ザルモノトス
 第八條 賣買取定ニ定メタル織度ト品位檢定證ノ平均織度
 (正量)トノ差ハ左表ニ掲グル範圍ニアルモノナルコトヲ
 要ス

特	AAA	AAA	AA	A	B	C	D	E	F	G
白	九デニール	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、四	〇、四	〇、五	〇、五	〇、五
白	十二デニール	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、四	〇、四	〇、五	〇、五	〇、五
白	十三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、四	〇、四	〇、五	〇、五	〇、五
白	十八	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、四	〇、四	〇、五	〇、五	〇、五
白	十九	〇、四	〇、四	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、七	〇、七	〇、七
白	二十五	〇、四	〇、四	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、七	〇、七	〇、七
白	二十六デニール以上	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、八	〇、八	一、〇	一、〇	一、〇

第九條 生絲ノ正量ガ原量以下ニシテ其ノ差ガ正量ノ百分
 ノ二ヲ超ユルモノハ受渡ニ供用スルコトヲ得ザルモノト
 ス
 第十條 現物賣買取定ニ於テハ賣手ハ買手ト協議ノ上賣買取引
 成立ノ日ヨリ五日以内ニ荷物ヲ引込ヲ爲スモノトス
 第十一條 值極先約定及コイル取引約定ニ於テ渡シ月ノミ
 指定シタル場合ハ賣手ハ其ノ月ノ二十五日迄ニ荷物ヲ引
 込ヲ爲スモノトス
 第十二條 成行約定ニアリテハ賣手ハ値段決定日迄ニ受渡
 荷物ヲ引込ヲ爲スモノトス
 第十三條 成行約定ニシテ値段決定日迄ニ其ノ日ニ決定ス
 ベキ數量ニ付豫メ定メナキトキハ賣手ハ遅クトモ受渡月
 ノ前月十五日迄ニ買手ニ通告シ之ガ協定ヲ爲スベキモノ
 トス

第十四條 先物約定ニ於テ渡シ月二ヶ月以上ニ亘ル場合ハ
 賣手ハ各月等分量ノ荷物ヲ引込ムモノトス
 第十五條 先物約定ニ係ル荷物ノ受渡ガ二回以上ニ亘ルト
 キハ其ノ各受渡ハ別箇ノ賣買取定ト看做スモノトス
 第十六條 先物約定ニ係ル受渡荷物ハ之ガ引込前三十日以
 内ニ檢査所ノ檢査ヲ受ケタルモノナルコトヲ要ス
 第十七條 賣手又ハ買手ガ本規約所定ノ期間ヲ經過シ督促
 アルニ不拘引込ヲ爲サザルカ又ハ受入ヲ爲サザルトキハ
 相手方ハ該荷物ニ對スル約定ヲ取消スカ又ハ賣手ニ於テ
 ハ商法第二百八十六條ノ手續ニ據ラズ該荷物ヲ他ニ賣却
 シ買手ニ於テハ代品ヲ購入シ若シ損失アリタルトキハ其
 額ヲ各相手方ニ請求スルコトヲ得
 第十八條 買手ガ荷物竝ニ本規約ニ定ムル所ノ受渡ニ必要
 ナル書類ヲ入手シ外見上(金巾袋ノ)荷物ニ異狀ナシト認
 メタルトキハ直ニ別ニ定ムル荷物保管證ヲ賣手又ハ其ノ
 申出ニ係ル銀行ニ交付スルモノトス
 第十九條 買手ハ保管中ノ荷物ニ對シ自己ノ費用ヲ以テ賣
 手又ハ利害關係者ノ爲ニ火災保險ヲ附スルハ勿論善良ナ
 ル管理者ノ注意ヲ以テ之ガ保管ノ責ニ任ズベキモノト
 ス
 第二十條 賣手ハ保管料トシテ生絲一俵ニ付金五十錢ヲ買
 取ルコトヲ要ス

手ニ支拂フモノトス
 第二十一條 買手ガ受渡荷物ノ包裝、封印又ハ品質ニ異狀
 アリト認メタルトキハ賣手ハ自己ノ責任ヲ以テ生絲檢査
 所ノ規則ニ從ヒ其ノ荷物ノ内容ノ調査ヲ受ケ檢査濟證票
 ノ再結附及封印ノ再施行ヲ受クルモノトス
 前項ノ場合生絲檢査所ガ再封印ノ施行ヲ拒ミタルトキハ
 買手ハ現物賣買取定ニアリテハ該荷物ニ對スル賣買取引消
 コトヲ得ベク先物約定ニアリテハ該荷物ノ取替ヲ爲サシ
 ムルコトヲ得但シ本項ノ取替ハ其ノ決定ノ日ヨリ起算シ
 十日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス
 生絲ガ其ノ荷物ニ對スル檢査請求書寫(生絲檢査所ノ檢
 定證ニ添附シアルモノ)記載ノ事項ト相違セル場合ハ前
 各項ノ規定ニ從フモノトス
 第二十二條 買手ニ於テ受入ヲ爲シタル荷物ノ所有權ハ代
 金ノ支拂アリタルトキヲ以テ買手ニ移轉スルモノトス
 第二十三條 前條ニヨリ買手ニ所有權移轉以前ニ於テ荷物
 ガ震災、震災ニ因ル火災、洪水等買手ノ責ニ歸スベカラ
 ザル不可抗力ニ因リ滅失又ハ毀損シタルトキハ之ニ因リ
 生シタル損害ハ其ノ荷物ノ在所如何ニ不拘總テ賣手ニ於
 テ負擔スルモノトス
 第二十四條 買手ハ荷物保管證交付ノ日ヨリ起算シ四日目
 迄ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

ニ荷物保管證並ニ代金領收證ト引換ニ檢定證面記載ノ正
量目ニ對シ代金ノ支拂ヲ爲スモノトス但シ受渡時期到來
前又ハ値段決定前ニ荷物ノ引込ヲ爲シ之ヲ受入レタル場
合ハ其ノ荷物ノ受渡時期到來又ハ値段決定ノ日ヨリ起算
シ本項ニヨリ其ノ代金ノ支拂ヲ爲スモノトス

第二十五條 買手保管中ノ生絲ニ對シ賣手ハ代金ヲ支拂ヲ
受ケルコト能ハザル懼レアリト認ムベキ正當ノ理由アリ
タルトキハ買手ヲシテ代金ノ一部又ハ全部ノ前拂若ハ相
當ノ擔保ヲ提供セシムルコトヲ得ルモノトス

第二十六條 賣買當事者間ニ於ケル取引上ノ紛議ハ總テ別
ニ定ムル所ノ仲裁規約ニ據リ之ガ解決ヲ爲スモノトス

第二十七條 本規約ニ定ムル日數ノ算定ニハ日曜日、祭日
及其他ノ休日ヲ含マザルモノトス

附 則

第二十八條 本規約ニ規定ナキ事項ニ付テハ從來ノ商慣習
ニ準ズルモノトス

第二十九條 本規約ハ昭和七年一月一日ヨリ實施ノ輸出生
絲檢査法ニヨリ檢査ヲ受ケタル荷物ニ付キ之ヲ適用スル
モノトス

(様式略)

生絲取引仲裁規則

第一條 生絲賣買取引上ノ紛議ハ總テ本規則所定ノ仲裁機
關ノ仲裁ニ依リ之ガ解決ヲナスモノトス

第二條 仲裁機關ハ理事會、仲裁人及書記ヲ以テ之ヲ組織
スルモノトス

第三條 理事會ハ理事五名ヲ以テ之ヲ組織シ仲裁機關ニ關
スル一切ノ事項ヲ掌理シ併セテ仲裁ニ關スル規則及手續
ノ制定追加修正削除ヲ爲スノ權限ヲ有スルモノトス

理事會ニ理事長一名ヲ置ク理事長ハ理事ノ互選ニヨリ之
ヲ定ムルモノトス

理事ハ賣手側ニ於テ二名、買手側ニ於テ二名ヲ選任シ之
等四名ノ理事ニ於テ當業者ニアラザル者ヨリ他ノ一名ヲ
選任スルモノトス

第四條 理事ハ自己ガ直接又ハ間接ニ利害關係ヲ有スル仲
裁事件ニ關スル議事ニ參與スルコトヲ得ザルモノトス

第五條 仲裁人ハ取引上ノ紛議ノ仲裁ニ當リ之ガ裁決ヲナ
スモノトス

仲裁人ノ仲裁ニ關スル行爲ハ法令並ニ本規則及昭和四年
六月十五日附生絲取引改善ニ關スル決議ニ據ルベキモノ
トス

輸出生絲賣買取引ニ關スル申合事項 生絲取引仲裁規則

輸出生絲賣買取引ニ關スル申合事項

一 五俵以下(五俵ヲ含ム)ノ荷口ニ對スル檢査料絲ノ殘
絲ハ檢査所ニ於テ秤量セル在目ノ二分ノ一ヲ賣方ニ返却
スルコト

但シ賣手ハ檢査所所定ノ封印ノ儘引渡ヲナスコト

(昭和七年一月二十二日申合
二月三日日文ノ通り修正)

二 正量及品位檢定證ハ各荷口ニ付和文、歐文各原本一通
ヲ買手ニ交付スルコト

(昭和七年一月二十二日申合
一月二十三日但書追加)

但シ買手ノ了解アル場合ハ品位檢定證ハ何レカノ一通ハ
謄本ニテ差支ナキコト

三 賣手ノ賣物表ハ賣買取引アリタル買手ノ店舗へ必ず登
通(若ハ買手ノ要求ニヨリ壹通以上)ヲ交付スルコト

(昭和七年二月三日申合)

四 取引規約第十六條ニヨル受渡荷物ハ之ガ受渡ヲ爲スベ
キ地ニ於ケル檢査所ノ檢定ヲ受ケタルモノナルコトヲ要
ス

(同)

五 賣買成立ト同時ニ賣手ハ商標二枚(荷物ニ使用セルト
同ノモノ)ヲ買手ニ交付スルコト

但シ先物約定ニ於テハ檢定證交付ノ際之ヲ交付スルコト

(同)

仲裁人ノ定數ハ之ヲ十九名トシ理事會ニ於テ賣手側ノ推
薦ニカメルモノ七名買手側ノ推薦ニカメルモノ七名並ニ
當業者ニアラザル者ヨリ五名ヲ選任シ置クモノトス

第六條 理事及仲裁人ノ任期ハ各二年トシ其ノ任期ニ七
月一日ニ始マリ翌々年ノ六月三十日ヲ以テ終ルモノト
ス

但シ任期滿了シタル場合ト雖モ後任者ノ就任スル迄ハ仍
其ノ職務ヲ行フモノトス

仲裁人仲裁手續進行中ニ任期滿了シタル場合ハ當該紛議
ノ裁決ヲ了スル迄ハ仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第七條 理事及仲裁人ノ改選ハ其ノ改選期ニ相當スル年ノ
六月二十日迄ニ之ヲナスモノトス

理事及仲裁人ハ重任ヲ妨ゲズ

第八條 理事及仲裁人ニ關員ヲ生ジタルトキハ後任者ヲ選
任スルモノトス

但シ補選セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第九條 書記ハ理事會及仲裁人ノ指揮ヲ承ケ仲裁ニ關スル
事務ヲ取扱フモノトス

書記ハ理事會ニ於テ之ヲ選任スルモノトス

第十條 仲裁ニハ理事會ノ決定ニヨリ三名又ハ五名ノ仲裁
人ニ當リ審理ノ上裁決スルモノトス

前項ノ仲裁人ハ理事會ニ於テ一名、各當事者ニ於テ一名又ハ二名宛テ第五條ノ規定ニヨリ選任セラレタル仲裁人中ヨリ選定スルモノトス

理事會ニ於テ選定セラレタル仲裁人ハ當該紛議ノ仲裁ヲ主宰スルモノトス

第十一條 仲裁ヲ請求セントスル者ハ仲裁ニ關シ當事者双方ノ合意アリタルコトヲ證スル書面ヲ添ヘ仲裁請求書ヲ理事會ニ提出スルモノトス

仲裁請求書ニハ紛議ニ係ル事實並ニ争點ノ要領及仲裁ヲ決テ求ムル旨ヲ記載シ當事者双方署名捺印スルコトヲ要ス

第十二條 仲裁々決前ニ於テ仲裁請求ノ取下ヲ爲サントスルトキハ其ノ旨ヲ記載シタル書面ヲ理事會ニ提出スルモノトス

前項ノ書面ニハ當事者双方署名捺印スルコトヲ要ス
第十三條 理事會ハ紛議ノ性質ニヨリ仲裁ノ全部又ハ一部ヲ拒絕スルコトヲ得

理事會ニ於テ請求ヲ受ケタル仲裁ノ全部又ハ一部ヲ拒絕スルトキハ當事者双方ニ其ノ旨ヲ通知スルモノトス
第十四條 理事會ニ於テ仲裁ノ請求ヲ受理シタルトキハ直ニ其ノ決議ヲ經テ仲裁人ノ員數ヲ決定シ其ノ員數並ニ理

リ其ノ職務ヲ行フコト能ハザルトキハ本規則ノ條項ニ從ヒ其ノ補選ノ手續ヲ爲スベキモノトス

第十九條 理事會ニ於テ第十五條後段ノ規定ニヨリ當事者ヨリ提出セル書狀ヲ收受シタルトキハ直ニ仲裁人及當事者ニ該書狀ヲ送達スベキモノトス

第二十條 理事會ハ審訊日ヲ定メ豫メ之ヲ仲裁人及當事者ニ通知スルモノトス
仲裁人ハ審訊當日當事者ノ一方ガ出頭セザルトキト雖モ其ノ缺席ノ儘審訊ヲ進行セシムルコトヲ得

但シ審訊日ノ前日ヨリ起算シ三日前迄ニ正當ナル理由ヲ附シテ其ノ延期ヲ求メタル場合ハ此ノ限ニアラズ
第二十一條 仲裁人ハ當事者ノ要求アリタルトキハ證人若クハ鑑定人ヲ喚問スルコトヲ得

第二十二條 仲裁人必要ト認ムルトキハ當事者ヲシテ所要量ノ見本ヲ提出セシムルコトヲ得

第二十三條 仲裁人ハ技術者ノ意見ヲ聽取シ又ハ生絲検査所ニ委囑シテ品質検査ヲ行ハシムルコトヲ得此場合當事者又ハ其ノ代理人ハ該検査ニ立會フコトヲ得

第二十四條 仲裁人ハ左ニ掲グル事項ノ裁決ヲナスモノトス
一、賣買契約ノ解除

生絲取引仲裁規則

事會ニ於テ選定セル仲裁人ノ氏名ヲ當事者ニ通知スルモノトス

但シ當事者ハ民事訴訟法第七九二條ノ規定ニ抵觸セザル限り理事會ニ於テ選定セル仲裁人ヲ忌避スルコトヲ得ズ

第十五條 當事者前條ニヨリ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ仲裁人ヲ選定シ其氏名並ニ全部ノ仲裁人ニ仲裁ヲ委任スル旨ヲ記載シタル書面及當該紛議ノ事實及争點ノ要領ヲ記載シタル書狀五通若ハ七通ニ該紛議ノ事實ヲ證スル書類アルトキハ之ガ寫ヲ添附シ之ヲ理事會ニ提出スベキモノトス

第十六條 理事會ハ當事者ノ選定シタル仲裁人ガ當該紛議ニ利害關係ヲ有スルカ又ハ不適當ナリト認メタルトキハ其旨ヲ該當事者ニ通知スルモノトス

前項ノ通知ヲ受ケタル當事者ハ直ニ第五條ノ規定ニヨリ選任セラレタル仲裁人中ヨリ他ノ仲裁人ヲ選定シ其ノ氏名並ニ該仲裁人ニ仲裁ヲ委任スル旨ヲ記載シタル書面ヲ理事會ニ提出スルモノトス

第十七條 理事會ハ仲裁人ノ選定確定シタルトキハ直ニ其ノ氏名ヲ仲裁人並ニ當事者ニ通知スルモノトス

一、不用品ニ對スル取換又ハ値引ノ決定

二、賣買契約ノ一部又ハ全部ニ對スル不履行ノ認定

三、損害ニ對スル賠償金額ノ決定

四、紛議解決ノ爲メ特殊ノ契約履行方法ヲ命スルコト

五、其他必要ト認メタル事項

第二十五條 仲裁人ノ裁決ハ過半数ニ依リ之ヲ爲スモノトス

仲裁人ノ裁決ハ最終ノモノニシテ紛議ノ當事者ハ該裁決ニ基ク一切ノ義務ヲ履行スルノ責ニ任ズルモノトス

第二十六條 仲裁々決書ニハ其ノ作リタル年月日ヲ記載シテ仲裁人ノ署名捺印スルモノトス

前項裁決書ノ正本ハ之ヲ當事者ニ送達スルモノトス
第二十七條 仲裁々決ニ於テ特ニ定メナキ場合ハ利息ノ算定ハ裁決ノ日ヨリ之ヲナスモノトス

第二十八條 仲裁ニ要セシ實費ハ當事者ノ負擔トシ仲裁人ノ裁決ニヨリ理事會之ヲ徴收スルモノトス

仲裁々決前ニ於テ仲裁請求ノ取下ヲ爲シタルトキト雖モ亦同ジ

第二十九條 本規約ニ定メナキ手續ニ付テハ民事訴訟法第八編ノ規定ニ依ルモノトス

附 則

第一條 本規則ハ日本語ニテ作成セルモノヲ以テ本文トス
 第二條 本規則ハ昭和四年七月一日以後ニ於テ行ハレタル
 賣買取引ニ適用スルモノトス
 但シ昭和四年産ノ繭ヲ以テ製産シタル生絲ハ昭和四年七
 月一日以前ニ於テ行ハレタル賣買取引ト雖モ適用スルモノトス
 (書式略)

生絲賣込問屋取扱規約

第一條 問屋ニ對シ生絲ノ賣込委託ヲ爲シタル荷主ハ輸出
 生絲賣買取引規約並ニ本取扱規約ノ條項ヲ承諾シ賣込委
 託ヲ爲シタルモノト看做ス
 第二條 問屋ハ荷主ヨリ左ニ掲グル賣込手数料ヲ申受ケル
 モノトス
 一、生絲賣込手数料 賣込代金ノ千分ノ十五
 問屋ガ委託荷物ヲ受領シタルトキハ荷主ノ都合ニヨリ委
 託ヲ解除セル場合ニ於テモ前項ノ手数料ハ之ヲ申受ケル
 モノトス、但シ市價ヲ標準トシテ計算ス
 第三條 荷主ノ業務ニ從事スル者ガ爲シタル取引上ノ行爲
 ニ付テハ荷主ニ於テ一切之ガ責ニ任ズベキモノトス

三、生絲賣込手数料
 但シ第二條ノ規定ニ據ル
 四、荷掛運搬費
 生絲壹俵(正量約百斤)若ハ之ニ相當スル數量毎ニ
 金九拾錢
 五、賣込生絲保管料
 生絲壹俵(正量約百斤)若ハ之ニ相當スル數量毎ニ
 金五拾錢
 六、其他諸掛費(荷物保管料、検査料並ニ検査ニ伴フ諸費
 用、電信電話料其ノ他)
 七、社團法人帝國蠶絲組合積立金
 生絲壹俵(正量約百斤)若ハ之ニ相當スル數量毎ニ
 金七圓
 八、輸出生絲賣買取引規約ノ規定ニヨリ問屋ガ買手ニ支
 拂フベキ損害賠償金並ニ其ノ他ノ費用
 九、内地向賣却諸費
 第九條 問屋ハ受託荷物ヲ擔保トシテ金融ヲ圖ルコトヲ得
 ルモノトス
 第十條 問屋ガ受託荷物ヲ保管セル場合ハ勿論之ヲ他ニ擔
 保トシテ金融ヲ圖リタルトキト雖モ不可抗力ニヨリ生ジ
 タル損害並ニ受託荷物ノ隠レタル瑕疵ニ對シテハ問屋其
 生絲賣込問屋取扱規約

第四條 問屋ガ荷主ヨリ賣込委託ヲ受ケタルトキハ其ノ荷
 物ノ賣込時期、値段等ハ總テ之ヲ問屋ニ一任セラレタル
 モノト看做ス
 前項ノ場合ニ於テ問屋ヨリ荷主ニ對シ賣込値段等ヲ照會
 スルコトアルモ之ヲ以テ當該荷物ノ賣込ニ關シ荷主ヨリ
 制限ヲ受ケザルモノトス
 第五條 相場ノ下落ニヨリ受託荷物ノ價格ガ前貸金及ビ立
 替金ヲ補フニ足ラザル惧レアルトキハ問屋ハ荷主ニ對シ
 相當ノ差金若ハ差荷ヲ請求スルコトヲ得ベク荷主ハ之ガ
 請求ヲ受ケタルトキハ速ニ履行スベキモノトス
 第六條 問屋ガ荷主ヨリ荷物ノ賣込委託ヲ受ケタルトキハ
 之ガ保管料其ノ他ノ諸經費及ビ賣込手数料等ノ支拂ヲ受
 ケルニアラザレバ當該荷物ノ引渡ヲ爲サザルモノトス
 第七條 受託荷物ハ問屋ガ荷主ニ對シ有スル諸債權並ニ將
 來生ズル諸債權ノ共通擔保品タルベキモノトス
 第八條 問屋ハ左ニ掲グル各項ノ金額ノ代價トシテ受託荷
 物ヲ之ニ引當テ若ハ其ノ賣却代金ヨリ他ノ債權者ニ先立
 チ辨済ヲ受ケルコトヲ得ルモノトス
 一、荷爲替資金(遲延利息ヲ含ム)前貸金及立替金
 二、前項ニ對スル利息
 但シ生絲問屋業組合ニ於テ定メタル割合

ノ責ニ任セザルモノトス
 第十一條 荷主ニ對スル荷爲替資金前貸金其ノ他立替金ノ
 利息ハ組合ノ決議ニ係ル利率ヲ以テ毎月之カ計算ヲ爲シ
 元金ニ組入ルモノトス
 第十二條 荷主ハ從前ノ取引關係アル問屋ノ了解ヲ得ルニ
 アラサレハ他ノ問屋ト取引ヲ爲ササルモノトス
 第十三條 荷主カ本規約若ハ其ノ他ノ契約條項ニ違背シ又
 ハ荷主カ假差押、假處分、強制執行等ヲ受ケタルトキハ
 荷主ハ諸債務ノ期限ノ利益ヲ失フハ勿論問屋ハ法定ノ手
 續ニヨラス隨意ニ受託荷物ヲ賣却シ其ノ代金ヲ以テ荷主
 ノ諸債務ノ辨済ニ充當スルモ之ニ對シ荷主ハ異議ヲ述フ
 ルコトヲ得サルモノトス
 附 則
 第十四條 本規約ニ規定ナキ事項ハ從來ノ商慣習ニ準スル
 モノトス
 第十五條 本規約ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ實施ス

昭和十五年八月二十五日印刷
昭和十五年九月一日發行

定價金貳圓五拾錢

送料 十四錢

農林省蠶絲局編纂

發行人

東京市神田區鎌倉町三番地
大貫將

印刷人

東京市芝區田村町五丁目五番地
阿部留治
東京市芝區田村町五丁目五番地
月山社

印刷所

東京市神田區鎌倉町三番地

發行所

產業組合新聞社

電話 神田八二四番
振替東京七三二九二番

不許
複製

577A 96





